

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 51, Nos. 1~12 (2009)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 「原子力」という言葉によせて：鷺田清一，1.
- 時論 ITERの使命；今世紀半ばの実用化を目指して：池田 要，2.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，4.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第7回)量子ビームが切り拓く未来(Ⅲ)—中性子利用研究の新展開：大山幸夫，池田裕二郎，新井正敏，森井幸生，14.
- 解説 将来の再処理に適した技術の選定と開発方針；FBR移行期サイクルに適した再処理プロセス技術の調査と開発方針の検討：塚田毅志，井上 正，20.
- From Editors, 25.
- 解説 社会に信頼される原子力を目指して—原子力と社会の共進化：山野直樹，藤井靖彦，水尾順一，鳥井弘之，26.
- 新刊紹介 間違いだらけの原子力・再処理問題：塩谷洋樹，31.
- 連載講座 今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第8回)Ⅶ.核融合材料のメソスケールシミュレーション：蕪木英雄，鈴木知明，板倉充洋，32.
- 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第16回)今後の軽水炉の開発(2)—導入計画中の軽水炉②：緒方善樹，大久保 努，39.
- アクティブフリートーク 実績を積み上げることが，信頼と社会的受容につながる；現役世代に，原子力についての想いを語っていただきました：大井川宏之，谷川尚司，西崎崇徳，樋口奈津子，石橋すおみ，44.
- 新刊紹介 理科少年が仕事を変える，会社を救う：笹平 朗，49.
- 解説 安全な海上輸送の実現に向けて；独立行政法人海上技術安全研究所の取組み：谷澤克治，小田野直光，50.
- シニアの自論 第二の原子力時代に適合した原子力関係法規の整備を：宅間正夫，56.
- 世界に飛躍するわが国原子力産業界への期待と提案：石井正則，57.
- 50周年記念公募企画記事 学会と共に歩む原子力研修センターの50年：杉本 純，58.
- 発見後半世紀過ぎた人形石の近況：武藤 正，59.
- タイムカプセル記事 我々は今，何をなすべきか。：黒木慎一；夢の原子炉の実現をめざして：堺 俊郎，60.
- 談話室 核分裂は誰が発見したのか？(その2)—ベルリンでの化学的発見，クングエルブでの理論的解明：河田東海夫，61.
- 地球温暖化の世紀に原子力が目指すもの：山崎亮吉，63.
- 支部便り 関東・甲越支部 第3回原子力オープンスクール「未知との遭遇，アトムの世界」実施報告：荻野晴之，65.
- 会議報告 OECD/NEA-NSC 第9回加速器遮蔽専門家会合：坂本幸夫，中村尚司，66.
- Web アンケート 放射線の利用と展望の記事が好評；Web アンケート結果(9月号)，67.
- ジャーナリストの視点 北海道と原子力発電：西沢隆之，68.
- 英文論文誌(Vol. 46, No. 1)目次，69.
- 会報 原子力関係会議案内，主催共催行事，専門委員会活動状況，会員情報新システムご案内，主要会務，70.

## No. 2 (2月号)

- 巻頭言 手腕と頭脳：中桐 滋，73.
- 時論 DOEの原子力諮問委員会に参画して；原子力技術立国・日本への提言：“時は今だ！急げ！”：植松邦彦，74.
- 生命圏の安全保障；科学・政治の双方を凝視する学問領域開拓を：吉田文彦，76.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，78.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第8回)量子ビームが切り拓く未来(Ⅳ)—光量子・放射光利用技術のフロンティア：水木純一郎，青木勝敏，小池雅人，横山啓一，88.
- 解説 核拡散抵抗性と保障措置；次世代核燃料サイクル設計における核不拡散対策の基本的考え方：久野祐輔，J. S. CHOI，94.
- 新刊紹介 物質会計：収支原理，検定理論，データ検証とその応用：久野祐輔，99.
- 報告 原子力廃棄物を考える国際市民フォーラム—処分地問題の解決に向けて；廃棄物処分場立地フィンランド，韓国，フランス，カナダからの報告と日本の今後の進め方を考える：末廣利恵，河田朱実，100.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第1回)軽水炉プラントにおける水の役割と水化学制御：内田俊介，106.
- 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第17回/最終回)今後の軽水炉の開発(3)—超臨界圧水冷却炉と低減速

- 焔：山田勝己，大久保 努：112.
- シニアの自論 地球温暖化抑制には原子力利用分野の拡大を！：齋藤伸三，117.  
原子力の社会受容性の向上のために；「社会システムとしての原子力」を考える：林 勉，118.
- 50周年記念公募企画記事 グローバル時代—原子力事業統合：植松真理マリアンヌ，119.
- タイムカプセル記事 「原子力は地球を救う」の夢を持ち続けて：駒野康男；原子力カルネサンス：谷口大輔，120
- 巻頭言アーカイブ (最終回)就任にさいして：野澤豊吉，121.
- 談話室 核分裂は誰が発見したのか？(その3/最終回)—公平さを欠いたハーンのノーベル賞単独受賞とその背景：河田東海夫，122.  
山越え谷越え……おお，海だあ！マキシマラソンを走って：守屋隆史，124.
- 私の主張 わが国の原子力に活力を取り戻すために：豊田正敏，126.
- 会議報告 50周年の節目を迎えた制御核融合研究；第22回IAEA核融合エネルギー国際会議報告：菊池 満，128.  
OECD/NEA「第10回アクチノイドと核分裂生成物の分離変換技術情報交換会議」：山岸 功，129.
- 支部便り 関東・甲越支部 若手研究者16人が，さまざまなテーマで発表；第7回若手研究者発表討論会：平杉亜希，130.
- Web アンケート NEWSや書評もがんばっています；Web アンケート結果(10月号)，131.
- ジャーナリストの視点 「平和」への問いを：山田大輔，132.
- 英文論文誌(Vol.46, No.2)目次，133.
- 会 告 本学会創立50周年記念事業計画 ご案内とお願い：50周年記念事業実行委員会，134.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催共催行事，人事公募，「2009年春の年会」見学会，主要会務，135.

### No. 3 (3月号)

- 巻頭言 原子力は気候変動・エネルギー問題；同時解決の切り札！：柳井俊二，139.
- 時 論 日本型合意形成モデルの構築に向けて；スウェーデン・フランスにおける中立機関とその取り組み：松田美夜子，140.  
原子力政策を取り巻く現状と方向性：高橋泰三，142.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，144.
- Nuclear News を見て 従来の常識を覆す機能性錯体(Pac-Man 分子)が拓く未来：斉藤拓巳，152.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第9回)高レベル放射性廃棄物の地層処分をめざして—トイレなきマンションから持続可能な社会へ：清水和彦，153.
- From Editors, 159.
- 解 説 核兵器なき世界に向けて；グローバル・ゼロ軍縮会議：遠藤哲也，160.
- 報 告 韓国と東南アジア3カ国の原子力開発；第16回環太平洋原子力会議(16PBNC)より：中杉秀夫，松井一秋，164.  
原子力に対する不安とは？—それにどう対処するのか；日本原子力学会シニアネットワーク連絡会(SNW)第9回シンポジウム報告：林 勉，金氏 顕，石井正則，169.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第2回)水化学の基礎—腐食と電気化学：原 信義，173.  
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第9回)Ⅷ.壁が作る燃料をどうするのか：深田 智，小田卓司，178.
- 解 説 宇宙探査とエネルギー；原子力エネルギー利用の歴史・現状・将来：星野 健，183.
- タイムカプセル記事 世界中で原子力が利用される未来へ：石渡祐樹；社会知識の質を上げるための責任：久郷明秀，189.
- シニアの自論 マスコミを味方に原子力理解の促進を：小川博巳，斎藤 修，190.  
学校教育充実への提言；先生の地位向上と感動を伝える授業：荒井利治，191.
- 談話室 高浜の温かい愛の証し：朴 榮先(パク・ヨンソン)，192.
- 私の主張 原子力立地地域のネットワークを!!：栗野明雄，194.
- 会議報告 インドの聖地アラハバードの国際会議：澤田哲生，196.  
第7回核融合エネルギー連合講演会；核融合は地球を救えるか：林 巧，197.
- 新刊紹介 原子力発電の歴史と展望：澤田哲生，198.
- Web アンケート 日本独自の技術は，どのように活用されているか；Web アンケート結果(11月号)，199.
- ジャーナリストの視点 手で触れ実感できる原子力発電を：水上 創，200.
- 英文論文誌(Vol.46, No.3)目次，和文論文誌(Vol.8, No.1)目次，201.
- 「2009年春の年会」みどころ：編集委員会，203.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，平成21年度新役員候補者ご推薦のお願い，平成20年度日本原子力学会「奨学生」の決定，新入会一覧，新規導入の会費支払い方法について，主要会務，208.

- あいさつ 創立50周年を迎えて：岡 芳明, 213.  
創立50周年記念事業を企画して：工藤和彦, 214.
- 祝 辞 創立50周年に寄せて：近藤駿介, 215.  
日本的原子力専門知の追究：鈴木篤之, 216.  
日本原子力学会創立50周年をお祝いして：金澤一郎, 217.  
日本原子力学会と共に歩んだ50年：岡崎俊雄, 218.  
日本原子力学会創立50周年にあたって：清水正孝, 219.
- 祝辞 Congratulations Mohamed Elbaradei, 220 ; Luis E. Echavárri, 221 ; Join-In LEE, 222 ; William E. Burchill, 224 ;  
Guanxing Li, 228.
- 50周年企画記事 次世代軽水炉開発の構想と展開；世界標準を獲得し得る次期軽水炉開発の経緯と現状：都筑和泰, 笠井 滋, 守屋公三, 鈴木成光, 新井健司, 229.  
次世代原子炉と燃料サイクル研究開発；実用化に向けたFBR サイクル開発の推進：永田 敬, 一宮正和, 船坂英之, 水田俊治, 名倉文則, 234.  
原子力の社会的受容性とコミュニケーション：木村 浩, 239.  
反原発運動の興隆とその後；原子力をめぐる世論と反対運動の変遷をたどる：佐田 務, 244.
- タイムカプセル記事 テキサスに ABWR を！～高まる日本への期待～：立岩健二；量子ビーム科学・技術への期待：  
松浦祥次郎, 249.
- 部会活動 炉物理部会 炉物理研究の歩みと役割；臨界実験が果たした意味とこれから：松村哲夫, 松浦祥次郎, 森 貴正, 250.  
核融合工学部会 核融合炉の実現を目指して；国際研究協力と我が国の立場：清水昭比古, 254.  
核燃料工学部会 人間中心の核燃料科学一次の50年を考える：岩田修一, 258.  
バックエンド部会 放射性廃棄物の安全な処理処分を目指して；幅広い研究分野を結ぶバックエンド部会：出光一哉, 262.  
ヒューマン・マシン・システム研究部会 ヒューマン・マシン・システム研究の展開：高橋 信, 五福明夫, 266.  
熱流動部会 熱流動部会の現状と展望：三島嘉一郎, 山口 彰, 成合英樹, 270.  
放射線工学部会 放射線工学部会14年の歩みと今後；放射線をキーワードとして：中村尚司, 石橋健二, 平山英夫, 275.  
加速器・ビーム科学部会 原子力の中の加速器・ビーム科学；Identity・国際化・医学物理・若手奨励：上坂 充, 278.  
社会・環境部会 開かれた原子力学会へのさきがけ；水先案内人としての社会・環境部会：諸葛宗男, 三島 毅, 木村 浩, 282.  
保健物理・環境科学部会 保健物理・環境科学部会の活動と今後の展開：米原英典, 飯田孝夫, 内田滋夫, 小佐古敏荘, 286.  
核データ部会 世界をリードする核データライブラリーを目指して；核データ研究活動と核データ部会：井頭政之, 馬場 護, 渡辺幸信, 片倉純一, 須山賢也, 290.  
材料部会 ニュークリア・マテリアル；産業基盤技術：木村晃彦, 294.  
原子力発電部会 原子力発電部会の活動状況および原子力発電の今後の展望について；原子力発電の安全性および信頼性の更なる向上を目指して：豊住健司, 三葛武文, 河島弘明, 向 和夫, 畠沢 守, 清水俊介, 298.  
再処理・リサイクル部会 再処理・リサイクル部会の活動；開発支援と情報発信を目指して：深澤哲生, 田中 知, 井上 正, 天野 治, 野村茂雄, 302.  
計算科学技術部会 原子力における計算科学技術の未来；計算科学技術部会の取組み：高木敏行, 巽 雅洋, 山口 彰, 吉村 忍, 笠原文雄, 306.  
水化学部会 水化学の現状と今後の展開；プラント運転の安全性・信頼性の一層の向上を目指して：布施元正, 内田俊介, 勝村庸介, 荘田泰彦, 瀧口英樹, 310.  
原子力安全部会 原子力安全部会の設立と今後の活動計画：班目春樹, 阿部清治, 澤田 隆, 314.  
海外情報連絡会 海外情報連絡会の歩みと将来に向けて；グローバル化時代における期待と役割：堀 雅夫, 山内 澄, 千崎雅生, 318.  
学生連絡会 学生連絡会活動報告；自由な交流・意見交換を広げる活動：鈴木 将, 嶋田和真, 320.  
原子力青年ネットワーク連絡会 原子力青年ネットワーク連絡会(YGN)の歩みと将来の取組み：田川明広, 石寺孝充, 322.  
シニアネットワーク連絡会 シニアネットワーク連絡会の活動報告；学生の夢啓発, 一般市民の理解促進に奔走：竹内哲夫, 金氏 顕, 324.  
核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会 原子力平和利用推進における核不拡散の重要性；原子力学会における核不拡散連絡会の活動：久野祐輔, 鈴木美寿, 勝村聡一郎, 326.  
(社)日本原子力学会 歴代会長：328.  
日本原子力学会事業概要(平成11～20年度)：330.

学会資料 学会略年表(1999～2008年)；年度別会員数の推移；支部・部会別会員数；支部(地区)別会員数；学会財政比率の推移；年度別年間収支額の推移；「春の年会」「秋の大会」における発表件数・参加者数と分野別内訳；英文誌・和文誌への投稿状況：333.

編集を終えて 原子力の50年：堀池 寛；数々の難関を一体感で乗り越えてできあがった50周年記念特集：近藤吉明；これから何をすればよいのか？考えるヒントとなることを願った：白川典幸；過去と今、そして未来とを紡ぐことをめざして：佐田 務，350.

「2009年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，352.

会 報 原子力関係会議案内，主催共催行事，「第41回(平成20年度)日本原子力学会賞」受賞決定，平成20年度(第2回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧，平成21年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰，英文論文誌(Vol. 46, No. 4)目次，日本原子力学会「正会員・学生会員」ご入会案内，主要会務，353.

後 付 日本原子力学会創立50周年記念広告

## No. 5 (5月号)

巻 頭 言 エネルギーと原子力：伊賀健一，361.

時 論 原子力機器材料の歩みとルネッサンスへの対応強化：佐藤育男，362.  
理研仁科センターとRIビームファクトリー：矢野安重，364.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，366.

座 談 会 共生から創発へ；高浜町に生まれ育って…これが私たちの本音です—立地は地域に役立ったのか？これからどうする地域振興！：粟野明雄，岡本恭典，田中康隆，館太 正，廣瀬とし子，澤田哲生，376.

解 説 小中学生への環境・エネルギー学習支援活動；「げんでん e まなびクラブ」：日本原子力発電(株)広報室，382.

新刊紹介 技術立国日本のエネルギー戦略：澤田哲生，385.

解 説 原子力施設におけるクライシス・コミュニケーションとメディア対応；災害や事故は忘れた頃にやってくる：三谷信次，386.

使用済燃料の臨界安全管理の現実；「燃焼度クレジット」の概念と導入への課題：須山賢也，391.

開発途上国の原子力発電導入とIAEAの支援活動：尾本 彰，396.

欧州での“放射性廃棄物管理のガバナンス研究”の動向；社会の中で地層処分事業が長期に持続するために：佐原 聡，坪谷隆夫，402.

報 告 原子力学会会員は技術士資格を今すぐ取ろう：岡 芳明，工藤和彦，林 克己，407.

連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第3回)水化学の基礎—酸化皮膜特性：辻 利秀，410.

今、核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第10回)IX.壁は熱でどうなるか：古河裕之，切刀資彰，416.

私の主張 高レベル放射性廃棄物処分の社会的受容性から見た考察：豊田正敏，420.

From Editors, 422.

会議報告 第9回国際核破砕材料技術ワークショップ開催記：菊地賢司，川合將義，423.

Short Report 日本技術士会が柏崎刈羽原子力発電所の復旧状況の第2次調査を実施：(社)日本技術士会，原子力・放射線部会，424.

支部便り 関東・甲越支部 第8回 Atoms for Future；講演「原子力をめぐる諸情勢と今後の課題」：富永基夫，425.

日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート MSKCC 滞在記：水野和恵，426.

Web アンケート 50周年記念企画公募記事に共感の声；Web アンケート結果(12月号)，427.

最先端の研究に大きな期待が；Web アンケート結果(1月号)，428.

ジャーナリストの視点 原子力の「社会的責任」果たせ：森瀬 明，429.

会 報 原子力関係会議案内，主催共催行事，第1回(平成20年度)原子力歴史構築賞受賞一覧，「原子力総合シンポジウム2009」プログラム，第21回 平成21年度「日米欧原子力学生国際交流」派遣学生募集，日本原子力学会フェロー基金寄付お願い，フェロー基金寄付者芳名一覧，日本原子力学会「フェロー」一覧，人事公募，専門委員会活動状況，創立50周年記念CD-ROM作成のご案内，英文論文誌(Vol. 46, No. 5)目次，主要会務，430.

後 付 第41回(平成20年度)日本原子力学会賞受賞概要

## No. 6 (6月号)

巻 頭 言 クリーン・エネルギーが開く未来：田中伸男，441.

時 論 国民の信頼獲得には国民の健康と安全を守る基本姿勢を示すことが重要：諸葛宗男，442.  
平和のリアリズムとはなにか？—ガザで想う：加藤 朗，444.

会 告 「第51回通常総会」のご通知，446.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，447.

- 追悼 元会長秋山守先生の逝去を悼む：班目春樹，457.
- 解説 米国オバマ政権の核不拡散・原子力政策：千崎雅生，山村 司，458.  
100年にわたるエネルギー需給構造の変革シナリオ：立松研二，川崎弘嗣，根本正博，463.  
世界の核セキュリティの現状と動向：中込良廣，468.  
原子力と日本人の安全観：中村 功，関谷直也，473.
- 新刊紹介 Reactor Accidents 2<sup>nd</sup> Edition(原子炉事故第2版)：吉田至孝，木村逸郎，478.
- 解説 「運転上の制限の逸脱」とは何だろう；；最近の運転上の制限の逸脱事象について：幅 聡，479.  
放射性廃棄物地層処分施設の建設技術；パッシブ・セーフティへの移行まで：河村秀紀，484.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第4回)水化学の基礎—放射線化学：勝村庸介，490.  
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第11回) X. 壁の熱をどうするか：佐竹信一，切刀資彰，495.
- 会議報告 廃棄物利用を含む燃料サイクルについて討議；第2回先進オリエント研究開発セミナー：山岸 功，小澤正基，500.  
国際水化学会議2008ベルリン会議報告：荘田泰彦，山崎健治，501.  
人の振り見て，我が振り直せ！「2009年春の年会」倫理委員会セッション：谷 雅明，502.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート Purdue University 滞在記：嘉村明彦，503.
- Web アンケート 軽水炉の連載講座が終了；Web アンケート結果(2月号)，504.
- ジャーナリストの視点 地震と原発，そして火災：管谷友美子，505.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，From Editors，「2009年秋の大会」参加事前登録申込み要領，英文論文誌(Vol. 46, No. 6)目次，和文論文誌(Vol. 8, No. 2)目次，主要会務，506.

## No. 7 (7月号)

- 巻頭言 夢が実現するとき：北澤宏一，513.
- 時 論 東南アジアとのエネルギー科学研究協力：石原慶一，514.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，516.
- Special Note 第42回原産年次大会の講演から；低炭素社会実現への挑戦—原子力への期待：斉藤鉄夫，526.  
第42回原産年次大会の講演から；世界の安全保障と原子力—CEIP 報告書『原子力カルネッサンス』：シャロン・スクワッソーニ，527.
- Nuclear News を見て 核セキュリティの強化と WINS の設立：遠藤哲也，528.
- インタビュー 益川敏英氏に聞く「稲作なんですよ!! 高エネ実験も原子力も」：益川敏英，石橋すおみ，530.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第10回)原子力発電事業を支える電中研の先端技術—新シリーズの連載に当たって：植田伸幸，534.
- From Editors, 540.
- 解説 地球温暖化国際交渉の争点と日本の対応；セクター別アプローチは生き残れるか：澤 昭裕，541.  
東海大学原子力工学科が再び立ち上がる；原子力マイスター育成への挑戦：大江俊昭，浅沼徳子，高木直行，吉田茂生，546.  
東京都市大学の原子力新学科創設に参画して：吉田 正，551.
- 報 告 原子力人材育成の将来を考える；日本原子力研究開発機構原子力研修センター 開講50周年記念シンポジウムから：村上博幸，554.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第5回)水化学の基礎—水質計測：原 信義，557.  
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第12回/最終回)ⅩI. まとめと今後の展望：相良明男，乗松孝好，563.
- 新・不定期連載 未来型リーダーシップを拓く① 創造性を自らの掌のなかに：名倉 勝，越田 溪，568.
- 私の主張 地域の「思い」と「期待」：品田庄一，570.
- Web アンケート 地元の人々が誇りをもって，原発を支えてほしい；Web アンケート結果(3月号)，572.
- ジャーナリストの視点 読んでみたい耐震安全50年の検証：佐々木英輔，573.
- 定点感測 ①町の宝が逃げていく……：佐藤晴美，574.
- 新刊紹介 インドの原子力事情；INSAC-2008年参加原産協会訪印団報告書：嶋田昭一郎，575.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催・共催行事，人事公募，新入会一覧，英文論文誌(Vol. 46, No. 7)目次，主要会務，576.
- 後 付 「第51回通常総会」議事原案

## No. 8 (8月号)

- 巻頭言 会長就任にあたって：横溝英明，583.
- 平成21年度副会長あいさつ，役員紹介：平山英夫，工藤和彦，辻倉米藏，584.

- 時 論 世論を喚起しよう：榎本晃章，586.  
低炭素社会と原子力：枝廣淳子，588.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，590.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第11回)3次元アトムプローブによる軽水炉材料のナノ組織観察：土肥謙次，曾根田直樹，600.
- 解 説 核物質標準の国内調達に向けて；保障措置上不可欠な核物質標準をいかに確保するか：鈴木 徹，久野祐輔，606.  
スイスのエネルギー・原子力発電・地層処分；スイスを通して日本を学ぶエネルギー環境教育情報：杉山憲一郎，611.  
原子力発電所に対する規制の課題と考察：西脇由弘，616.
- 新刊紹介 原子炉入門：高木直行，619.
- 報 告 東海発電所廃止措置におけるクリアランス物と放射性廃棄物でない廃棄物(NR物)の搬出；原子力施設からクリアランス物とNR物を搬出するには：山内豊明，620.
- From Editors, 624.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第1回)廃止措置の世界の概況と我が国の現状：石倉 武，625.  
軽水炉プラントの水化学；(第6回)水化学の基礎—水の浄化と浄化装置：大橋伸一，630.
- 談 話 室 速い中性子による対称核分裂(その1)；日本の発見と米国の追試：中根良平，635.  
「核兵器のない世界」と原子力開発：河田東海夫，637.
- 会議報告 世界の炉心・燃料管理のプラクティス；Advances in Nuclear Fuel Management-IV (ANFM-IV)報告：山本章夫，639.  
「使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する条約」第3回検討会合：村岡 進，澁谷朝紀，640.
- 支部便り 関東・甲越支部 大学院生らが互いの研究成果を発表!!；第2回学生研究発表会—原子力・放射線分野：金澤真吾，641.  
日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート SLAC 滞在記：夏井拓也，642.
- Web アンケート 原発の社会における位置づけはどうか；Web アンケート結果(5月号)，643.
- ジャーナリストの視点 「夢」与えるアピールを：神田 望，644.
- 定点感測 ②いま，原発にがりを打つとき：重原靖子，645.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催・共催行事，人事公募，意見受付公告，奨学金基金寄付者，第42回(平成21年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集，英文論文誌(Vol. 46, No. 8)目次，主要会務，646.
- 追 悼 柴田俊一先生追悼記—先生が身をもって示されたこととその意義：木村逸郎，652.

## No. 9 (9月号)

- 巻 頭 言 日本の低炭素力：柏木孝夫，655.
- 時 論 科学を楽しむ「場」—科学フェスティバル：元村有希子，656.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，658.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第12回)放射線はどんなに微量であっても危険なのか—低線量・低線量率放射線の生体影響評価：岩崎利泰，富田雅典，668.
- 新刊紹介 原子力発電所のプロセス計装の保守；有田節男，673.
- 報 告 くらしと廃棄物(ごみ)；アンケート調査が明かした事実と今後の展開：乾 文子，674.  
核不拡散から考える核燃料サイクルの国際化：久野祐輔，ジョーシャン・チョイ，678.  
首都圏住民と原子力学会員との間にある原子力に対する認識のギャップとは：木村 浩，683.  
原子力をめぐるマスメディア報道：佐田 務，686.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第2回)廃止措置技術—鋼材解体の技術動向：佐川 寛，689.  
軽水炉プラントの水化学；(第7回)実機での水化学(1)—燃料/水相互作用：村井琢弥，磯部 毅，694.
- From Editors, 697.
- 談 話 室 速い中性子による対称核分裂(その2)；原爆研究とサイクロトロン：中根良平，698.  
癒しとともに。主観と客観の間を；過去・いま・未来を生きるために：北岡哲子，700.
- 会議報告 原子力プラントの革新に関する国際会議：島津洋一郎，奈良林 直，702.
- 編集委員会 委員長あいさつ，論文誌・学会誌編集長あいさつ，委員一覧：森山裕丈，矢野豊彦，近藤吉明，703.
- 部会等運営委員会 委員長あいさつ，委員一覧：佐藤正知，705.
- 企画委員会 委員長あいさつ，委員一覧：小澤通裕，706.
- Web アンケート より時空の広い内容を目指して；2008年度のWeb アンケートまとめ，707.  
信頼獲得の説明改善が鍵；Web アンケート結果(6月号)，709.
- 定点感測 ③もっとイージーに外へむかって：山岸和恵，710.
- ジャーナリストの視点 三つの感想：中村悦二，711.  
「2009年秋の大会」の見どころ，712.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催・共催行事，人事公募，日本原子力学会「奨学生」の募集，意見受付公告，第42回(平成21年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集，英文論文誌(Vol. 46, No. 9)目次，和文論文誌(Vol. 8, No. 3)目次，主要会

務, 716.

## No. 10 (10月号)

- 巻頭言 「マニフェストと起請文」—政治家は花魁じゃない：浜 矩子, 725.
- 時 論 日本社会と核セキュリティ；原子力の国際展開の中でのセキュリティ認識：中込良廣, 726.  
原子力の岐路, 私の岐路：田口 康, 728.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 730.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第13回)配管の健全性確保と合理的な保守管理を目指して—配管減肉現象のメカニズム解明と予測手法の確立：米田公俊, 森田 良, 藤原和俊, 740.
- 解 説 核拡散をめぐる国際政治；インド, パキスタンの核兵器開発を中心に：広瀬崇子, 745.
- From Editors, 748.
- 解 説 核融合炉関連核データの現状と将来展望；フェムトスケールの物理が支える核融合炉開発：日本原子力学会 核データ部会, 749.  
原子力施設の安全性および信頼に関わる課題と技術マップの構築：首藤由紀, 牧野真臣, 滝田雅美, 754.
- 講 演 立地町の一住民としての思い—原子力発電所とともに歩む「原子力総合シンポジウム2009」に参加して：江上博子, 759.
- 報 告 企業における女性のキャリアの磨き方；ダイバシティ連携のための講演会：笹尾真実子, 761.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第3回)廃止措置技術—コンクリート解体/はつりの技術動向：伊東章, 鳥居和敬, 763.  
軽水炉プラントの水化学；(第8回)実機での水化学(2)—構造材料と水の相互作用：塚田 隆, 768.
- 私の主張 数学・計算法および炉物理の進歩 M&C 09に参加して；原子力コード利用環境の改善, 公的な高等教育機関の拡充および定年制度の見直しを：小林啓祐, 773.
- 談話室 原子力分野における「技術者倫理」と「安全文化」；最近の2つの講演から学ぶこと：桑江良明, 775.
- 会議報告 FISA 2009会議；Seventh European Commission Conference on Euratom Research and Training in Reactor Systems：平田 勝, 777.
- 新・不定期連載 未来型リーダーシップを拓く② 学生団体STEP：大中 温, 778.
- IAEA 版 JCO 臨界事故調査(英文)の発表について, 779.
- 定点感測 ④原子力の“グローバル”展開：秋田 晶, 780.
- ジャーナリストの視点 科学技術を見据えた平和構築—永井隆博士の願いがオバマ演説に：佐藤年緒, 781.
- 「2010年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 782
- 会 報 原子力関係会議, 主催・共催行事, 人事公募, 英文論文誌(Vol. 46, No. 10)目次, 入会案内, 主要会務, 783.

## No. 11 (11月号)

- 巻頭言 東京都市大学の新たな試み：中村英夫, 789.
- 時 論 ドラえもんを作ってください：井川陽次郎, 790.  
地方から見た原子力：角山茂章, 792.  
福井で原子力を学ぼう：来馬克美, 794.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 796.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第14回)材料と水で軽水炉を護る；SCC 研究と水化学研究：渡辺恵司, 藤原和俊, 河村浩孝, 806.
- 解 説 世界の原子力事故に即時対応可能な大気拡散予測；緊急時環境線量情報予測システム(世界版)WSPEEDI-II：茅野政道, 寺田宏明, 812.  
都市域における放射能散布テロへの対応；都市型緊急時対応訓練 EMPIRE 09に見る米国の体制：永井晴康, 渡辺文隆, 遠藤邦明, 816.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第4回)廃止措置技術—放射線計測の技術動向：酒井仁志, 佐川 寛, 819.  
軽水炉プラントの水化学；(第9回)実機での水化学(3)—被ばく線量の低減：實重宏明, 塚本雅昭, 824.
- 座談会 日本原子力学会関西支部 創立50周年記念式典：鈎 孝幸, 830.
- 談話室 IAEA 版 JCO 臨界事故調査報告；LESSONS LEARNED FROM THE JCO NUCLEAR CRITICALITY ACCIDENT IN JAPAN IN 1999の発表まで：住田健二, 834.
- 会議報告 日・韓・中を中心とするアジア地域における放射線工学分野の会合；「放射線安全と計測技術に関する国際シンポジウム(ISORD-5)」報告：前畑京介, 執行信寛, 836.
- 支部便り 関東・甲越支部 電気の史料館見学会および講演会：猪飼正身, 837.
- 新・不定期連載 未来型リーダーシップを拓く③ ヴィクトル・ユゴーが描いた世界：久住涼子, 838.

定点感測 ⑤中学生の誇り, 原子燃料サイクル施設一早期推進を積極的に: 種市治雄, 840.

Web アンケート 人材育成の問題を改めて提起; Web アンケート結果(7月号), 841.

技術の法の枠組みから見る; Web アンケート結果(8月号), 842.

ジャーナリストの視点 ぬぐい去りたい地震への不安: 永井 理, 843.

会 報 原子力関係会議, 主催・共催行事, 「2009年秋の大会」(東北大学)開催報告, from Editors, 英文論文誌(Vol. 46, No. 11)  
目次, 主要会務, 844.

## No. 12 (12月号)

巻 頭 言 明日の原子力を担う人材育成に向けて: 白井克彦, 849.

時 論 核兵器不拡散条約(NPT)の将来と3S: 新井 勉, 850.

大学における原子力教育・研究と人材育成: 竹田敏一, 852.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 854.

シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発; (第15回)エラーをする人間から, 安全を守る人間の研究へ; 電中研における  
ヒューマンファクター研究: 佐相邦英, 弘津祐子, 廣瀬文子, 864.

解 説 物理的世界とデジタルの世界の融合がもたらすもの; Smarter Planet の目指す世界: 岩野和生, 菊山薫子, 870.

国産放射線挙動シミュレーション計算コードシステム開発の必要性和展望: 坂本幸夫, 千葉 敏, 長家康展, 875.

FBR 実証炉の建設と実用化を目指して; 開発の経緯と三菱の取組み: 岡田敬三, 880.

私たちの主張 原子力界をリードして来た4氏が思いを語る: 伊原義徳, 原 禮之助, 遠藤哲也, 浜崎一成, 小林容子, 885.

連載講座 軽水炉プラントの水化学; (第10回/最終回)実機での水化学(4)—プラント管理, 標準化・規格化: 瀧口英樹, 890.

談 話 室 広島, 原爆投下(その1); トルーマン声明: 中根良平, 895.

SNW 報告 「環境保全と経済発展を両立させるために原子力は不可欠」; Cool Earth 50を提言された安倍元総理に  
聞く: 齋藤伸三, 荒井利治, 897.

新刊紹介 対話の場をデザインする—科学技術と社会の間をつなぐということ: 松浦祥次郎, 899.

会議報告 ベトナムの原子力研究は今(ベトナムへ原子力学会): 山本章夫, ナム ホアイ ツァイ, 900.

Win-Japan 主催 女性交流会 in 薩摩川内—楽しく話そう, エネルギーや原子力のこと: 前田由起子, 黒岩温子, 901.

アクチノイドおよび核分裂生成核種の地質環境における化学と移行に関する国際会議: 大貫敏彦, 902.

定点“感”測 ⑥夢実現: 伊藤恭子, 903.

Web アンケート 低線量・低線量率放射線の影響評価が好評; Web アンケート結果(9月号), 904.

ジャーナリストの視点 鳩山首相にノーベル平和賞銀メダルは可能か: 志賀正利, 905.

会 報 原子力関係会議案内, 主催・共催行事, 人事公募, 平成22年度フェロー候補推薦募集, フェローの活動状況, From  
Editors, Web 会議システムの導入と運用に係わるお知らせ, 和文論文誌(Vol.8, No.4)目次, 英文論文誌(Vol.46, No.12)  
目次, 主要会務, 906.

後付 総目次・著者名索引(Vol. 51, No. 1~No. 12)



# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 52, Nos. 1~12 (2010)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭インタビュー 「原子力はクリーンエネルギーの4番バッター」経済産業副大臣 増子輝彦氏に聞く：増子輝彦, 近藤吉明, 佐田 務, **1**.
- 特別講演 天野之弥大使に期待するシンポジウム「原子力の平和利用とIAEAの役割」：天野之弥, **3**.
- 時 論 生命医療工学分野の最前線が抱える問題点—脳科学分野に於ける規制と規制緩和の必要性：尾崎美和子, **6**.  
アジア諸国への原子力人材育成協力—現状と課題：杉本 純, **8**.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, **10**.
- 長期的展望に立った原子力エネルギー研究開発の推進を(平成22年度原子力関連予算に関する要望)：日本原子力学会, **20**.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第16回)；バックエンド事業の円滑な推進を支える—使用済燃料輸送・貯蔵と放射性廃棄物処分にかかわる先端技術の開発：河西 基, **21**.
- 解 説 サイクル・廃棄物屋は、原子力の持続性を保証するために何をなすべきか？：河田東海夫, **28**.  
放射線遮へい技術の現状—放射線遮へい分野の技術ロードマップの策定に向けて：「放射線遮蔽」研究専門委員会, **33**.  
安全文化と企業倫理が目指すもの—原子力発電事業者の一考察：川俣 晋, **39**.
- 日本原子力学会 Web 会議システムの導入と運用に係るお知らせ, **43**.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第1回)欧州総括編；欧州(EU)のエネルギー政策と原子力：東海邦博, **44**.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第5回)；廃止措置技術—除染の技術動向：酒井仁志, 片岡一郎, **48**.
- 談話室 広島, 原爆投下(その2)；X線フィルムの感光：中根良平, **53**.
- 会議報告 軽水炉水環境中における応力腐食き裂進展—試験方法に関するフォーラム：新井 拓, **55**.  
燃料サイクルの産業化を目指して(GLOBAL 2009)：井上 正, 深澤哲生, **56**.  
核燃料の信頼性を向上させる努力について：安部田貞昭, 更田豊志, **57**.  
光医療産業バレー拠点創出シンポジウム：土田 昇, **58**.
- 学生連絡会報告 第12回倫理研究会参加報告：山本哲大, 嶋田和真, **59**.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート WSU 滞在記：竹内百恵, **60**.
- 定点感測 ⑦国民の幸せにつながる電力源選択とは—ベストミックスの中に原子力を：鈴木 翔, **61**.
- Web アンケート 立地住民の声に共感の声が多く；核セキュリティについての記事も好評(10月号 Web アンケート結果), **62**.
- ジャーナリストの視点 原発の隣で暮らす人々：大崎要一郎, **63**.
- 会 告 平成22・23年度代議員選挙に係わる支部, 部会等の推薦候補の推薦について：選挙管理委員会, **64**.
- From Editors, **65**.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol. 47, No. 1)目次, 主要会務, **66**.

## No. 2 (2月号)

- 巻 頭 言 原子力とニュートリノ：鈴木厚人, **71**.
- 時 論 原子力研究の裾野の拡大へ向けて：中西友子, **72**.  
期待外れの COP 15 で見えたもの：滝 順一, **74**.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, **76**.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第17回)；統計的安全評価手法に関する電力中央研究所の取組み：古谷正裕, 西 義久, **86**.
- 解 説 福井大学における原子力教育・研究—地域連携型の教育・研究：竹田敏一, 泉 佳伸, 玉川洋一, **91**.
- From Editors, **97**.
- 解 説 東北大学の原子力研究分野への取組み：井上明久, **98**.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第2回)欧州総括編；フランスの原子力事情：東海邦博, **102**.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第6回)；廃止措置技術—処理処分の技術動向：水越清治, **108**.
- 談話室 ウィーンから見た日本, そして原子力の未来(1)；JAEA ウィーン事務所から見た日本の原子力：杉本 純, **113**.
- 会議報告 日本保全学会「第6回学術講演会」—新検査制度の施行後の保全技術への取組み：山本 智, **115**.  
古都金沢で原子炉熱流動研究の専門家会議盛況裡に開催—2/3以上が海外からの論文発表：二ノ方 壽, 前川 勇, **116**.  
アジア水化学シンポジウム2009：布施元正, **117**.

支部便り 関東・甲越支部「原子力オープンスクール2009」；未知との遭遇 アトムの世界：猪飼正身，118.  
学生連絡会報告 平成21年度「原子力と地域の関わりに関する調査研究活動」の紹介とこの活動に参画した学生連絡会の感想：上西紗耶加，119.  
定点感測 ⑧原発で考えてみた食のわがまま：土田美登世，120.  
Web アンケート 原子力にもっと独創性を；放射線やリスクの教育が必要との声を(11月号 Web アンケート結果)，121.  
ジャーナリストの視点 説明不足の『国策』：香取啓介，122.  
会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，英文論文誌(Vol. 47, No. 2)目次，主要会務，123.

### No. 3 (3月号)

巻 頭 言 「未来のための原子力」をめざして：鈴木達治郎，127.  
時 論 重粒子線治療：辻 比呂志，128.  
シンポジウムの開催と，その問題点：横手光洋，130.  
インタビュー 「日豪主導の国際委員会で核不拡散・核軍縮の推進，核廃絶へ」川口順子ICNND共同議長に聞く：川口順子，近藤吉明，132.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，135.  
シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第18回)；原子力施設の地震に対する安全性—実験とシミュレーションによる実現象の再現と予測：平田和太，矢花修一，酒井理哉，145.  
解 説 カオス現象の解説と一提言：上田皖亮，150.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第3回)欧州総括編；フィンランドの原子力事情：東海邦博，155.  
From Editors, 157.  
連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第7回)；廃止措置技術—コンクリート再利用：小川秀夫，鳥居和敬，石倉武，158.  
談 話 室 ウィーンから見た日本，そして原子力の未来(2)；ウィーンの日本人社会と原子力：杉本 純，163.  
編集で現場の事実と乖離してしまった報道番組—NHK スペシャル「原発解体～世界の現場は警告する」：佐藤忠道，165.  
会議報告 ケーブル・コンクリート劣化の評価技術—高経年化対策強化基盤整備事業3ヶ年成果報告会：滝沢真之，芦田高規，166.  
本会主催の原子力教育シンポジウムを開催—「世界の原子力をリードする大学教育の飛躍を目指して」：佐田 務，干場静夫，福崎孝治，167.  
支部便り 関東・甲越支部「第8回若手研究者発表討論会」—原子力・放射線 未来・夢・創造：佐伯 潤，168.  
YGN 活動報告 若手で語ろう！これからの技術者像—「2009年秋の大会」YGN・学生連絡会合同企画セッションより：羽倉尚人，169.  
定点感測 ⑨原子力災害に医師として携わって感じてきたこと：原口義座，170.  
Web アンケート 幅広い分野の情報が好評；自らの視点が広げられるとの声も(12月号 Web アンケート結果)，171.  
ジャーナリストの視点 “切り札”扱いに慢心するなかれ：原田成樹，172.  
「2010年春の年会」の見どころ，173.  
会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，平成22年度新役員候補者ご推薦のお願い，第22回平成22年度派遣学生募集，英文論文誌(Vol. 47, No. 3)目次，和文論文誌(Vol. 9, No. 1)目次，主要会務，180.

### No. 4 (4月号)

巻 頭 言 「・」：石田寛人，187.  
時 論 国際保障措置の現状と将来の課題：村上憲治，188.  
原子力平和利用のスリー・エス(3S)：坪井 裕，190.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，192.  
学会 NEWS 原子力学会の異常事象解説チーム(チーム110)が活動開始：小川順子，202.  
シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第19回)；原子力発電所のリスクを定量的に把握する—確率論的安全評価のパラメータ推定技術：桐本順広，眞田高宥，203.  
From Editors, 208.  
解 説 原子力発電所の新しい保全への取組み—新検査制度の概要と事業者の取組み：原子力発電部会，209.  
報 告 核廃絶に向けて—日豪国際委員会の提言と評価：遠藤哲也，214.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第4回)欧州総括編；英国の原子力事情：東海邦博，217.  
連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第8回/最終回)；廃止措置技術—金属再利用の技術動向：村田 実，219.  
ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第1回)；放射線防護の歴史的展開—ICRP 勧告の変遷を中心として：小佐古敏荘，225.  
談 話 室 WIN-Japan 主催「サイエンス・ディナー in 松山」—モリモリ話そう，エネルギーや原子力のこと：河田朱実，黒岩温

- 子, 230.
- 会議報告 高速炉システムの実用化を目指して：佐藤浩司, 232.
- 活動報告 アクチノイドの実験・取扱操作を体験する—J-ACTINET サマースクール2009を開催：日本アクチノイドネットワーク, 233.
- 「CO<sub>2</sub>を減らすために、今、私たちができること」—JEMA 原子力 PA 女性分科会が首都圏女性と懇談会：原子力 PA 女性分科会, 234.
- YGN 活動報告 FBR 実用化に向けた国際協調のあり方について；高速炉システム国際会議(FR 09)ヤングジェネレーションイベントにて：城 隆久, 235.
- Web アンケート 原子力の平和利用へのリーダーシップに大きな期待；「被ばくのイメージから早く脱皮を」との声も(1月号 Web アンケート結果), 237.
- 羅針盤 網渡りから脱却できるか：小川 明, 238.
- ジャーナリストの視点 もんじゅ仕分け傍聴記：山田 聡, 239.
- 「2010年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 240.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 人事公募, 平成22年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 平成21年度(第3回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 「第42回(平成21年度)日本原子力学会賞」受賞一覧, 英文論文誌(Vol. 47, No. 4)目次, 主要会務, 241.

### No. 5 (5月号)

- 巻頭言 原子力教育の先駆け、東海大学の挑戦：松前達郎, 251.
- 時 論 燃料サイクルの研究開発に想う：井上 正, 252.
- フランス、そして世界における原子力の位置付けは：コルディエ ピエール＝イヴ, 254.
- 会 告 平成22・23年度代議員選挙について, 256.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 259.
- インタビュー 「柏崎刈羽で得られた貴重な経験と知見を確実に生かしていく」東京電力㈱副社長 武黒一郎氏に聞く：武黒一郎、近藤吉明, 269.
- 特別講演 『サルゴジ大統領開会スピーチ』原子力民生利用へのアクセスに関する国際会議：在日フランス大使館原子力部, 澤田哲生, 274.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第20回)；合理的なクリアランス測定を目指して—形状計測とモンテカルロ計算を活用した全自動放射能評価手法の開発：佐々木道也, 服部隆利, 279.
- 解 説 新検査制度導入と炉心設計—運転期間延長に伴う炉心設計上の課題と対応：原田健一, 浅野耕司, 山中章広, 285.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第5回)欧州総括編；イタリアの原子力事情：東海邦博, 290.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第2回)；放射線防護の生物学的側面：丹羽太賢, 292.
- 談話室 キュリー夫人がおこなった“幻の授業”—キュリー夫人の理科教室 紙芝居と実験ショー：吉祥瑞枝, 297.
- 会議報告 原子力平和利用と核不拡散, 核軍縮にかかわる国際フォーラム：直井洋介, 299.
- 新刊紹介 原子力政策学：下山俊次；原子力の過去・現在・未来—原子力の復権はあるか：諸葛宗男, 300.
- 定点感測 ⑩わが町をこよなく愛す：山口直子, 301.
- 羅針盤 入試の英文：石田寛人, 302.
- Web アンケート 人材育成は業界全体の問題；学会誌の問題の提起に賛同の声も(2月号 Web アンケート結果), 303.
- ジャーナリストの視点 『感情』に思い巡らす試みを：三浦穂積, 304.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 「原子力総合シンポジウム2010」プログラム, 日本原子力学会フェロー基金への寄付のお願い, 平成21年度分日本原子力学会フェロー基金への寄付者芳名一覧, From Editors, 日本原子力学会「フェロー」一覧, 標準委員会意見受付公告, 日本原子力学会新法人制度移行・規程体系化について, 英文論文誌(Vol. 47, No. 5)目次, 主要会務, 305.
- 後 付 第42回(平成21年度)日本原子力学会賞受賞概要

### No. 6 (6月号)

- 巻頭言 顔の見える原子力白書：秋庭悦子, 315.
- 時 論 異分野からの……：中村浩美, 316.
- 核不拡散・核セキュリティ体制の強化と我が国の役割：木村直人, 318.
- 会 告 「第52回通常総会」のご通知, 320.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 321.
- 解 説 鳩山政権の地球温暖化対策の問題点—合理的根拠なき国内対策と戦略なき外交：澤 昭裕, 331.
- From Editors, 335.

- 解 説 海の国のアトム；1. 宝の海へ大冒険：工藤君明，336.
- 講 演 原子力学会「2010年春の年会」から；JCO 事故の全容を再検証—原子力学会が JCO 臨界事故で特別セッション：佐田務，澤田 隆，341.
- 報 告 原子力平和利用推進に伴う核不拡散問題への国際的な取組み—「原子力平和利用と核不拡散，核軍縮にかかわる国際フォーラム」の結果より：久野祐輔，直井洋介，山村 司，346.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第3回)；放射線防護に用いられる諸量：保田浩志，352.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第6回)欧州総括編；スイスの原子力事情：東海邦博，357.
- Scope 原子力関連機関の紹介(第1回)；JNES は，原子力の安全確保に取り組む専門家集団です：原子力安全基盤機構(JNES)，359.
- 私の主張 国産核計算コードと核データのルネサンス—我々は何をすべきなのか：須山賢也，361.
- 会議報告 実験炉物理国際フォーラム—若手研究者としての「温故知新」と今後の活用・期待：遠藤知弘，363.  
日本保健物理学会 特別シンポジウム「放射線審議会・原子力安全委員会における放射線防護に係る基本的考え方の検討状況について」参加印象記：百瀬琢磨，364.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第1回)；ウィーンを離れられない5つの理由：福田和代，365.
- 定点感測 ①地域合意に向けて「信頼」を「参加」で育む：崎田裕子，366.
- Web アンケート 原発報道への批判記事に対し高い関心；原子力災害の医療現場の記事には共感の声(3月号 Web アンケート結果)，367.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，連載講座「軽水炉プラント」，「高速炉の変遷と現状」書籍残部販売のご案内，英文論文誌(Vol. 47, No. 6)目次，和文論文誌(Vol. 9, No. 2)目次，主要会務，305.

## No. 7 (7月号)

- 巻 頭 言 外から見た日本の原子力とその課題：尾本 彰，375.
- 時 論 脱「融資保証頼み」米国原子力政策への提言：村上朋子，376.  
原子力の国際展開と日本の役割：水町 渉，378.
- 羅 針 盤 さらによく見るとということ：松浦祥次郎，380.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，381.
- 講 演 菅直人氏が東工大でスピーチ；日本株式会社を再構築する！：菅 直人，澤田哲生，391.
- インタビュー 「原子力の開発を軸に，産業の活性化を」；衆議院議員 空本誠喜氏に聞く：空本誠喜，石橋すおみ，392.
- From Editors, 396.
- 座 談 会 日本の国際貢献からみた魅力的な人材とその育成—国際原子力機関(IAEA)での経験を軸に：尾本 彰，小西俊雄，中込良廣，谷津祥一，澤田哲生，397.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第21回)；変化する将来に柔軟に対応するサイクルオプション—乾式リサイクル技術と金属燃料 FBR：小山正史，尾形孝成，402.
- 解 説 海の国のアトム；2. モナリザは地球の肖像画：工藤君明，409.  
社会から信頼される原子力専門家に求められるスキル—非言語コミュニケーションの重要性を確認するための試行調査：郡司郁子，414.
- Scope 原子力関連機関の紹介(第2回)；社会・海外とのインターフェースを目指す原産協会：日本原子力産業協会(JAIF)，419.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第7回)欧州総括編；ドイツの原子力事情：東海邦博，421.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第4回)；放射線防護の基礎—防護体系と原則：杉浦紳之，424.
- 会議報告 RI や放射線をいかに利用するか—第45回 RI・放射線利用促進セミナー：天野 光，429.  
制御室近代化などの安全運転に関する研究状況—拡大ハルデン・プログラム・グループ会議：久保田龍治，430.
- 不定期連載 未来型リーダーシップを拓く④；学生としての自由な対話を未来に繋げる—日米学生会議の伝統と挑戦：安川皓一郎，431.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート CERN 滞在記：小川達彦，433.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第2回)；異国での挑戦!!：奥村 智，434.
- Web アンケート 世界の原子力をめぐる動きに高い関心；学会の「異常事象解説チーム」にはエール(4月号 Web アンケート結果)，435.
- 新刊紹介 物理学と核融合：堀池 寛，436.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，記事訂正・正誤表，(支部便り)関東・甲越支部「第3回学生研究発表会—原子力・放射線分野」，英文論文誌(Vol. 47, No. 7)目次，主要会務，437.
- 後 付 「第52回通常総会」議事原案

## No. 8 (8月号)

- あいさつ 会長就任にあたって；全員参加で推進する原子力、鍵を預かる日本原子力学会：辻倉米蔵，443.
- 時 論 憲法の学問の自由と原子力・生命科学研究：棚島次郎，444.  
日本の温室効果ガス削減における原子力の役割：松尾雄司，446.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，448.
- 報 告 国際放射線防護委員会(ICRP)2007年勧告の国内法令取入れに対する若手独自の観点からの考え：荻野晴之，河野恭彦，山外功太郎，藤原慶子，鈴木ちひろ，458.
- Focus 世界の高速炉サイクル技術開発の動向(第1回)；加速する高速炉開発：2020年に商用炉の運転開始：竹田敏一，佐賀山豊，巽 良隆，462.
- 解 説 海の国のアトム；3.海を観て絵に描く：工藤君明，468.  
ナチュラルアナログー自然に学ぶ地層処分(第1回)；数万年先を予測する工学技術とは？：吉田英一，北山一美，佐藤努，小林谷子，473.  
NUMO「安全確保構想2009」—安全な地層処分の実現のために：土 宏之，石黒勝彦，加来謙一，478.
- 講 演 話題の女性・おふたりとのダイバシティ・トークー科学技術・原子力における男女共同参画：岩城智香子，483.
- Scope 原子力関連機関の紹介(第3回)；責任をもって放射性廃棄物の地層処分を行う，それがNUMOの使命です：原子力発電環境整備機構(NUMO)，485.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第8回)欧州総括編；スウェーデン・スペインの原子力事情：東海邦博，487.
- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージー次世代の安全基盤の確立に向けて(第1回)；KUCAにおける炉物理実験：代谷誠治，490.  
ICRP 新勧告ー新しい放射線防護の考え方と基準(第5回)；計画被ばく(線量拘束値，履行)：服部隆利，495.
- From Editors, 499.
- 会議報告 炉物理研究および業界の動向，人材育成の課題(PHYSOR 2010)：北田孝典，遠藤知弘，500.  
韓国原産会議 一枚岩のように言われるけれど：飯田式彦，501.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート ITER 滞在記：柏 総一郎，502.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第3回)；ウィーン春夏秋冬：正田智恵，503.
- ジャーナリストの視点 現場を見せて，声を聴かせて：新居一樹，504.
- 新刊紹介 次世代に伝えたい原子力ー重大事件&エピソード：根井弘道，505.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，記事訂正；会員にとって魅力ある活動を(澤田 隆)；会員の宝としての日本原子力学会に(田中 知)；会員の活動を基盤に，社会的役割を果たせる学会組織を目指して(平山英夫)；平成22年度役員紹介，第43回(平成22年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集，英文論文誌(Vol. 47, No. 8)目次，主要会務，506.

## No. 9 (9月号)

- 巻 頭 言 核兵器のない世界に向けて次の知恵と行動を：田上富久，517.
- 時 論 シンビオティックな社会の構築を目指して：吉川榮和，518.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，520.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第22回)；放射光の現状と将来ー光の性能へ高まる要望と技術革新：高田昌樹，山本雅貴，石川哲也，530.
- From Editors, 535.
- Focus 世界の高速炉サイクル技術開発の動向(第2回)；各国のナトリウム冷却高速炉サイクル技術開発の現状と展望：三島嘉一郎，齊藤正樹，永田 敬，536.
- 解 説 ナチュラルアナログー自然に学ぶ地層処分(第2回)；数万年先を予測する工学技術とは？：北山一美，佐藤 努，吉田英一，553.
- 講 演 JCO 事故後に原子力事業者が取り組んできた活動ー「2010年春の年会」原子力発電部会企画セッション講演報告：原子力発電部会，559.
- 報 告 原子力レアメタル利用の可能性ー「核燃料サイクルの物質・放射線利用」研究専門委員会：藤井靖彦，563.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第9回)アジア編；中国の原子力発電の概要ー目覚ましい発展を続ける原子力開発：中山元，568.
- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージー次世代の安全基盤の確立に向けて(第2回)；臨界安全と未臨界面度測定：山根義宏，573.  
ICRP 新勧告ー新しい放射線防護の考え方と基準(第6回)；緊急時被ばく：本間俊充，578.
- 会議報告 中国の原子力発電への熱気(ICONE 18)：藤井澄夫，583.

**Relay Essay** ドナウ川の畔から(第4回); ブラヴォー, ウィーン生活!: 渡辺泰人, 584.

**定点感測** ⑫もんじゅの運転再開の日を迎えて: 橋本昭三, 585.

**Web アンケート** 記事企画の努力の成果が見られたこの1年; 2009年度のWeb アンケートのまとめ(2009年4月~2010年3月): 小林容子, 586.

**ジャーナリストの視点** 核燃サイクルの現場から: 西川 迅, 588.

「2010年秋の大会」の見どころ, 589.

**会 報** 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 人事公募, 日本原子力学会「奨学生」の募集, 記事訂正; 平成22年度編集委員長あいさつ—世界をリードする論文誌, 学会誌をめざして(野村茂雄); 平成22年度部会等運営委員長あいさつ(中安文男); 平成22年度企画委員長あいさつ—社会に開かれた学会を意識した取り組み(石井慶造), 英文論文誌(Vol. 47, No. 9)目次, 和文論文誌(Vol. 9, No. 3)目次, 主要会務, 595.

## No. 10 (10月号)

**巻頭インタビュー** 「もんじゅ」から「はやぶさ」までを語りつくす!; 文部科学大臣, 内閣府特命担当大臣, 衆議院議員 川端達夫氏に聞く: 川端達夫, 小林容子, 605.

**時 論** 小学校において原子力・放射線教育は可能か: 杉山憲一郎, 611.

原子力政策大綱見直しへの視点—原子力政策円卓会議2010の討議をふまえて: 吉岡 斉, 613.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 615.

日本原子力学会の新法人移行への取り組み: 日本原子力学会理事会, 総務財務委員会, 625.

**Focus** 世界の高速炉サイクル技術開発の動向(第3回/最終回); 革新的なナトリウム冷却高速炉サイクル技術と開発課題: 山口 彰, 柳澤 務, 森山裕丈, 626.

**解 説** 「もんじゅ」運転再開; 臨界達成と炉心特性把握—炉心確認試験報告: 宇佐美 晋, 638.

高速炉熱流動・安全評価ロードマップの概要と今後の活用に向けて: 「高速炉熱流動・安全評価」特別専門委員会, 643.

気候変動問題解決の切り札として, 原子力をどう位置付けるか?—炭素価格で市場にシグナルを: 鈴木達治郎, 648.

地球温暖化対策の方向性と原子力発電の役割—持続的な温暖化対策の取り組みに向けて: 秋元圭吾, 652.

ナチュラルアナログ—自然に学ぶ地層処分(第3回/最終回); 数万年先を予測する光学技術とは?: 北山一美, 佐藤 努, 吉田英一, 657.

原子力人材は海外展開で活性化を図る—原子力人材育成関係者協議会 定量分析 WG 分析結果: 氏田博士, 663.

**ATOMOS Special** 世界の原子力事情(第10回)アジア編; ベトナムの原子力事情: 酒井利明, 669.

**連載講座** 実験炉物理: 未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第3回); 実機炉心における実験炉物理手法開発: 島津洋一郎, 673.

ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第7回); 現存被ばく状況: 飯本武志, 678.

**活動報告** 地球温暖化問題と原子力の役割—関東・甲越支部講演会 Atoms for Future: 関東・甲越支部企画委員会, 683.

**談 話 室** ニュージーランドの暮らしと語学ブラッシュアップ(その1); クライストチャーチの3ヶ月: 松田美夜子, 684.

**Relay Essay** ドナウ川の畔から(第5回); 自転車先進都市ウィーン: 柏村元一, 686.

**ジャーナリストの視点** 溝はなぜ埋まらない: 横川浩士, 687.

日本原子力学会「2011年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 688.

編集委員会からのお知らせ: 日本原子力学会編集委員会 論文誌編集長, 689.

**会 報** 学術的会合の予定, 人事公募, 英文論文誌(Vol. 47, No. 10)目次, 主要会務, 690.

## No. 11 (11月号)

**巻 頭 言** エネルギー基本計画における原子力の位置づけ: 細野哲弘, 695.

**時 論** 米印合意と日印間の原子力協力: 浅田正彦, 696.

日本の自治体, 求められる科学・技術の戦略機能: 高松平藏, 698.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 700.

**シリーズ解説** 我が国の最先端研究開発(第23回); RI ビームが拓く新時代—理化学研究所・RI ビームファクトリーの始動: 櫻井博儀, 710.

**解 説** 匠たちの足跡(第1回); 原子力の歴史を構築した多度津振動台: 毛利嘉明, 715.

加速器・ビーム科学部会が「春の年会」で企画セッション; 量子ビーム発生と利用の最前線—中性子利用鉄鋼評価技術の最近の進歩: 友田 陽, 720.

シンクロトロンに基づくスポット走査方式陽子線治療システム—照射野形成のための補助具が不要で, 目標内の線量分布をフレキシブルに制御可能: 平本和夫, 723.

超伝導加速による次世代小型高輝度光子ビーム源の開発: 浦川順治, 725.

シミュレーションの信頼性確保のあり方とは?—当学会としての Verification & Validation への取り組み: 堀田亮年,

- 中田耕太郎, 佐田幸一, 727.
- 原子力発電所の設計と評価における地震安全の論理: 大橋弘忠, 成宮祥介, 宮田浩一, 渡辺憲夫, 732.
- みんなでわかってシリーズ 時空の創生: 超弦理論から原子核へ; 1. 超弦理論と素粒子: 橋本幸士, 737.
- 連載講座 実験炉物理: 未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第4回); NCAにおける臨界実験: 三橋偉司, 742.
- 新刊紹介 Nucleon Reactor Physics Experiments: 山根義宏, 747.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第8回/最終回); 環境の放射線防護: 酒井一夫, 748.
- 新刊紹介 知らないと怖い環境問題: 工藤和彦, 752.
- 解説 原子力外交シリーズ(第1回); 日本原子力外交の課題: 遠藤哲也, 753.
- 談話室 豊かさと科学技術, そして原発: 佐田 務, 755.
- ニュージーランドの暮らしと語学ブラッシュアップ(その2); 語学学校と仲間たち: 松田美夜子, 757.
- 会議報告 高経年化対策における国際協力; (SCAP)”: 滝沢真之, 村上佳菜, 759.
- 原子力水素技術開発専門家会議 ST-NH 2—日本の HTTR の進展・貢献に大きな期待が寄せられる: 塩沢周策, 760.
- 新たな原子力拡大への動きへの期待(ICAPP'10): 松井一秋, 川島正俊, 761.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第6回); そんな楽園—愛犬と暮らす人々: 田中雅子, 762.
- 定点感測 ⑬喧嘩綱のある風景: 山田島 稔, 763.
- 会報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 標準委員会意見受付公告, 英文論文誌(Vol. 47, No. 11)目次, 主要会務, 764.

## No. 12 (12月号)

- 巻頭言 フロントランナー型イノベーション創出能力の強化に貢献する原子力; 巨大複雑系社会経済システムの創成力の強化を: 柘植綾夫, 769.
- 時論 核軍縮の新たな流れ: 好機を逃すな: 黒澤 満, 770.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 772.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第24回); 京速コンピュータ「京(けい)」とは何か?—世界最高レベルの計算性能を目指して: 横川三津夫, 庄司文由, 782.
- 解説 匠たちの足跡(第2回); 原子力技術者・研究者を育成—武蔵工大炉: 堀内則量, 787.
- みんなでわかってシリーズ 時空の創生: 超弦理論から原子核へ; 2. 超弦理論と宇宙論: 極小素粒子と極大の関係: 橋本幸士, 791.
- 分離変換技術はどこまで成熟したか?—技術成熟度評価に基づく現状整理と提案: 「分離変換・MA リサイクル」研究専門委員会, 796.
- 原子力開発のための中性子核反応データベース—評価済み核データライブラリー JENDL-4.0の完成: 柴田恵一, 岩本修, 千葉 豪, 801.
- 原子力機器材料への技術的挑戦と国際展開—日本製鋼所の製造技術の変遷と今後の取組み: 佐藤育男, 806.
- 炭素14環境中移行に関する研究の現状—食物を介しての人と原子力の接点: 山澤弘実, 811.
- 核不拡散のための「核実験禁止アジア地域ネットワーク»: 篠原伸夫, 一政祐行, 小鍛治理紗, 816.
- 連載講座 実験炉物理: 未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第5回); JAEAの熱炉体系炉物理実験: 外池幸太郎, 819.
- 私の主張 もんじゅはエネルギー・環境問題を解決できるか—高速増殖炉の研究開発について: 中江延男, 824.
- 解説 原子力外交シリーズ(第2回); 原子力産業の国際展開について: 三又裕生, 826.
- 談話室 常世の国の食と文化—「2010年春の年会特別講演」中川学園調理技術専門学校校長中川純一先生との対談より: 神原千恵, 828.
- 会議報告 第2回シンポジウム「RI 国内製造に向けての開発研究»: 永井泰樹, 829.
- 日本学術会議が遅れている高レベル放射性廃棄物サイト選定問題を幅広く議論: 木村逸郎, 田中 知, 830.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第7回); オーストリア10年の体験: 片岡典子, 831.
- 書評 The New Energy Crisis Climate, Economics and Geopolitics: 関 泰, 832.
- Web アンケート 高速炉サイクルの技術開発に高い関心; 世界の動向をめぐる記事も好評(8月号 Web アンケート結果), 833.
- 会報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 人事公募, 訃報, 英文論文誌(Vol. 47, No. 12)目次, 和文論文誌(Vol. 9, No. 4)目次, 部会便り, 主要会務, 834.
- 後付 総目次(Vol. 52, No. 1~No. 12)・著者名索引

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 53, Nos. 1~12 (2011)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 放射線科学の統合に向けて：米倉義晴, 1.
- インタビュー 「過去の成功体験からの脱却が必要」原子力委員会委員 大庭三枝氏に聞く：大橋三枝, 2.
- 時 論 原子力開発と地域振興：入江一友, 7.
- 羅 針 盤 「電子紙芝居」の落とし穴：伊奈久喜, 9.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 10.
- 会 告 新法人移行に伴う代議員選挙に係わる代議員候補の推薦について：日本原子力学会選挙管理委員会 委員長 工藤和彦, 20.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第25回)；放射線科学を支える研究基盤技術—細胞から宇宙までを対象にした開発研究：日下部正志, 白川芳幸, 21.
- 新刊紹介 エネルギー問題！：佐田 務, 25.
- 解 説 匠たちの足跡(第3回)；輝かしきバイオニア研究炉の軌跡—王禅寺センタ今昔物語：蒲生秀穂, 富永研司, 青井正勝, 26. みんなでわかつこうシリーズ 時空の創生：超弦理論から原子核へ；3. 陽子・中性子=仮想高次元重力：橋本幸士, 31. 放射性廃棄物処分の放射線防護の最適化；処分システムの頑健性確保に係るガイドラインの策定に向けて：川上博人, 青木広臣, 鈴木篤之, 36. 水の新たな姿を明らかに；高温高圧領域への挑戦：池田隆司, 片山芳則, 42. 「重い電子」が作るフェルミ面の共鳴角度分解光電子分光法による直接観測；磁性と共存する超伝導の機構解明への糸口：岡根哲夫, 45.
- 特別寄稿 『日米原子力協定(1988)の成立経緯と今後の問題点』(遠藤哲也, 国際問題研究所, 2010)を巡って：坂田東一, 48.
- From Editors, 49.
- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第6回)；JAEAの高速炉体系炉物理実験：岡嶋成晃, 50.
- 解 説 原子力外交シリーズ(第3回)；原子力協定：長沼善太郎, 遠藤哲也, 56.
- 活動報告 日本エネルギー環境教育学会第5回全国大会概要報告：藤本 登, 58. 研究者とともに学び, 体験する；地層処分をテーマに親子ワークショップ：郡司郁子, 60.
- 会議報告 ダイアの原石発掘プロジェクト；WiN-Japan 女子大生交流会 in 自由が丘：森崎利恵子, 上西紗耶加, 61. 応用加速器・関連技術研究シンポジウム(ARTA 2010)報告からの話題紹介；医療と先端科学技術開発への応用トピックス：服部俊幸, 62. 安全かつ安心な放射性廃棄物処分の実現に必要な長い道のりと広いつながり；第13回環境修復・放射性廃棄物管理国際会議(ICEM 2010)：北村 暁, 武田聖司, 63.
- 談 話 室 OECD/NEA 原子力施設安全委員会を目指したもの：阿部清治, 64.
- 不定期連載 未来型リーダーシップを拓く⑤；日韓サマーセミナー「保健物理・環境科学2010」印象記—20年後のアジアにおける原子力研究の担い手が苦楽を共にした一週間：里藤裕隆, 66.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第8回)；私の周りをウィーンが回る：伊東明美, 68.
- Web アンケート 社会受容性に言及したレアメタルの記事に高い関心；表紙の新シリーズも好評(9月号のWeb アンケート結果), 69.
- ジャーナリストの視点 伝えたい平和利用の使命感と誇り：鈴木誠之, 70.
- 追 悼 内藤奎爾先生の逝去を悼む：松井恒雄, 71.
- 会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 支部便り(関東・甲越支部), 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.48, No. 1)目次, 主要会務, 72.

## No. 2 (2月号)

- 巻頭言 原子力発電立地県における技術者の育成：城野政弘, 79.
- 時 論 日本の外交・安全保障戦略の観点からみたベトナム原子力プロジェクト：畔蒜泰助, 80. 原子力立地地域との相互理解：森本英雄, 82.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 84.
- 解 説 「国際原子力開発」ベトナムの原子力発電導入に向けて；官民一体となった受注活動の経緯：高橋祐治, 92.



- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第26回)；低線量影響としての放射線適応応答—放射線防護へのインパクト：王 冰，Guillaume VARES，根井 充，酒井一夫，96.
- 解説 原子力利用の一つである「放射線滅菌」について；量子ビームテクノロジーの有効活用の実例：隅谷尚一，102.
- 解説 匠たちの足跡(第4回)；プルトニウム転換技術開発施設—マイクロ波加熱直接脱硝法による世界初の混合転換プロセスの実用化：吉元勝起，107.
- 報告 「災害の防止」の歴史的考察と法の在るべき姿；原子炉等規制法の「災害の防止」は放射線「障害の防止」から始まった：西脇由弘，112.
- 会議報告 原子力法制システムの国際化の潮流；シンポジウム「原子力法制システムの改革に向けて」概要：諸葛宗男，菅原慎悦，117.
- 報告 高速増殖炉燃料設計が取り扱うべき範囲と内容：中江延男，馬場利和，上村勝一郎，118.
- Asian Nuclear Prospect(ANUP)-2010に参加して；インドの基礎基盤技術の蓄積と実用高速炉開発が現実に：田中知，井上 正，池田泰久，123.
- 講演 国際的な不拡散・保障措置・核セキュリティの動向；我が国の果たすべき役割についての考察のきっかけとして：木村直人，125.
- オイルピーク；正味に使えるエネルギーの今後：天野 治，129.

**From Editors, 132.**

- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第7回；最終回)；実験と解析の接点：山本章夫，133.
- 書評 解析的延長がわかれば特殊相対論がわかる：仁科浩二郎，138.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第11回) UAE 編；アラブ首長国連邦(UAE)の原子力事情：斉藤健彦，139.
- 会議報告 『Top Fuel』から見る燃料開発の最先端：山崎正俊，144.
- ジャーナリストの視点 「原子力」が持つ二面性：太田匡彦，145.
- 会告 新法人移行に伴う代議員選挙について(投票のお願い)：146.
- 会報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，記事訂正，意見受付公告について，英文論文誌(Vol.48, No.2)目次，主要会務，146.

No. 3 (3月号)

- 巻頭言 熟議による政策形成に向けて：鈴木 寛，155.
- 時論 あらゆる可能性の検討が必要な日本のレアアース対策：平沼 光，156.
- 羅針盤 尋常ならざる事態を知る：湯浅 博，158.
- インタビュー 「持続的発展に高速増殖炉は不可欠！」ジャック・ブシャル氏に聞く：Jacques BOUCHARD，澤田哲生，159.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，165.
- 特集 原子力発電所における耐震とは何か，173.
- 耐震安全性確認のための地質調査：杉山雄一，174.
- 耐震設計審査指針とバックチェック：入倉孝次郎，179.
- 原子力発電施設の耐震設計：西川孝夫，185.
- 機械・電気設備への影響評価：野本敏治，189.
- FOCUS 原子力安全・保安院の10年の歩み；主要な活動の紹介を中心として：原子力安全・保安院 原子力安全広報課，194.
- 原子力安全・保安院の10年間と今後について：寺坂信昭，200.
- 原子力安全・保安院の思い出と期待：佐々木直彦，201.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第27回)；医療用放射性同位元素の製造と利用展開—新しい視点からの放射性同位元素利用：藤林靖久，202.

**From Editors, 205.**

- 解説 次世代軽水炉(HP-ABWR/HP-APWR)の開発状況；中間評価と今後の開発計画：笠井 滋，遠山 真，守屋公三明，飯倉碩彦，206.
- 講演 フェニックスから「もんじゅ」へ；高速炉開発と日本の役割—(1)高速炉開発におけるトラブルと開発への影響：此村守，211.
- 新刊紹介 地球システム環境化学：長尾誠也，214.
- 講演 フェニックスから「もんじゅ」へ；高速炉開発と日本の役割—(2)開発段階の高速炉の安全評価と規制の役割：遠藤寛，215.
- フェニックスから「もんじゅ」へ；高速炉開発と日本の役割—(3)小型炉市場・4S開発現状・原子力GDPモデル：飯田式彦，219.
- 私の主張 なぜCFD検証を日本の国家戦略として進めなくてはならないか？(CFD4NRS-3)：岡本孝司，223.
- 活動報告 アクチノイド元素の化学・物理実習を体験；J-ACTINET サマースクール2010：上原章寛，225.
- 会議報告 2010日本放射化学学会年会・第54回放射化学討論会報告：篠原 厚，笠松良崇，226.

- 原子力分野におけるスーパーコンピューティングとモンテカルロ・シミュレーション：森 貴正，中島憲宏，227.
- Web アンケート 原子力・放射線教育に高い関心；海外の動向に関する記事も好評(10月号の Web アンケート結果)，228.
- 原子力外交や科学技術の戦略に高い関心；表紙の新シリーズは好評(11月号の Web アンケート結果)，229.
- ジャーナリストの視点 未来を見据えた2つの提案：山崎淑行，230.
- 「2011年春の年会」の見どころ，231.
- 会 告 平成23年度新役員候補者募集のお知らせ，236.
- 会 報 学術的会合の予定，人事公募，第23回平成23年度派遣学生募集，「2011年春の年会」見学会のご案内，英文論文誌(Vol.48, No.3)目次，主要会務，236.

#### No. 4 (4月号)

- 巻 頭 言 最近思うこと：北野 大，243.
- 時 論 核不拡散・核セキュリティ技術開発について：菊地昌廣，244.
- 海水ウランと科学法濃縮による新フロントエンド：常磐井守泰，246.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，248.
- 解 説 多国間設計評価プログラム(MDEP)とその影響；1. シビアアクシデントを対象とした規制：辻倉米蔵，大島俊之，阿部清治，255.
- From Editors, 262.
- 解 説 核鑑識技術の確立に向けて：久野祐輔，桜井 聡，堀 雅人，263.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第28回)；放射線医学総合研究所における重粒子線がん治療の現状：鎌田 正，268.
- 解 説 匠たちの足跡(第5回)；日本のラジオアイソトープ製造の基礎を築いたRI棟—国産RI製造拠点として貢献：山林尚道，棚瀬正和，源河次雄，272.
- 新刊紹介 君は原子力を考えたことがあるか？福井県原子力行政40年私史：竹田敏一，277.
- 報 告 事故やトラブル時にどう対応するか？—原子力安全・保安院「緊急時対応センター」(ERC)について：前川之則，278.
- シニアネットワーク第11回シンポジウム報告；我が国のこれからのエネルギー政策はどうあるべきか—原子力にどこまで期待できるか：金氏 顕，林 勉，283.
- アクチノイド・マネジメントに必要な炉物理実験；「アクチノイド・マネジメントに関する炉物理実験施設」研究専門委員会活動報告：岩崎智彦，287.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第12回) 東欧編；ウクライナ—チェルノブイリを超えて：杉本 純，292.
- 談 話 室 大学等の専門家と中学校・高等学校の連携強化はいかにあるべきか？—第5回放射線教育セミナーの考察と今後の活動：古田雅一，294.
- 立地地域からみた原子力：山田治之，296.
- 組織で活躍する女性を育てるためには；北海道大学大学院 農学研究院・生命科学院 有賀早苗先生のご講演を聞いて：小川順子，297.
- 会議報告 核融合で広がるトリチウム研究の国際化；第9回トリチウム科学技術国際会議 TRITIUM 2010：宇田達彦，298.
- 原子力熱流動と安全に関して日韓で活発に議論：大野修司，299.
- 活気を見せる東南アジアの原子力開発：白川智章，300.
- Web アンケート 原子力外交や科学技術の戦略に高い関心；表紙の新シリーズも依然として好評(12月号の Web アンケート結果)，301.
- 全体の構成とデザインが好評；科学技術報として役立つようにとの期待も(1月号の Web アンケート結果)，302.
- ジャーナリストの視点 合理性なき安全審査の悲劇：江刈内雅史，303.
- 日本原子力学会「2011年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，304.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，「第43回(平成22年度)日本原子力学会賞」受賞一覧，平成22年度(第4回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧，平成23年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰，日米欧学生交流派遣レポート ANLで核計算コードに取り組む：竹田 敏，英文論文誌(Vol.48, No.4)目次，主要会務，305.

#### No. 5 (5月号)

- FOCUS 東日本大震災 緊急提言—福島第一原子力発電所事故対応に向けて：石川迪夫，315.
- 福島第一原子力発電所で事故が発生—事故の概要と経緯：編集委員会，318.
- 福島発電所事故の放射線のレベルについて—公表されている放射線量はどのような意味を持つのか，320.
- 被ばくの仕方と人体への影響，321.
- 内部被ばくについて，321.
- 遠隔地被ばくについて，322.
- 食と住居について，323.

原子力学会の活動, 324.

福島第一原子力発電所の各プラントのデータ(保安院資料), 325.

巻頭言 オペラ「白虎」: 角山茂章, 327.

羅針盤 巨大地震が見せた日本社会の脆弱性: 宇恵一郎, 328.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 329.

シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第29回/最終回); 社会基盤としての緊急被ばく医療: 明石真言, 蜂谷みさを, 富永隆子, 立崎英夫, 鈴木敏和, 山田裕司, 336.

解説 事象の重要性を公衆に伝えてきた INES—20周年となった国際原子力・放射線事象評価尺度: 阿部清治, 八木雅浩, 344.  
多国間設計評価プログラム(MDEP)とその影響; 2. 世界標準と安全設計: 佐藤 崇, 349.

解説 匠たちの足跡(第6回); 東京大学電子ライナック施設: 上坂 充, 勝村庸介, 田川精一, 356.

From Editors, 360.

報告 原子力報道に携わる記者へのインタビュー調査について: 土田辰郎, 361.

INIS データベースの利用; 研究者, 技術者が求める情報ツールとは?: 権田真幸, 中嶋英充, 366.

解説 原子力外交シリーズ(第4回); 保障措置の現状と我が国の課題: 木村直人, 370.

Nuclear News を見て 核不拡散施策の現状と課題; 核不拡散特別委員会(SCNN)の特集記事を読んで: 内藤 香, 372.

ATOMOS Special 世界の原子力事情(第13回) 東欧編; スロベニア—原子力発電所のある世界最小の国: 杉本 純, 374.

私の主張 学生の視点から見た“分野融合的”教育; 国際舞台で活躍する原子力エンジニア育成のための提案: 成川隆文, 376.

談話室 親日的な台湾との核能交流: 宅間正夫, 金氏 顯, 378.

会議報告 大学における原子力基礎研究「複合原子力科学」の発展に向けて; 公開シンポジウム「原子力・放射線の有効利用に向けた先導的研究の推進」: 川端祐司, 380.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, お知らせ, 英文論文誌(Vol.48, No.5)目次, 主要会務, 381.

後付 第43回(平成22年度)日本原子力学会賞受賞概要

## No. 6 (6月号)

解説 東日本大震災に伴う原子力発電所の事故と災害; 福島第一原子力発電所の事故の要因分析と教訓: 奈良林 直, 杉山 憲一郎, 387.

FOCUS 東日本大震災 東日本大震災に思う: 佐藤一男, 401.

時論 放射線の健康影響の説明の難しさ; 原子力災害に関係してきた医師として: 長瀧重信, 402.

福島第一原発事故とコミュニケーション: 小出重幸, 404.

福島第一事故からの「学び」: 北村正晴, 406.

談話室 放射能汚染に思う; もっと放射能についての英知を集めることはできないのだろうか: 中西友子, 408.

燃料はいつどのようにして壊れたのか?; 福島第1原発1号機の燃料のふるまいについて: 中江延男, 410.

学会誌アーカイブ チェルノブイリ事故の医学的影響: 長瀧重信, 山下俊一, 412.

チェルノブイリ事故後の環境影響: 杉浦紳之, 419.

FOCUS 原子力学会の「原子力安全」調査専門委が始動, 426.

技術分析分科会が1~3号機の現状を推定, 426.

INES 評価のレベル7への引き上げについて, 428.

被曝による健康への影響と放射線防護基準の考え方について, 428.

学会の有志チーム, 汚染水処理に役立つ吸着剤のデータを収集, 430.

学会の技術分析分科会が, 福島事故で教訓と対策を提示, 431.

巻頭言 仁科芳雄博士生誕120周年にあたり: 山崎敏光, 434.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 435.

会告 一般社団法人 日本原子力学会「第1回総会」のご通知, 443.

解説 ガラスとは何か?—その性質と利用方法; 放射性廃液の固化への応用: 作花済夫, 444.

Nuclear News を見て 米国における燃料破損ゼロ化活動: 黒崎 健, 山中伸介, 449.

談話室 中国版“科学技術サミット”香山科学会議第389回に参加して; 核燃料再処理における放射化学の課題について徹底討論: 小澤正基, 韋 悦周, 451.

活動報告 学生が学生に伝えたい—「原子力・エネルギーに関する課題研究コンクール」でのサポート活動: 正木基夫, 大川修平, 453.

新刊紹介 電気のごみ; 高レベル放射性廃棄物: 松浦祥次郎, From Editors, 454.

Web アンケート 原子力の持つ二面性に高い関心; 原子力立地に関連する記事も好評(2月号の Web アンケート結果), 455.

耐震設計の重要性は認識されていたが; 福島原発事故の対応と十分な検証を(3月号の Web アンケート結果), 456.

ジャーナリストの視点 農業と原子力: 鈴木祐子, 457.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 意見受付公告について, 記事訂正, 英文論文誌 (Vol.48, No.6) 目次, 和文論文誌 (Vol.10, No.1, No.2) 目次, 主要会務, 458.

## No. 7 (7月号)

**Focus 解説** リスク学から見た福島原発事故: 木下富雄, 465.

福島原発で起きた原子炉建屋の損傷; なぜ水素爆発が起きたのか: 内藤正則, 473.

福島第一原発事故の大気を介した環境影響; 環境影響の全体像把握に向けた第一歩: 山澤弘実, 平尾茂一, 479.

緊急時環境モニタリングの考え方; 原子力安全委員会指針から: 下 道國, 484.

福島第一事故後の諸外国の原子力開発政策: 村上朋子, 489.

**FOCUS** IAEA が福島事故で調査報告, 491.

**巻 頭 言** 文明の先を見据える: 長谷川真理子, 492.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 493.

**解 説** クロスカップリング入門; 基本的な考え方と応用: 秋山勝宏, 499.

**解 説** 匠たちの足跡(第7回) 原子力第一船の燃料・炉心; 国産技術の確立: 浜崎 学, 堀元俊明, 嶋田昭一郎, 石丸正之, 503.

**報 告** 世界原子力大学へ行こう!: 大釜和也, 荻野晴之, 佐藤隆彦, 鈴木彩子, 509.

**From Editors**, 513.

**解 説** 原子力外交シリーズ(第5回①) 2010年 NPT 運用検討会議と今後の課題: 武藤義哉, 514.

**ATOMOS Special** 世界の原子力事情(第14回) 東欧編; チェコ隣国オーストリアとの対話: 杉本 純, 517.

**談 話 室** 用語「原子力」はガラパゴス: 田上 嵩, 519.

**会議報告** 力を蓄えた原子力の基礎科学・基礎工学—着実な展開の確認; 「第3回革新的原子力エネルギーシステム国際シンポジウム」概要: 赤塚 洋, 加藤之貴, 521.

原子力発電技術の進歩に関する国際会議; 議論は「Fukushima Daiichi, International Response and Global Perspective」に集中: 藤井澄夫, 522.

**新刊紹介** 確率論的リスク解析の数理と方法: 吉田智朗, 523.

放射性廃棄物の工学: 出光一哉, 523.

**Web アンケート** 福島原発事故に対する学会の役割に期待; 世界への正しい情報発信が必要との声も(4月号の Web アンケート結果), 524.

「FOCUS」に情報共有として高い期待が; 内容についての要望も多く(5月号の Web アンケート結果), 525.

**ジャーナリストの視点** もう一つの原発震災—すべての被災者に目を: 斎藤義浩, 526.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧, 英文論文誌 (Vol.48, No.7) 目次, 主要会務, 527.

後 付 一般社団法人 日本原子力学会「第1回総会」議事原案

## No. 8 (8月号)

**巻 頭 言** 国民の信頼を回復するためには, われわれの総力の結集を: 住田健二, 531.

**あいさつ** 日本原子力学会が会員, 社会から誇りを持たれる宝になれるように: 田中 知, 532.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 533.

**解 説** 福島第一原子力発電所事故から学ぶ: 二ノ方 壽, 岡本孝司, 540.

ポスト3.11時代の科学技術コミュニケーション; 社会は原子力専門家を信頼できるのか: 八木絵香, 546.

福島第一発電所の原子炉燃料に何が起こったか; 炉心露出事故時の燃料のふるまい: 藤城俊夫, 550.

軽水炉燃料崩壊熱のふるまい; 福島第一発電所の崩壊熱挙動理解のために: 吉田 正, 555.

**Focus 解説** 長期的な海洋環境影響は? ; 福島第一原子力発電所からの放出放射能の長期的海洋拡散シミュレーションと海産物摂取による内部被ばく評価: 中野政尚, 559.

**解 説** 福島第一原子力発電所の事故に係わる放射線影響分科会の活動報告, (I); 放射線被ばくに係わる汚染状況に関する情報の整理と提言: 「原子力安全」調査専門委員会放射線影響分科会, 564.

原子力推進を堅持する米仏, 撤退するドイツ; 福島事故後, 情報共有と教訓反映を図る国際機関と欧米: 北村隆文, 花井 祐, 佐藤一憲, 569.

**連載講座** 「材料が支える原子力システム」の開始にあたって: 四竈樹男, 576.

**連載講座** 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第1回); 軽水炉用ステンレス鋼: 福谷耕司, 577.

**解 説** 原子力外交シリーズ(第5回②) 包括的核実験禁止条例(CTBT)及び兵器用核分裂性物質生産禁止条約(FMCT): 武藤義哉, 582.

**コ ラ ム** 放射線の人体影響についての Q&A: 岩崎民子, 585.

**会議報告** Workshop on Decay Spectroscopy at CARIBU: 河野俊彦, 587.

**ATOMOS Special** 世界の原子力事情(第15回) 東欧編; ルーマニア—CANDU 炉で国内ウランを有効活用: 杉本 純, 588.

Web アンケート 原子力学会に叱咤激励の声が；世界に向けた情報発信に多くの期待(6月号の Web アンケート結果), 590.  
ジャーナリストの視点 「言葉の備え」を問う：福井由紀子, 591.  
追悼 元会長山本寛先生のご逝去を悼む：鈴木篤之, 592.  
会報 学術的会合の予定, 人事公募, 平成23年度役員紹介, 「第44回(平成23年度)日本原子力学会賞」受賞候補者の推薦募集, 記事訂正, 英文論文誌(Vol.48, No.8)目次, 主要会務, 593.

### No. 9 (9月号)

巻頭言 東日本大震災と原子力発電に思うこと：泉田裕彦, 597.  
時論 福島事故と世界の対応：鈴木達治郎, 598.  
ANS 2011年6月フロリダ・ハリウッド：松井一秋, 600.  
特別企画 福島原発事故についてのANS受け止め方；ANSの主要メンバーはこの事故情報をどう捉えたか：二ノ方 壽, 602.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 604.  
解説 福島第一原子力発電所事故の分析と今後に向けて：山口 彰, 610.  
福島第一原子力発電所事故による放射性物質の汚染からの環境修復に向けて：井上 正, 高橋史明, 諸葛宗男, 617.  
From Editors, 622.  
解説 環境における放射性核種の分布と動態；1. 土壌における放射性核種の挙動特性：内田滋夫, 田上恵子, 石井伸昌, 623.  
JCO 臨界事故の教訓は生かされたか；原子力防災について考える：中島 健, 628.  
From Abroad Reaching First Criticality and Physics Experiments in the CEFR: Xu Mi, Yu Hong, Hu Yun, Chen Yiyu, 633.  
連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第2回)；高速炉炉心用改良ステンレス鋼：井上利彦, 山県 一郎, 浅賀健男, 638.  
解説 匠たちの足跡(第8回) BWR クラッド問題の解決と水化学対策への貢献：目黒芳紀, 643.  
解説 産官学による原子力人材育成ネットワークの設立；原子力界を支える人材の確保をめざして：村上博幸, 649.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第16回) 東欧編；ブルガリア—ベレネ原子力発電所を建設中：杉本 純, 652.  
談話室 「原子力がひらく世紀」改訂3版の編集を終えて：熊谷 明, 654.  
飯館村訪問記—みんなで作っぺ！：澤田哲生, 656.  
会報 学術的会合の予定, 人事公募, 記事訂正, 英文論文誌(Vol.48, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.10, No.3)目次, 主要会務, 658.

### No. 10 (10月号)

巻頭言 本音の議論を：矢川元基, 663.  
時論 南相馬の放射線教育：秋庭悦子, 664.  
緊急被ばく医療から健康リスク評価へ；長崎から福島への4ヶ月：松田尚樹, 666.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 668.  
連載 東日本の巨大地震に学ぶ(1)；プレート収束域にできた日本列島：尾池和夫, 675.  
解説 福島原発事故と放射線健康リスク：山下俊一, 678.  
From Editors, 683.  
解説 環境における放射性核種の分布と動態；2. 河川系における放射性核種の移行特性—チェルノブイリ事故研究等からの知見：松永 武, ユーリ トカチェンコ, 684.  
食品中の放射能濃度の簡易測定法；NaI(Tl)シンチサーベイ測定における留意点は何か？：佐々木道也, 689.  
原子力の研究開発機関におけるメンタルヘルス；産業医としての関わりから：友常祐介, 松崎一葉, 693.  
原子力損害賠償制度を見つめ直す；制度の背景, 仕組みとその課題：富野克彦, 698.  
報告 チェルノブイリから25年；クルチャトフ研究所ベリホフ総裁 レベル7の事故を語る：桜井久子, 701.  
談話室 広島から福島へ；From Hiroshima (Wide Islands) to Fukushima (Happy Islands)：澤田哲生, 703.  
ジャーナリストの視点 福島への被災者は怒る, 問う, 求める：寺島英弥, 705.  
解説 福井県における原子力教育・研究開発：竹田敏一, 来馬克美, 一宮正和, 鈎 孝幸, 706.  
連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第3回)；Ni基合金：米澤利夫, 710.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第17回) 東欧編；スロバキア—仏に次ぐ世界第2位の原子力割合：杉本 純, 716.  
談話室 文系の子学生から見た原子力：渡邊早紀子, 718.  
新刊紹介 よくわかる身のまわりの現象・物質の不思議：藤本 登, 719.  
Web アンケート 福島原発事故に対して広い分野の情報提供に期待；多視点からの検証に期待の声も(7月号の Web アンケート結果), 720.  
原発事故の事実を知りたいという大きなニーズが；信頼回復に向けた活動を望む声も多く(8月号の Web アンケート結果), 721.  
日本原子力学会「2012年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 722.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 記事訂正(再掲), 英文論文誌(Vol.48, No.10)目次, 主要会務, 726.

### No. 11 (11月号)

巻 頭 言 科学の不確実領域と社会：山地憲治, 727.

時 論 ヤッカマウンテン処分場計画の終焉と今後：安 俊弘, 728.

台湾の原子力動向と日本：林 勉, 730.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 732.

連 載 東日本の巨大地震に学ぶ(2)；世界の変動帯と安定大陸：尾池和夫, 739.

解 説 原子力損害賠償紛争審査会について；中間指針策定の作業と今後の課題：高橋 滋, 742.

シビアアクシデント対策整備の経緯と「残余のリスク」：平野光将, 748.

From Editors, 754.

解 説 環境における放射性核種の分布と動態；3. 海洋に人工放射性核種の動態；福島原発由来核種は海洋でどう動くか？：  
日下部正志, 755.

日本人の食物摂取による実効線量の評価；過去の調査結果からわかること：真田哲也, 760.

報 告 我が国の原子力の法規制と組織に関する考察；福島第一事故の教訓を踏まえて：西脇由弘, 765.

安全の構築に向けて—東日本大震災より明らかになった課題と安全再構築の視点；「安全工学シンポジウム2011」パネル  
討論より：松岡 猛, 770.

解説シリーズ 「ヒューリスティックな最適化手法とモデリング」の開始にあたって：相吉英太郎, 岡本 卓, 小林容子, 776.

解説シリーズ 「ヒューリスティックな最適化手法とモデリング」(第1回)；最適化問題とは：相吉英太郎, 岡本 卓, 小林  
容子, 777.

連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第4回)；低合金鋼：木村晃彦, 782.

ATOMOS Special 世界の原子力事情(第18回) 東欧編；ハンガリー—パクシュ原子力発電所増設の動き：杉本 純, 787.

Web アンケート 原発事故の事実を知りたいという大きなニーズが；信頼回復に向けた活動を望む声も多く(9月号のWeb アン  
ケート結果), 789.

会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 奨学金基金寄付者追加, 英文論文誌(Vol.48, No.11)目次, 主要会務, 790.

### No. 12 (12月号)

巻 頭 言 堂々と逆風に立ち向かい原子力の前進を！：宮崎慶次, 793.

時 論 今こそ深層防護の安全哲学の深耕を：諸葛宗男, 794.

福島第一原発事故を受けて—反省と今後の在り方：木村逸郎, 796.

データの奔流の中での“問合い”：岩田修一, 798.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 800.

連 載 東日本の巨大地震に学ぶ(3)；地震と噴火と津波の国：尾池和夫, 806.

解 説 東京電力福島第一原子力発電所の事故による衣服の放射性汚染；汚染状況の測定と簡易除染法の検討：中里一久,

北 実, 松田尚樹, 809.

福島第一原子力発電所事故による放射性物質により汚染した廃棄物；廃棄物に含まれる放射性物質の数量と関係法令：  
二ツ川章二, 813.

福島原発事故で汚染した野菜はどれくらい放射能除去できるのか？；日本放射線安全管理学会が汚染除去をテーマに研  
究報告：柴 和弘, 817.

福島第一原子力発電所事故時の災害初期対応の教訓；放射線情報の把握と活用に関連して：占部逸正, 821.

原子力安全規制庁の組織および職員に関する要件；福島第一原発事故の再発防止のために：森本俊雄, 澤田哲生, 826.

欧州型発電所の非常時電源と事故緩和ベント；原子力の信頼性向上策と福島国際センター設立の提案：杉山憲一郎, 831.

福島事故に対する欧米の対応；欧州の中間報告と米国で緊急対応必要なしの報告：水町 渉, 836.

原子力協定の下で高速炉協力をを行うための要件とは；日本とカザフスタンの高速炉に関する取極を例に：河口宗道, 841.

連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第5回)；軽水炉燃料部材に用いられるジルコニウム合金：  
栄藤良則, 土内義浩, 845.

ATOMOS Special 世界の原子力事情(第19回) 東欧編；リトアニア—4ヶ国で新原子力発電所建設計画：杉本 純, 850.

会議報告 中国で開催された軽水炉燃料の専門家会合の概要：坂本 寛, 杉山智之, 852.

Web アンケート 「分かりやすい」「正確な」情報が重要；原子力ムラとの批判に対する学会からの発信にも期待(10月号のWeb アンケート結果), 853.

ジャーナリストの視点 鳴らせなかった警鐘：大崎要一郎, 854.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 平成24年度フェロー候補推薦募集, 編集委員会からのお知らせ「英文論文誌の Taylor &  
Francis 社からの出版について」, 英文論文誌(Vol.48, No.12)目次, 和文論文誌(Vol.10, No.4)目次, 主要会務, 855.

後 付 総目次・著者名索引(Vol.53, NOS.1~12)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 54, Nos. 1~12 (2012)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 広い視野を持った若者の原子力人材育成を！：中込良廣, 1.
- 時論 「安全神話」「安全・安心」とリスクコミュニケーションを考える：大西有三, 2.  
福島第一原子力発電所事故への諸外国の反応：尾本 彰, 4.  
今後の原子力教育に夢を：竹田敏一, 6.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 8.
- 連載 東日本の巨大地震に学ぶ(4)；2011年東北地方太平洋沖地震：尾池和夫, 14.
- 解説 論点「原子力」を考える エネルギー安全保障と今後の原子力；脱原発の影響を考える：山名 元, 17.  
リアルな原発のたまたみ方：橋川武郎, 22.
- From Editors, 26.
- 解説 全電源喪失について：岡本孝司, 27.  
原子力発電所の全交流電源喪失規制はなぜ遅れたか；大津波の可能性の知見がなぜ福島第一発電所に活かせなかったか：宮坂靖彦, 32.  
チェルノブイリ原発事故：初期の混乱から国際機関のまとめの報告まで；WHO, IAEA などの10年, 20年のまとめ, および25年目の UNSCEAR 2008：長瀧重信, 36.  
チェルノブイリ新シェルター建設の現状：武田充司, 41.  
原子炉施設の確率的リスク評価の動向と今後への期待；1. 確率的リスク評価手法の特徴と課題：山下正弘, 45.  
核不拡散から見たウラン濃縮および使用済燃料取扱いに関する最近の注目すべき国際動向：久野祐輔, 山村 司, 51.
- 報告 クリーンアップ分科会の活動：井上 正, 藤田玲子, 55.
- 解説シリーズ ヒューリスティックな最適化手法とモデリング(第2回)；古典的手法と Particle Swarm Optimization：相吉 英太郎, 岡本 卓, 小林容子, 57.
- 連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第6回)；機能性材料：四竈樹男, 61.
- 書評 Thermo-Fluid Dynamics of Two-Phase Flow, 2nd Ed.：波津久達也, 65.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第20回) 東欧編(最終回)；ポーランド—新原子力発電所建設に不確定要素：杉本 純, 66.
- 談話室 若手の想い：原子力技術者の若手として, 今, 何を実施すべきか？：中里 道, 谷中 裕, 68.
- ジャーナリストの視点 われわれは裁判官ではない：福田 悟, 70.
- Web アンケート 幅広い内容の記事を望む声が多く；社会とリスクを共有する必要性も(11月号のWeb アンケート結果), 71.
- 会報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 人事公募, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.49, No.1)目次, 主要会務, 72.

## No. 2 (2月号)

- 巻頭言 「反原発・脱原発」論議のまやかし：宮 健三, 77.
- 時論 「神の国意識」の崩壊：広瀬弘忠, 78.  
津波被害の教訓—学会活動の現場から：当麻純一, 80.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 82.
- 連載 東日本の巨大地震に学ぶ(5/最終回)；東日本の巨大地震に学ぶ：尾池和夫, 88.
- 解説 論点「原子力」を考える 自然エネルギー発電の可能性と限界；過大な期待への警告：林 勉, 91.  
原子力は持続可能なエネルギーか？；市場・デモクラシー・倫理が決める原子力の行く末：  
飯田哲也, 97.  
福島事故の収束と環境回復に向けて；日本原子力研究開発機構の活動：佐久間 実, 101.  
放射能汚染地域の除染を急ごう；主な除染方法の原理—伊達市, 飯館村での除染試験から：吉田善行, 105.  
低炭素型水素エネルギーシステム：石本祐樹, 110.  
再生可能エネルギー大量導入における課題；ドイツの事例から：伊勢公人, 115.
- From Editors, 118.
- 解説 EU ストレステスト調査報告；EU 本部及び欧州各国でのインタビュー調査報告：諸葛宗男, 吉田智朗, 119.  
最近の核セキュリティの国際動向と日本の基本姿勢；1. IAEA 核セキュリティ勧告文書の解説：宮本直樹, 草間経二, 飯田 透, 123.

原子炉施設の確率論的リスク評価の動向と今後への期待；2. 原子力学会リスク評価関連標準の整備と今後の計画：成宮祥介，128.

解説シリーズ ヒューリスティックな最適化手法とモデリング(第3回)；遺伝的アルゴリズムと差分進化法：相吉英太郎，岡本卓，小林容子，133.

連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第7回)；照射技術：鳴井 實，四竈樹男，137.

会議報告 臨界安全国際会議 ICNC 2011：三好慶典，142.

新刊紹介 Nuclear Hydrogen Production Handbook：若林利男，143.

ジャーナリストの視点 「原発を支えた双葉の人々」：桑折しのぶ，144.

会 報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，「原子力学生国際交流事業」平成24年度派遣学生募集要項，意見受付公告，英文論文誌(Vol.49, No. 2)目次，主要会務，145.

### No. 3 (3月号)

巻 頭 言 原子力発電所の信頼を回復するために：山本卓朗，149.

時 論 22世紀に向けたエネルギー技術開発を！：小野崎正樹，150.  
世界と連動し「継続的安全向上」の仕組み作りを：田中隆則，152.

N E W S 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，154.

解 説 航空機モニタリングによる東日本全域の空間線量率と放射性物質の沈着量調査：鳥居建男，眞田幸尚，杉田武志，田中圭，160.

福島第一原子力発電所高汚染水の処理処分の課題；処分を見据えた対応策の提言：山岸 功，三村 均，出光一哉，166.

原子力発電所が受けた震災；事故の真因とこれからの考える：宮野 廣，171.

震災を踏まえた中長期エネルギー需給構造のあり方と原子力の役割：都筑和泰，176.

福島原発事故にみる危機管理の発想とクライシス・コミュニケーション；何のための情報発信か？：土田昭司，181.

原子炉施設の確率論的リスク評価の動向と今後への期待；3. リスク評価を使いこなす—原子力安全の確保：山口 彰，184.

From Editors, 190.

解 説 最近の核セキュリティの国際動向と日本の基本姿勢；2. 核セキュリティ強化に係る我が国の国際公約の状況，及び福島原発の教訓も踏まえた核テロ対策等への対応：直井洋介，鈴木美寿，中込良廣，191.

新刊紹介 原子力に未来はあるか：佐田 務，196.

解 説 炉心崩壊熱パндеモニウム問題とその解決への30年；核分裂生成核種の崩壊図にひそむ困難との闘い：吉田 正，197.

解説シリーズ ヒューリスティックな最適化手法とモデリング(第4回/最終回)；ヒューリスティック手法を用いたモデリング：相吉英太郎，岡本 卓，小林容子，201.

連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第8回/最終回)；材料評価技術：笠原茂樹，茶谷一宏，205.

私の主張 SPEEDIは今後どうあるべきか；福島第一原子力発電所事故を経験して：茅野政道，210.

談 話 室 福島原発事故後を考える；一般市民との対話を：学生の意識調査から見えてくること：山崎正勝，212.

会議報告 放射性物質の安全かつ防護された輸送に向けて：小田野直光，広瀬 誠，214.

ジャーナリストの視点 放射能から逃れて—引き裂かれた家族と寄り添う：杉浦美香，215.

Web アンケート 福島事故に対する欧米の反応に高い関心；国際センター化の必要性の声も(12月号の Web アンケート結果)，216.

福島原発事故の電源喪失についての関心が多く；海外の反応も気になる(1月号の Web アンケート結果)，217.

会 告 平成24年度新役員候補者募集のお知らせ，218.

会 報 学術的会合の予定，共催行事，訃報，英文論文誌(Vol.49, No. 3)目次，和文論文誌(Vol.11, No. 1)目次，主要会務，219.

### No. 4 (4月号)

会長所信 東京電力福島第一発電所事故から1年が経過して：田中 知，前付.

巻 頭 言 転換期における科学の役割：大西 隆，223.

時 論 わが国におけるエネルギー政策について：内田 厚，224.  
原発事故後の科学技術と社会との関係：藤垣裕子，226.

N E W S 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，228.

特別企画 我が国の核燃料サイクル 核燃料サイクルについての正しい理解を：田中 知，234.

日本の核燃料サイクル；その意味と歴史的重み：河田東海夫，235.

今後の核燃料サイクルについて；コスト等から見た核燃料サイクル：山名 元，243.

解 説 津波対策評価ガイドラインの策定；福島第一原子力発電所の事故後の対策を受けて：橋爪秀利，250.

From Editors, 254.



- 解説 福島第一原子力発電所の事故に係わる放射線影響分科会の活動報告(Ⅱ)；緊急事態宣言下初期における放射線情報の把握と活用：「原子力安全」調査専門委員会放射線影響分科会，255。  
ヨーロッパにおける食品摂取経路を通じてのチェルノブイリ事故の影響；全身計測による放射性セシウムの人体負荷量とそれによる内部被ばく：稲葉次郎，259。
- 解説シリーズ 福島第一原子力発電所事故後の天然ガス及び化石燃料の利用動向(第1回)；化石燃料の利用動向：塙 雅一，小野崎正樹，265。
- 報告 今，教育現場に必要なもの：塚平恒雄，270。
- 談話室 日米欧原子力学生国際交流事業による米国留学生受け入れ；平成23年度の報告と今後の展望：宇根崎博信，275。
- 視角—Angle 理想と現実の調和：野村茂雄，277。  
我が国の実情に即した今後の電源の選択を：岡田英俊，278。  
「原子力に思うこと」：溝口 直，279。
- 新刊紹介 災害論—安全工学への疑問：木村逸郎，280。
- ジャーナリストの視点 「国際化」は死語になるか？：潮 昭太，281。
- 会告 「春の年会」「秋の大会」参加料改定のお知らせ，282。
- 日本原子力学会「2012年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，283。
- 会報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，英文論文誌(JNST)個人会員向け無料アクセス開始のお知らせ，日米欧学生交流派遣レポート「マインツ大学滞在記」能任琢真，「第44回(平成23年度)日本原子力学会賞」受賞一覧，平成23年度(第5回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧，平成24年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰，英文論文誌(Vol.49, No.4)目次，主要会務，284。

## No. 5 (5月号)

- 巻頭言 福島事故を乗り越えて：辻倉米蔵，291。
- 時論 国際的視野から原子力政策の検討を：大庭三枝，292。  
科学技術イノベーション政策形成プロセスとその担い手；新たな動向と原子力における課題：城山英明，294。  
原子力発電と消費者：阿南 久，296。
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，298。
- 解説 論点「原子力」を考える モデル手法による原子力発電の経済性；「コスト等検証委員会」2011年試算より：村上朋子，304。  
持続可能性原則から考えるエネルギーシステムの評価：植田和弘，308。
- 特別企画 我が国の核燃料サイクル 「もんじゅ」を中心に据えた GACID 国際共同研究プロジェクト；将来世代のエネルギー選択肢を広げる技術の提供：此村 守，312。  
加速器駆動核変換技術による廃棄物処分の負担軽減；核変換専用の核燃料サイクルの技術開発で不透明な将来に備える：大井川宏之，315。
- 解説 政府の福島原子力発電所事故調査・検証委員会の中間報告について：吉岡 斉，318。  
福島第一原子力発電所事故後の除染の現状と今後の計画；避難住民の早期帰還に向けて：森谷 賢，323。  
ストレステストってなに？：澤田哲生，328。
- From Editors, 332。
- 解説 原子力賛成が減り反対が増加；原子力をめぐる世論調査結果：横手光洋，333。
- 解説シリーズ 福島第一原子力発電所事故後の天然ガス及び化石燃料の利用動向(第2回)；石炭の利用動向：入谷淳一，時松宏治，337。
- OPINION わが国の核燃料サイクルの問題：河野太郎，342。
- 新刊紹介 知っておきたい物理の疑問55：関 泰，345。
- 報告 福島第一原子力発電所事故に向き合い乗り越えよう；GLOBAL 2011国際会議より：深澤哲生，346。
- 談話室 東海再処理事物語：中島健太郎，349。
- 視角—Angle 今後の日本のエネルギーについて：近藤吉明，351。  
人類の生存の時間軸とエネルギー：飯田式彦，352。
- Web アンケート 「原子力政策の行方」に高い関心；WEB アンケートは今月号で終了します(2月号の Web アンケート結果)，353。
- 会報 学術的会合の予定，人事公募，平成24年度放射線取扱主任者試験施行要領，訃報，英文論文誌(Vol.49, No.5)目次，主要会務，354。
- 第44回(平成23年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

## No. 6 (6月号)

- 巻頭言 止め続ける，冷やし続ける，閉じ込め続ける：和田 章，357。

- 時 論 原発事故後の世の中の論調に対する社会学的視点からの分析；「四人のジレンマ」からの脱却は可能か：武田 徹，358.  
原子力・放射線リテラシーの再構築：工藤和彦，360.  
福島第一原子力発電所事故時の防災対応：小佐古敏荘，362.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，364.
- 特 集 福島第一原子力発電所事故の対応と今後の計画(福田俊彦，宮田浩一，山下和彦，土方勝一郎)，370.  
事故対応の概要と今後の安全のあり方；福島事故の教訓を今後の安全に  
どう生かすか：福田俊彦，371.  
事故時の対応とプラントの挙動：宮田浩一，376.  
事故後の取組みと今後の中長期計画：山下和彦，381.  
地震・津波の影響—発電所で観測した地震動と津波：土方勝一郎，386.
- 解 説 日本の津波対策の歴史とシミュレーションの進展：藤間功司，391.  
原子力損害賠償法の特色と課題；賠償スキームも含めた「安全・安心」を確立する：澤 昭裕，竹内純子，396.
- From Editors, 401.
- 解 説 福島原発事故の民間事故調査委員会に参加して：遠藤哲也，402.
- 新刊紹介 放射線防護の実用的知識：宇根崎博信，405.
- 解 説 確率論的安全評価(PSA)と確率論的リスク評価(PRA)：山口 彰，406.
- 解説シリーズ 福島第一原子力発電所事故後の天然ガス及び化石燃料の利用動向(第3回)；CO<sub>2</sub>回収・貯留(CCS)：高木正人，  
409.
- 報 告 福島第一発電所事故に関する世界のリーダー・若者との議論；2011年度世界原子力大学(WNU)夏季研修参加報告：  
川久保陽子，後藤弘行，三宅基寛，414.
- 視角—Angle これからの放射線教育について思うこと：横山須美，416.  
これからのエネルギーについて；ある庶民のつぶやき：森崎利恵子，417.  
エネルギー政策も地産地消で：境野米子，418.
- ジャーナリストの視点 除染について書くことの迷い：杉本 崇，419.
- 会 告 一般社団法人 日本原子力学会「第2回総会」のご通知，420.  
原子力学会の財務状況について；新規個人会員・賛助会員の勧誘と福島事故対応活動への支援・寄付をお願いします，421.
- 会 報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，日本原子力学会フェロー基金への寄付のお願い，平成23年度日本原子力学会  
フェロー基金寄付者芳名一覧，「原子力安全」調査専門委員会基金寄付者芳名一覧，英文論文誌(Vol.49, No. 6)目次，和  
文論文誌(Vol.11, No. 2)目次，主要会務，422.

## No. 7 (7月号)

- 巻 頭 言 新会長就任挨拶 リーダーシップを発揮し信頼の回復を：野村茂雄，427.
- 時 論 長期エネルギー需給計画とインテグレーション：荻本和彦，428.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，430.
- 解 説 推進派と反対派の協働的分業を；「ポスト福島事故」をめぐる社会的課題：佐田 務，436.  
福島第一原子力発電所事故を踏まえた関西電力における安全確保対策の取組状況：吉原健介，441.
- From Editors, 446.
- 解説シリーズ 原子力災害の再発を防ぐ(その1)；地震安全ロードマップ策定の意義と重要性：宮野 廣，中村隆夫，成宮祥介，  
447.
- 解 説 内外における発送電分離の動向と評価；求められる客観的なメリット・デメリット比較：矢島正之，452.  
欧州での原子力発電の現状と今後の見通し：東海邦博，457.
- 新刊紹介 原子力災害に学ぶ放射線の健康影響とその対策：松本智裕，462.
- 解 説 21世紀のアジアを巡るエネルギー安全保障；2011年版IEA 世界エネルギー見通しから：田中伸男，463.
- 解説シリーズ 福島第一原子力発電所事故後の天然ガス及び化石燃料の利用動向(第4回/最終回)；シェールガスの動向—天然ガ  
スの埋蔵量の急増とLNG需給への影響と展望：伊原 賢，469.
- 解 説 気候変動政策とIPCC；科学と政策の応答と課題：浅岡美恵，475.
- 解説シリーズ 放射線・粒子線がん治療と医学物理の最前線(第1回)；X線がん治療の現状，課題，展望：平岡真寛，480.
- 報 告 原子力産業界のソウルサミットに出席して：持地敏郎，484.  
日本原子力学会「2012年春の年会」男女共同参画委員会セッション報告；原子力分野で高まる女性研究者・技術者の重要  
性—震災・事故対応の現場報告を通して：日本原子力学会男女共同参画委員会，486.
- 談 話 室 「根拠なき安全神話」から「リスクテイク」へ：田下正宜，488.  
都会の青大将：瀧口克己，490.
- ジャーナリストの視点 「東海村の大いなる挑戦」：大久保陽一，492.
- 会 報 学術的会合の予定，主催行事，共催行事，人事公募，新入会一覧，日米欧学生交流派遣レポート「カリフォルニア大学

滞在記－苦い経験の積み重ね」宮澤健，英文論文誌 (Vol.49, No. 7) 目次，主要会務，493.  
一般社会法人 日本原子力学会「第2回総会」議事原案(後付)

## No. 8 (8月号)

- 巻頭言 原子力と自動車の安全性：茅 陽一，499.
- 時 論 沈み行く日本の新生に向けて：柘植綾夫，500.  
原子力の経済性—社会的費用をいかに回避するか：大島堅一，502.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，504.
- 解説シリーズ 原子力発電所に対する津波を起因とした確率的リスク評価(第1回)；津波 PRA 評価手法の概要及びシステム解析：桐本順広，510.  
原子力災害の再発を防ぐ(その2)；原子力安全論理の再構築に向けて：宮野 廣，関村直人，中村隆夫，成宮祥介，515.
- 解 説 低線量放射線の人体影響：わからないことがわからない：福本 学，521.
- From Editors, 526.
- 解 説 原子力損害賠償に関する国際的な枠組み；国際条約の必要性と3系統の国際条約の特徴：富野克彦，527.  
福島第一原子力発電所事故の核セキュリティ上の教訓；2012年ソウル核セキュリティシンポジウムにおける発表：内藤香，531.
- 報 告 全地球的核セキュリティ・ガバナンスの革新；ソウル核セキュリティシンポジウムの議論より：千崎雅生，535.  
福島県浜通り汚染地域の復興，クリーン化は地元の手で；地元のコアを通して支援の実績と課題：天野 治，538.  
核燃料サイクル工学研究所における福島原発事故後のリスクコミュニケーション；市民の心情に寄り添った冷静な判断へのお手伝い：日本原子力研究開発機構リスクコミュニケーション室，543.
- 新刊紹介 核セキュリティの基礎知識；国際的な核不拡散体制の強化と日本の取るべき対応：須田一則，548.
- 報 告 JAEA 図書館が発信する福島原発事故参考文献情報：池田貴儀，米澤 稔，中嶋英充，549.
- 私の主張 原子力規制体制の抜本的な見直しを：古屋廣高，554.
- 談 話 室 「技術の力」と「ほくらの精神」：飯田式彦，556.  
福井から東電福島事故とそのグローバルな影響について展望する：山脇道夫，558.
- 新刊紹介 誰も書かなかった福島原発の真実：嶋田昭一郎，559.
- 会 報 学術的会合の予定，人事公募，新入会一覧，第45回(平成24年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集，「2012年秋の大会」見学会のご案内，意見受付公告について，英文論文誌 (Vol.49, No. 8) 目次，主要会務，560.

## No. 9 (9月号)

- 巻頭言 安寧な社会構築に向けてのこれからの学会の役割：金子成彦，565.
- 時 論 再生可能エネルギーに頼る脱原発政策の危うさ：山本隆三，566.  
天然ガスコンバインドサイクルへの期待と課題；猪瀬構想の夢と盲点：吉田武治，568.  
事故に際して専門家による見解発信の重要性：堀 雅夫，570.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，572.
- 解説シリーズ 電力制度改革の核心にせまる(その1)；電力産業に更なる競争を導入することの意義と課題：大橋 弘，578.
- From Editors, 582.
- 解説シリーズ 電力制度改革の核心にせまる(その2)；制度改革と地域主導型電力ネットワーク：横山隆一，583.  
電力制度改革の核心にせまる(その3)；歴史からの提言—求められるビジネスモデルの転換：橘川武郎，588.
- 解説シリーズ 原子力災害の再発を防ぐ(その3)；地震工学分野から原子力安全への提言：亀田弘行，高田毅士，蛭沢勝三，中村晋，593.
- 解 説 食品中放射性核種濃度の新たな規格基準：高橋知之，602.  
福島原発事故以降，首都圏住民と原子力学会員の原子力に対する認識ギャップはどうなったのか？：木村 浩，606.
- 解説シリーズ 放射線治療・粒子線治療と日本における医学物理士教育(第2回)；ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)：小野公二，611.
- 連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料—次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題(第1回)；黒鉛・炭素材料：柴田大受，沢 和弘，616.
- 私の主張 原子力規制委員会に望む：西脇由弘，621.
- 会議報告 原子力発電所の不測事態マネジメントに関する IAEA 会議参加報告：尾本 彰，623.
- 新刊紹介 核不拡散をめぐる国際政治；規範の順守，秩序の変容：菊地昌廣，624.  
今，原子力研究者・技術者ができること：山野直樹，624.
- 会 報 学術的会合の予定，主催行事，共催行事，人事公募，英文論文誌 (Vol.49, No. 9) 目次，和文論文誌 (Vol.11, No. 3) 目次，

主要会務, 625.

## No. 10 (10月号)

- 巻頭言 原子力発電, 政治家と専門家の責任: 葛西敬之, 629.
- 時論 歴史的転換軸としての「電力自由化」: 山岡淳一郎, 630.  
福島第一発電所事故について考えること(低線量放射線被曝の安全と安心): 白鳥正樹, 632.
- 会長所見 「原子力なしで, 本当に大丈夫でしょうか」; 「原子力ゼロ」の新エネルギー政策に関する所見: 野村茂雄, 634.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 636.
- 報告 福島特別プロジェクトの立ち上げ: 田中 知, 藤田玲子, 640.
- 解説 政府の福島原子力発電所事故の調査・検証結果の報告: 越塚誠一, 642.
- 報告 福島第一原子力発電所事故による原子力災害被災自治体等調査結果について: 中村 真, 嶽 勤治, 647.
- From Editors, 652.
- 解説シリーズ 原子力災害の再発を防ぐ(その4/最終回); 機械構造分野の今後の課題: 岡本孝司, 高木敏行, 植田 進, 653.  
原子力発電所に対する津波を起因とした確率的リスク評価(第2回); 津波ハザード解析: 松山昌史, 659.
- 解説 高速炉の原子炉容器内観察・補修技術開発; 高速実験炉「常陽」の復旧に向けた取り組み: 小林孝良, 664.
- 解説シリーズ 放射線治療・粒子線治療と日本における医学物理士教育(第3回/最終回); 日本における医学物理士のあり方と求められる教育並びに教育プログラムの現状: 丸橋 晃, 667.
- 解説 原子力外交シリーズ(第6回) NSGの概要と最近の動向; 核兵器関連資機材等の国際的な輸出管理レジームについて: 牧野守邦, 672.  
風力発電の現状と今後の展望; 我が国における風力発電の動向: 三保谷 明, 674.
- 連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料一次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題(第2回); 低放射化フェライト鋼: 谷川博康, 廣瀬貴規, 酒瀬川英雄, 谷川 尚, 680.
- 談話室 とことん語る福島事故と原子力の明日; 学生とシニアの交流成果, 福島事故を市民に解説: 学生とシニアの対話会, 685.  
今わたしたちだからできること: 布目礼子, 687.
- ジャーナリストの視点 原発の安全とは何か? ; フランス・グラブリーヌの取材から感じたこと: 兼子将敏, 689.
- 日本原子力学会「2013年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 690.
- 会報 学術的会合の予定, 主催行事, 訃報, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 第2回総会議事原案の訂正, 英文論文誌(Vol.49, No.10) 目次, 主要会務, 691.

## No. 11 (11月号)

- 巻頭言 次世代の社会インフラ構築に向けて: 柵山正樹, 695.
- 時論 議論の深化が望まれるエネルギー政策: 柏木孝夫, 696.  
政治に翻弄される浜岡原発, 現地報告: 石井孝明, 698.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 700.
- 特集 原子力人材育成の現状と課題, 706.  
原子力人材育成の現状と課題 大学における原子力教育の現状: 工藤和彦, 707.  
原子力産業界における人材育成の課題—福島第一原子力発電所事故を教訓として: 徳田 充, 711.  
原子力人材育成環境の現状と文部科学省の取り組み: 正岡秀章, 715.
- From Editors, 720.
- 解説 原子力安全論理の再構築とレジリエンスベースの安全学: 北村正晴, 721.  
シビアアクシデント時に溶融した燃料の形態と特性; TMI-2炉心から採取したデブリに対する試験の結果から: 永瀬 文久, 727.  
スマートグリッドの現状と今後の展望: 栗原郁夫, 732.  
ヒッグス粒子, 未知への探求へ第一歩; LHC 実験の最新成果について: 陣内 修, 738.
- 報告 環境影響, 線量評価及び放射能計測の現状と見通し; 初期活動状況の総括: 中村尚司, 百瀬琢磨, 井口哲夫, 743.
- From Abroad The 3rd International Conference on Nuclear Power Plant Management, Salt Lake City, Utah, USA: Ki Sig Kang, Frank Nuzzo, 747.
- 連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料一次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題(第3回); 酸化物分散強化型(ODS)フェライト鋼: 鶴飼重治, 大塚智史, 皆藤威二, 750.
- 私の主張 事故時の原子炉主任技術者の在り方の再検討: 木村逸郎, 755.
- 会議報告 原子力プラントの安全確保に関する国際動向: 倉本孝弘, 756.
- ジャーナリストの視点 原発事故1年半, 改革は進んだのか: 服部 尚, 757.

- 会 告 平成25・26年度代議員候補者推薦のお願い, 758.  
会 報 学術的会合の予定, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 奨学金基金寄付者追加, 意見受付公告について, 英文論文誌(Vol.49, No.11)目次, 主要会務, 759.

## No. 12 (12月号)

- 巻 頭 言 大自然と宇宙を司る理と専門家の知恵：櫻井よしこ, 763.  
時 論 多様なリスクに注目しながら：藤江幸一, 764.  
メディア・バイアスはいかにして生じるか：小島正美, 766.  
N E W S 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 768.  
解 説 原子力規制委員会設置法の概要；新しい原子力安全規制法制度とは：諸葛宗男, 西脇由弘, 774.  
福島第一原子力発電所から放出された放射性セシウム同位体の北太平洋における総量と分布：青山道夫, 780.  
解説シリーズ 原子力発電所に対する津波を起因とした確率的リスク評価；第3回(最終回)建屋・機器フラジリティ評価：美原義徳, 784.  
解 説 東日本大震災におけるエネルギーインフラの被害調査と問題分析；日本機械学会東日本大震災調査・提言分科会 WG5の活動：小泉安郎, 浅野 等, 大川富雄, 789.  
「福島の事故は、なぜ防止できるのか」について：斯波正誼, 794.  
From Editors, 798.  
核融合発電技術開発の現状と今後の展望；目前に迫る核融合連続燃焼の実現：岡野邦彦, 799.  
ヤッカマウンテン計画の失敗とブルーリボン委員会報告書：河田東海夫, 804.  
集光型太陽熱発電(CSP)の技術と市場：吉田一雄, 810.  
報 告 危機管理とヒューマン・マシン・インタフェースにおける課題と議論；震災を踏まえて：HMS 研究部会夏期セミナー会議報告：長谷川尚子, 松村哲夫, 五福明夫, 815.  
連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料一次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題(第4回)；SiC複合材料：檜木達也, 819.  
新刊紹介 連続体力学の話法；流体力学, 材料力学の前に：刑部真弘, 823.  
会 報 学術的会合の予定, 共催行事, 寄贈本一覧, 人事公募, 平成25年度フェロー候補推薦募集, 日米欧学生交流派遣レポート「カールスルーエ工科大学滞在記」向井啓祐, 和文論文誌(Vol.11, No.4)目次, 英文論文誌(Vol.49, No.12)目次, 主要会務, 824.  
総目次・著者名索引(Vol.54, NOS.1~12)(後付)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.55, Nos. 1 ~ 12 (2013)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No.1 (1月号)

- INTERVIEW 田原総一郎が語りつくした原発の今、そして未来；臆病風をふかせるな！ 姿を見せて語れ！：田原総一郎, 1.
- 時 論 電力自主で世界に誇れるストレステストを：班目春樹, 6.  
日本のエネルギーの今後と産業復興：金子祥三, 8.  
原子力/エネルギーの未来は国民との対話によって決まる：枝廣淳子, 10.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 12.
- 座談会「原子力の人材問題を考える」  
「どうしたら若い人たちに原子力の魅力を伝えられるか」：勝又尚貴, 関根将史, 竹生論司, 城 隆久, 工藤和彦, 近藤吉明, 18.
- 報 告 福島原発事故が教えるもの；政府事故調委員長を終えて：畑村洋太郎, 24.
- 解 説 エネルギー政策における国民的議論とは何だったのか：八木絵香, 29.  
津波を起因とした確率論的リスク評価；原子力学会標準を用いた津波 PRA の事故シーケンス評価例(PWR)：小原教弘, 長谷川圭子, 黒岩克也, 35.  
福島における除染・処分コスト；単位工事コスト係数法による除染・処理・貯蔵処分費用の試算：石倉 武, 藤田玲子, 40.  
From Editors, 47.
- 連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料一次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題(第5回)；VおよびW合金：長坂琢也, 栗下裕明, 48.
- 報 告 IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール日本開催；アジアにおける原子力人材育成の中核をめざして：上坂 充, 山下清信, 大釜和也, 服部拓也, 53.
- 講 演 放射性廃棄物地層処分の実施に向けて進むべき道：朽山 修, 57.
- 談 話 室 直接処分に適した燃料の開発を進めよう：岩村公道, 61.
- アトモス時評 原子力安全の論理について深い議論を：滝 順一, 63.
- 会 告 代議員選挙について(投票のお願い), 65.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催行事, 人事公募, 編集委員会からのお知らせ「英文論文誌 JNST 審査・投稿システムの移行のお知らせ」, 次年度会費請求のお知らせ, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 誤記訂正, 英文論文誌 (Vol.50, No.1)目次, 主要会務, 67.

## No.2 (2月号)

- 巻 頭 言 科学者と専門家の役割：吉川弘之, 71.
- 時 論 脱原発と格闘するドイツ：川口マーン恵美, 72.  
太平洋のレアアース泥鉱床の発見と開発可能性：加藤泰浩, 74.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 76.
- 特 集 放射線防護に用いられる線量概念：放射線工学部会線量概念検討ワーキンググループ, 82.  
線量概念の概要と防護量, 83.  
実用量と防護量, 87.  
From Editors, 90.  
福島等で使用されている線量計と防護量の関係, 91.
- 解 説 最近の世界のエネルギー確保の動き・経済ダイナミズムと関連技術；日本のエネルギーの今後と産業復興：金子祥三, 97.  
国際放射線防護委員会(ICRP)2007年勧告への道のり；放射線による健康障害の低減を目指して：佐々木康人, 岡崎 篤, 102.

現存被ばく状況における参考レベルの適用；汚染の状況に応じた段階的な線量低減に向けて：萩野晴之，浜田信行，杉山大輔，106.

プルトニウムのトリレンマにいかに対処するか；原子力政策転換に伴うプルトニウム核不拡散への対応：久野祐輔，鈴木美寿，山村 司，田崎真樹子，111.

新刊紹介 地層処分；脱原発後に残される科学課題：稲垣八穂広，116.

報告 ICRP の最新動向と福島事故対応；第 27 回原安協シンポジウムより：酒井一夫，117.

組織や専門分野を超えた若手交流の意義；原子力若手討論会報告：永田章人，後藤弘行，120.

連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料一次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題（第 6 回）；機能材料（増殖・増倍材料を含む）：中道 勝，星野 毅，四竈樹男，123.

会議報告 「2012 年秋の大会」倫理委員会セッション報告：柴田洋二，128.

会 報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，編集委員会からのお知らせ「英文論文誌 JNST 審査・投稿システムの移行のお知らせ」，次年度会費請求のお知らせ，「2013 年春の年会」見学会のご案内，英文論文誌（Vol.50, No.2）目次，主要会務，129.

### No.3 (3月号)

巻 頭 言 「覚悟」：品田宏夫，133.

時 論 福島第一原子力発電所事故の要因と学ぶべき教訓：堀井秀之，134.

N E W S 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，136.

報 告 国会「東京電力福島原子力発電所事故調査委員会」とその意義：黒川 清，146.

ミニ特集 原子力エネルギーのリスク低減と今後のエネルギーミックスにおける役割：田中 知，152.

解 説 福島第一原子力発電所事故の技術的知見と第 4 世代炉の安全性：山口 彰，杉山憲一郎，中井良大，小竹庄司，161.

福島原発事故による長期影響地域の生活回復のための福島県民と ICRP との対話集会から：川合将義，166.

地熱発電の現状と今後の展望；地熱エネルギー開発の歴史と問題点：當舎利行，172.

From Editors, 177.

解 説 超高感度 HARP 撮像管の開発と応用；放送・深海探査・X 線医療診断研究での活用：谷岡健吉，178.

報 告 原発被災地の農業の復活を願って，浅い田畑の対応；ひまわりによるセシウムの吸収・吸着状況，ひまわり除染調査隊報告：天野 治，183.

核セキュリティ確保の強化に向けて；事業者，規制当局，学会等間の透明性を確保した連携：日本原子力学会核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会，186.

ジャーナリストの視点 原発被災者に寄り添う科学者の姿：神保圭作，190.

会 告 平成 25 年度新役員候補者募集のお知らせ，191.

日本原子力学会 定款改定案についての意見募集，192.

日本原子力学会「2013 年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，193.

会 報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，新入会一覧，寄贈本一覧，誤記訂正，「原子力学生国際交流事業」平成 25 年度派遣学生募集要項，日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート「KIT 滞在記—海外との距離」吉田崇英，英文論文誌（Vol.50, No.3）目次，和文論文誌（Vol.12, No.1）目次，主要会務，194.

### No.4 (4月号)

巻 頭 言 今，改めて核セキュリティ文化の確立を：伊藤隆彦，199.

時 論 原子力安全の確保に必要な人材の育成を：代谷誠治，200.

安全規制の最適化とは：岡本孝司，202.

インテグラルファーストリアクター（統合型高速炉，IFR）の物語：田中伸男，204.

N E W S 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，206.

解 説 理念を実践につなぐ；求められるのは具現化への道筋：北村正晴，212.

原子力安全について思うこと；東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故に関連して：小山田 修，217.

検証！ SPEEDI が福島原発事故で提供した予測情報；その精度と適時性，今後の活用：茅野政道，220.

核融合研究で開発された最先端技術の波及効果：栗原研一，小川雄一，225.

報 告 放射性セシウムはどう動くのか；原子力機構が福島県で放射性物質の環境動態研究に着手：日本原子力研究開

発機構, 231.

連載講座 これからの原子力システムを担う新原子力材料一次世代原子力システムのための材料開発の現状と課題(第7回/最終回);材料評価技術:若井栄一, 235.

From Editors, 244.

談話室 本当に人々は「ゼロリスク」を求めているのか;シビアアクシデント対策とゼロリスク志向:堀越秀彦, 245.

ジャーナリストの視点 40年後も変わらぬこと:石毛紀行, 247.

会報 学術的会合の予定, 共催行事, 人事公募, 日本原子力学会新規フェロー(21名), 平成24年度(第6回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 平成25年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 英文論文誌(Vol.50, No.4)目次, 主要会務, 248.

第45回(平成24年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

#### No.5(5月号)

巻頭言 予期せざる部分:曾野綾子, 253.

時論 福島原発事故と健康リスク:山下俊一, 254.

米国原子力発電シンポジウムから学ぶ:尾本 彰, 256.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 258.

特集 原子力人材育成の現状と課題:264.

原子力人材育成ネットワークの全般的な活動:村上博幸, 日野貞己, 津留久範, 265.

国立高等専門学校における防災・安全教育を重視した原子力教育の現状:佐東信司, 268.

From Editors, 270.

国内人材国際化分科会の活動:山下清信, 生田優子, 271.

中学高校教員, 若年層および市民に向けた放射線教育の実践と課題(初等中等教育分科会の活動):工藤和彦, 木藤啓子, 274.

原子力人材育成ネットワーク・海外原子力人材育成分科会:上坂 充, 277.

解説 東京電力福島第一原子力発電所事故に対する医療対応:近藤久禎, 280.

福島県の除染対策について:除染推進に向けた福島県としての取り組み:遠藤浩三, 289.

二度と原子力発電所過酷事故を起さないために:原子力発電所過酷事故防止対策の提言:原子力発電所過酷事故防止検討会, 292.

米国の使用済燃料及び高レベル放射性廃棄物の管理・処分戦略:河田東海夫, 298.

談話室 原子力分野における「安全・安心」と「人材育成」:桑江良明, 303.

極秘計画のマネジメント:中村浩美, 305.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, 寄贈本一覧, 日本原子力学会標準のご案内, 英文論文誌(Vol.50, No.5)目次, 主要会務, 307.

#### No.6(6月号)

巻頭言 「システム1」と「システム2」を理解することで, 見えるものがある:勝間和代, 311.

時論 サイクル路線の転換よりも取組体制の強化を:山名 元, 312.

重要原子力施設直下・近傍の活断層:奥村晃史, 314.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 316.

解説 地震と断層, そして活断層とは何か;思いこみや風評を排して冷静な対応を:山崎晴雄, 322.

新規制基準(地震・津波)で要求される基準地震動:最近の被害地震から得られた知見を反映して:釜江克宏, 326.

敦賀発電所のD-1破砕帯問題の現況について:星野知彦, 安藤将人, 332.

From Editors, 337.

解説 福島原発事故の背景に迫る:北村俊郎, 338.

米国原子力界が福島第一事故から学んだこと:日米の原子力安全規制は強い連繋を:山口 彰, 342.

大地震から学んだ教訓と人工構造物の設計:和田 章, 347.

報告 平成24年度原子力に関する世論調査の結果;原子力利用に対する反対が減少し中立へ移行:横手光洋, 353.

RIC 2013(Regulatory Information Conference;規制情報会議)に出席して:松井一秋, 356.



会議報告 安全性と持続可能性を備えた高速炉サイクルの実用化を目指して：小野 清， 358.

新刊紹介 フランス原子力炉加圧水型炉，高速中性子炉の核燃料工学：川島正俊， 359.

理工系のための原子力の疑問 62：関 泰， 359.

アトモス時評 原子力の再出発は変化の受け入れから：大牟田 透， 360.

本号 50～51 ページに掲載のアトモス時評(大牟田 透氏)の指摘事項について， 362.

会 告 一般社団法人 日本原子力学会「第 3 回総会」のご通知， 363.

会 報 学術的会合の予定，主催行事，共催行事，人事公募，新入会一覧，日本原子力学会フェロー基金への寄付のお願い，平成 24 年度日本原子力学会フェロー基金寄付者芳名一覧，編集委員会からのお知らせ「東日本大震災福島原子力発電所事故関連論文迅速審査の終了のお知らせ」，「英文論文誌：Journal of Nuclear Science and Technology」賛助会員向け無料電子アクセス権ご提供開始ならびに冊子体寄贈終了のご案内，英文論文誌 (Vol.50, No.6) 目次，和文論文誌 (Vol.12, No.2) 目次，主要会務， 364.

### No.7 (7月号)

巻 頭 言 子供達に明るい未来を残そう：堀 義人， 369.

時 論 原発運営は原点に回帰せよ～「国家管理化」でリスク管理とコスト合理化を両立すべし：石川和男， 370.  
自動的に進行している「脱原発」：竹田恒泰， 372.

科学者のネットワーク：坂東昌子， 374.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報， 376.

特 集 原子力人材育成の現状と課題：国際原子力人材育成大学連合ネットの構築とモデル事業の成果， 382.

全体概要：齊藤正樹， 383.

第 1 分科会「横断的原子力基礎教育シリーズ・セミナー」の成果：玉川洋一， 385.

第 2 分科会「グローバル原子力エリート育成」の成果：井頭政之， 387.

第 3 分科会 国際舞台で活躍できる原子力ヤング・エリート人材育成：奈良林 直， 389.

第 4 分科会「戦略的国際原子力教育」の成果：杉本 純， 391.

解 説 日本原子力学会「福島事故調査委員会」中間報告；学会は何をなすべきか—これからの取りまとめの方向：田中 知， 394.

解説シリーズ 高レベル放射性廃棄物地層処分の工学技術—技術開発から理解促進へ—；

第 1 回 オーバーパックの溶接と溶接部の健全性評価に関する技術開発：朝野英一，小林正人， 398.

報 告 日本原子力学会による日韓学生・若手研究者交流事業：日韓原子力学生・若手研究者交流小委員会， 403.

From Abroad Social and Institutional Management Leading to Risk Mitigation of Nuclear Power：Jukka Laaksonen， 407.

私の研究から ゼオライトと温故知新：三村 均， 412.

新刊紹介 科学者の責任—哲学的探究：佐田 務， 416.

Agricultural Implications of the Fukushima Nuclear Accident：横山須美， 416.

From Editors， 417.

ジャーナリストの視点 原子力学会員は科学者か呪術者か：後藤逸郎， 418.

会 報 学術的会合の予定，新入会一覧，「2013 年秋の大会」見学会案内，英文論文誌 (Vol.50, No.7) 目次，主要会務， 419.

一般社団法人 日本原子力学会「第 3 回総会」議事原案(後 付)

### No.8 (8月号)

巻 頭 言 原子力行政と自治体の役割：増田寛也， 423.

時 論 【雑感】国際社会における温暖化問題の現実とエネルギー政策の議論：藤沢久美， 424.

リスクと不確実性から見た原子力発電事業：上念 司， 426.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報， 428.

誤記訂正， 434.

特 集 福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による環境汚染対策と放射性廃棄物処理・処分への取組み：河西 基，藤塚哲朗，吉原恒一，勝見 武，朽山 修， 435.

解 説 原子力発電所の耐震・耐津波性能のあるべき姿；土木工学からの視点：当麻純一， 445.

鉄筋コンクリート製地中構造物の健全性評価技術；原子力発電所屋外重要土木構造物の構造健全性評価に関するガイドラインの改訂を踏まえて：松村卓郎，松井 淳，松尾豊史，宮川義範，原口和靖，宮川豊章，450.  
From Editors, 455.

解説シリーズ 高レベル放射性廃棄物地層処分の工学技術—技術開発から理解促進へ—；

第2回 緩衝材の製作，搬送，定置と定置後の品質に関する技術開発：朝野英一，456.

報 告 原子力核セキュリティ連携実験演習；大学・大学院・高専・原子力機構の実験演習ネットワーク：上坂 充，461.

Tokyo PSAM 2013 国際会議報告；リスク評価の活用で原子力安全は向上できるか？：成宮祥介，466.

談 話 室 緊急事態に備えるための危機管理：植松真理マリアンス，469.

会議報告 「2013年春の年会」倫理委員会セッション報告；技術倫理の理念と実践—レジリエンス・エンジニアリングの視点から—：作田 博，471.

新刊紹介 原子力報道—5つの失敗を検証する：木村逸郎，472.

チェルノブイリ原子力発電所事故—コンクリート構造物に及ぼした影響：奈良林 直，473.

会 告 「日本原子力学会定款」の改定が6月21日の総会で承認されました：一般社団法人日本原子力学会理事会，474.

会 報 学術的会合の予定，人事公募，新入会一覧，寄贈本一覧，平成25年度役員紹介，意見受付公告，第46回(平成25年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集，英文論文誌(Vol.50, No.8)目次，主要会務，475.

#### No.9 (9月号)

巻 頭 言 福島第一原発事故の前と後：松浦祥次郎，479.

時 論 原子力教育と研究：続けることの重要性：矢野豊彦，480.

ターニングポイント 廃棄できない廃棄物：マエキタミヤコ，482.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，484.

特 集 原子力安全部会「福島第一事故に関するセミナー」報告書から：

(第1報)報告書の概要：阿部清治，関村直人，松井 務，村松 健，490.

(第2報)福島第一事故の概要：守屋公三明，宮田浩一，川本敦史，499.

From Editors, 506.

解説シリーズ 高レベル放射性廃棄物処分の可逆性と回収可能性：

第1回 可逆性と回収可能性はどういうことなのか：田辺博三，507.

高レベル放射性廃棄物地層処分の工学技術—技術開発から理解促進へ—；

第3回(最終回) 技術開発成果を利用した理解促進：朝野英一，齋藤雅彦，515.

誤記訂正，519.

解 説 「実用的な放射線文化」の醸成に向けて：福島における「きずなスクエア(仮称)」の提案：和田裕子，中田誠一，福本多喜子，520.

核不拡散・核セキュリティ総合支援センターにおける人材育成：直井洋介，濱田和子，野呂尚子，524.

あいさつ 社会の信頼を取り戻すために：堀池 寛，529.

会 報 学術的会合の予定，主催行事，共催行事，人事公募，新入会一覧，「原子力安全」調査専門委員会基金寄付者芳名一覧，寄贈本一覧，英文論文誌(Vol.50, No.9)目次，和文論文誌(Vol.12, No.3)目次，主要会務，534.

#### No.10 (10月号)

巻 頭 言 ハンモックの下：神津カンナ，535.

時 論 アクシデント化学：勝村庸介，536.

福島原子力事故の総括および原子力安全改革プラン：姉川尚史，538.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，540.

特 集 原子力安全部会「福島第一事故に関するセミナー」報告書から：

(第3報)福島第一以外の発電所で起きた事象：長澤和幸，櫻庭達幸，加藤浩介，戸村典章，阿部清治，546.

(第4報)事故で明らかになった課題：守屋公三明，阿部清治，557.

(第5報/最終報)原子力防災等に関する課題：本間俊充，関村直人，阿部清治，新田隆司，568.

- 解 説 原子力規制委員会の活断層評価：張り子の虎ではないのか？：渡辺満久，577.  
 求められる「価値選択」の議論：原子力安全，高レベル放射性廃棄物処分，そして原子力学会の役割：寿楽浩太，582.  
 第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計クライテリアの構築：「第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計クライテリア」特別専門委員会，587.  
 食品と放射線のリスクを考える：発がんリスクの評価について：畝山智香子，592.
- 新刊紹介 原発の安全性と核廃棄物の処理：人類のエネルギー源としての原発：齋藤 隆，596.
- 解 説 放射線生物学の最前線；DNA 損傷修復の動的可視化とシミュレーション：上坂 充，藤森 亮，加藤宝光，597.
- INTERVIEW 「被災地の復興をまず第一に」：半谷輝己，602.  
 「春の年会」「秋の大会」発表にかかる専門分野改定のお知らせ，607.  
 日本原子力学会「2014年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，608.
- 会 報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，日本原子力学会発行 一般書籍販売のご案内，英文論文誌 (Vol.50, No.10) 目次，主要会務，609.

### No.11 (11月号)

- 対 談 「国は，原子力に対する決意を示せ」：澤 昭裕，澤田哲生，613.
- 時 論 福島復興本社の取り組み；福島の発展的な復興に向けて：石崎芳行，620.  
 カナダからのエール：長崎晋也，622.  
 これからのリスクコミュニケーション：西澤真理子，624.  
 災害対応ロボットと運用システムのあり方の提言：浅間 一，626.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，628.
- 解 説 今後の原子力規制と国際関係について：大島賢三，634.  
 東京電力(株)福島第一原子力発電所1～4号機の廃止措置に向けた取り組み：高儀省吾，639.  
 福島原子力事故の人間面・組織面の教訓と原子力安全改革の取り組み；事故を防ぐことはできたのか？：川野 晃，644.  
 東通原子力発電所 敷地の地質・地質構造；敷地内断層に関する評価の現況：坂東雄一，三和 公，鳥越祐司，橋本修一，651.
- 特 集 再処理技術開発の今後の展開；福島第一原子力発電所の事故を経て我が国の再処理技術開発はどうすすむべきか？：「次世代再処理技術」研究専門委員会，656.  
 From Editors，666.
- 報 告 大阪府立大学 大学院量子放射線工学分野新設について；放射線利用分野の人材育成への新たな決意：古田雅一，667.
- 解説シリーズ 高レベル放射性廃棄物処分の可逆性と回収可能性；  
 第2回 回収可能性を中心にした各国の検討状況：田辺博三，670.  
 世界の原子力事情；第1回 福島事故後の中国の原子力開発：永崎隆雄，677.
- 会 報 学術的会合の予定，主催行事，共催行事，人事公募，新入会一覧，寄贈本一覧，英文論文誌 (Vol.50, No.11) 目次，JNST 福島第一原子力発電所廃止措置関連の研究論文募集，主要会務，682.

### No.12 (12月号)

- 巻 頭 言 「全体主義」と対峙するために：藤井 聡，685.
- 時 論 原子力発電所安全対策における懸念について：泉田裕彦，686.  
 信頼回復のためにも，技術の未来を語ろう：山本一郎，688.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，690.
- 解 説 敦賀発電所敷地内破碎帯の調査結果について：星野知彦，内田昌人，696.  
 事故後初期の航空機モニタリングから得られたヨウ素 131 沈着量の分布：日米共同で新しい航空機モニタリング解析手法を開発：鳥居建男，702.
- 新刊紹介 専門家が答える暮らしの放射線 Q&A：白木貴子，706.
- 解 説 大気拡散計算の役割と制約；原子力事故時に役立つ計算は可能か？：山澤弘実，707.

被ばく線量評価のための大気拡散シミュレーション；福島第一原子力発電所事故初期段階における大気中放射性物質濃度分布の再構築：永井晴康，712.

被ばく線量評価のための大気拡散シミュレーション；東京電力福島第一原子力発電所事故における周辺住民の初期内部被ばく線量再構築：栗原 治，718.

解説シリーズ 世界の原子力事情；第2回 英国の現状と新規プロジェクト：石井敬之，723.

解 説 大型並列計算機を利用した地震動と地震応答のシミュレーション：堀 宗朗，727.

報 告 福島第一原発事故時のフランスにおけるマスメディアに対する情報伝達に関する広報スタッフへの意識調査；AREVA, EDF, CEA, IRSN へインタビュー：土田辰郎，737.

JAEA 知財の企業製品化への展開；JAEA 成果展開事業の紹介：青嶋 厚，鈴木義晴，滑川卓志，733.

私の主張 「生活を見直し，原発を安全にたたく」川崎 哲氏に聞く：川崎 哲，742.

談 話 室 忠臣蔵におけるデータの取り扱い；確かな情報の伝承の努力：荻原 栄，744.

ジャーナリストの視点 足りなかった想像力：西川 拓，746.

会 報 学術的会合の予定，主催行事，共催行事，人事公募，新入会一覧，寄贈本一覧，英文論文誌 (Vol.50, No.12) 目次，和文論文誌 (Vol.12, No.4) 目次，主要会務，747.

総目次・著者名索引 (Vol.55, Nos.1 ~ 12) (後 付)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.56, Nos. 1 ~ 12 (2014)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No.1 (1月号)

- 巻頭言 内部被ばくゼロと震災関連死急増のジレンマ：中川恵一, 1.
- 時論 世界が求める「原子力環境安全産業」の創出を：田坂広志, 2.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 4.
- 特別寄稿 今後の原子力政策における重要課題：近藤駿介, 10.
- 解説 「低線量放射線を超えて」に込めたる想い：福島は第二のチェルノブイリにはならない：宇野賀津子, 15.
- 解説シリーズ 世界の原子力事情；第3回 米国・カナダの原子力開発の動向：佐藤一憲, 19.  
出力が変動する再生可能エネルギー発電の大量導入と電力システムの進化(1)：新たな課題と柔軟性向上の考え方：萩本和彦, 24.
- 講演 福島の内部被ばくと外部被ばく；福島のロングテール：早野龍五, 30.  
From Editors, 36.
- 解説シリーズ モデリング・シミュレーションの高度化；第1回 我が国における国産コード開発プロジェクトの紹介：松本昌昭, 37.
- 新刊紹介 原子力発電システムのリスク評価と安全解析：平野光将, 42.
- 解説シリーズ 高レベル放射性廃棄物処分の可逆性と回収可能性；第3回 R&R 国際会議内容の紹介(その1)：田辺博三, 43.
- 解説 チェルノブイリ NPP 事故によるコンクリート構造物の状況調査；溶融燃料とコンクリートとの反応の構造物への影響：青柳征夫, 49.
- ジャーナリストの視点 教訓にたどり着くためにも、真摯な研究と発信を：木村俊介, 55.
- 会報 学術的会合の予定, 共催行事, 平成26年度フェロー候補推薦募集, 英文論文誌 (Vol.51, No.1) 目次, 12月主要会務, 56.

## No.2 (2月号)

- 巻頭言 廃止措置へ統合と連携強化を：山名 元, 59.
- 時論 もんじゅ・原子力機構・日本の原子力：齋藤伸三, 60.  
電子制御屋の反省：新 誠一, 62.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 64.
- 解説 原子力発電所の耐震性能を知る；地震発生後の電力安定供給のために：落合兼寛, 70.
- 解説シリーズ 核燃料サイクルフロントエンド；第1回 ウラン資源の特異な市場構造と需給動向：小林孝男, 75.
- 解説 放射線生物学の最前線；DNA 損傷機構と損傷修復の分子シミュレーション：横谷明德, 高須昌子, 石川顕一, 81.
- 解説シリーズ 高レベル放射性廃棄物処分の可逆性と回収可能性；第4回(最終回) R&R 国際会議内容の紹介(その2)と今後への期待：田辺博三, 86.  
世界の原子力事情；第4回 欧州と国際機関：日置一雅, 桜井 聡, 92.
- 解説 出力が変動する再生可能エネルギー発電の大量導入と電力システムの進化(2)：柔軟性向上のための新技術：萩本和彦, 97.
- 解説シリーズ モデリング・シミュレーションの高度化；第2回 V&V のための精度保証付実験データ：岡本孝司, 103.  
モデリング・シミュレーションの高度化；第3回(最終回) V&V の実施の国際動向と適用：笠原文雄, 108.
- 報告 原子力シニアネットワーク連絡会(SNW) 第14回シンポジウム；原子力は信頼を回復できるか？：針山日出夫, 113.
- 会議報告 燃料サイクル国際会議 GLOBAL 2013：太田宏一, 115.
- 新刊紹介 溶融塩の物性；イオン性無機液体の構造, 熱力学, 輸送現象の微視的側面：村上 毅, 116.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 共催行事, 次年度会費請求のお知らせ, 意見受付公告について, 英文論文誌 (Vol.51, No.2) 目次, 1 月主要会務, 117.

No.3 (3月号)

特別企画 福島事故と, その後

原発問題とアカデミアの立場: 北澤宏一, 122.

事故を経て原子力規制はどのように変わったか; 改善された課題と今後に残された課題: 班日春樹, 127.  
原子力安全における知識・情報の総合化の必要性; 安全研究においても, 緊急時対策においても: 阿部清治, 132.

安全文化の劣化の原因と対策と今後; 原発への国民的合意の可否と将来予測と対応: 天野 治, 134.

福島第一原子力発電所事故について; 事故発生後 1,000 日時点での中間総括: 石野 栞, 136.

環境修復の現状と残された課題: 井上 正, 138.

原発事故は社会を変えたか; リスクを前提に国民が当事者の原子力へ: 大崎要一郎 140.

20 年後の日本のために今すべきこと: 岡本孝司, 142.

事故から学ぶことと残された課題: 尾本 彰, 144.

4 年目を迎える福島の環境修復計画の課題: 河田東海夫, 146.

福島の事故が問うていること: 北村俊郎, 148.

個別的教訓から拡張・体系化された「知」へ: 北村正晴, 150.

原子力の信頼回復とは: オンサイトからオフサイトへ: 小出重幸, 152.

原子力への信頼再構築に向けて: 澤 昭裕, 154.

オリゼーの国の原子力—伝えることの大切さ: 澤田哲生, 156.

事故で学んだこと; 放射線被ばくとリスク: 柴田徳思, 158.

原子力教育研究を充実して安全性の向上を! 鍵を握る基礎・基盤の強化と人材育成: 代谷誠治, 160.

フクシマ後の原子力安全の再生に向けて: シビアアクシデント研究者の反省と教訓, 今後の展望: 杉本純, 162.

福島事故が教えてくれた日本の実力: 品田宏夫, 164.

原子力安全の課題と学会の役割; 安全部会報告書と学会事故調から: 関村直人, 166.

福島事故で思ったこと: 原子力損害賠償制度など: 関本 博, 168.

福島事故後の原子力人材育成をどうすべきか: 大学教育を魅力的にするには: 竹田敏一, 170.

クレオパトラの鼻: 東電福島第一原発事故 4 年目を迎えて: 長瀧重信, 172.

ミラノからみた福島原発事故その後: 専門家の関わりと原子力安全規制: 二ノ方 寿, 174.

地震等外的事象に対するリスク評価は十分か?: 平野光将, 176.

ガラパゴスと怪獣と鉄腕アトム: 福島原発事故から 3 年: 松井一秋, 178.

福島事故が次世代に伝えるものは何か; 我々が受け継いだものを顧みて: 松浦祥次郎, 180.

今, 必要とされるのは「コミュニケーション」なのか: 八木絵香, 182.

自主的・継続的安全向上に必要なこと; リスク管理とリスク評価と安全目標: 山口 彰, 184.

福島原発事故とリスクコミュニケーション: 山下俊一, 186.

原子力市民委員会の目指すもの: 吉岡 斉, 188.

福島事故後の規制制度の改革と今後の課題; 原子力規制委員会設置法の趣旨は実現されているか: 西脇由弘, 190.

特 集 福島特別プロジェクトの活動と今後の展開; 福島の環境回復を目指して

I. プロジェクト概要: 田中 知, 193.

II. クリーンアップ分科会の活動: クリーンアップ分科会, 194.

III. 放射線影響分科会の活動: 放射線影響分科会, 197.

IV. コミュニケーション活動: コミュニケーション分科会, 199.

V. 情報提供: 福島特別プロジェクト, 200.

VI. 今後の展開: 田中 知, 205.

報 告 CPD ノススメ; 信頼される“3.11 後の”原子力技術者・研究者を目指して 第 1 回 技術者の CPD を支援する学協会のあり方: 橋谷元由, 206.

- 会 告 平成 26 年度新役員候補者募集のお知らせ, 209.  
日本原子力学会「2014 年秋の大会」研究発表募集・参加事前登録のご案内, 210.
- 会 報 学術的会合の予定, 共催行事, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 「原子力学生国際交流事業」平成 26 年度派遣学生募集要項, 「2014 年春の年会」見学会のご案内, 次年度会費請求のお知らせ, 意見受付公告について, From Editors, 英文論文誌 (Vol.51, No.3) 目次, 和文論文誌 (Vol.13, No.1) 目次, 2 月主要会務, 211.

#### No.4 (4 月号)

- 巻 頭 言 原子力発電所の安全性を時間の次元で考えると: 白石 隆, 217.
- 時 論 民俗知生成のプロセスに向けて, 田口洋英, 218.  
福島 20km 圏内帰還困難区域の設定に誤り; 科学にもとづく福島復興なしに, オリンピック成功なし: 高田純, 220.  
今こそ, エネルギー教育を: 秋津 裕, 222.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 224.
- 解 説 燃料デブリの臨界安全管理をどうするか; 福島第一原子力発電所の廃炉に向けて: 中島 健, 230.  
From Editors, 234.
- 解 説 燃料デブリ取り出しに向けた臨界安全における課題; 燃料デブリの性状に関する知見と検討: 永瀬文久, 235.  
福島沿岸海域におけるセシウム 137 収支と生態系移行: 神田穰太, 240.  
「原子カムラ」の境界を超えるためのコミュニケーション(1); 市民と専門家間に存在する心理的境界: 土田昭司, 245.  
福島事故後の原子力安全確保のためのリスク論の重要性: 高田毅士, 250.  
廃炉に向けてのリスクコミュニケーションとは: 西澤真理子, 256.
- 解説シリーズ レジリエンスエンジニアリングの動向; 第 1 回 レジリエンスエンジニアリングの今日的意義: 北村正晴, 259.  
核燃料サイクルフロンティア: 第 2 回 多様なウラン鉱床の形成と資源の持続性: 小林孝男, 265.  
世界の原子力事情; 第 5 回 インドの原子力開発の動向: 佐藤浩司, 柳澤 務, 271.
- 談 話 室 インド訪問記: 田中 淳, 277.
- 報 告 CPD ノススメ; 信頼される原子力技術者・研究者を目指して 第 2 回 様々な学協会が進める CPD: 尾崎 章, 278.
- 新刊紹介 原子力の本当の話; 利用より調和の原子力文明: 瀧口克己, 282.  
分析値の不確かさ; 求め方と評価: 鹿野文寿, 282.
- 会 告 日本原子力学会 行動指針改定案についての意見募集, 283.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 次年度会費請求のお知らせ, 日本原子力学会 新規フェロー, 平成 25 年度(第 7 回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 平成 26 年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 英文論文誌 (Vol.51, No.4) 目次, 3 月主要会務, 284.
- 第 46 回(平成 25 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

#### No.5 (5 月号)

- 座 談 会 想定外にどう対応するか: 「福島原発事故とその後」を考える: 畑村洋太郎, 田中 知, 北村正晴, 滝 順一, 佐田 務, 289.
- 時 論 「反原発でサルになる」考: 最首公司, 298.  
放射性セシウムのゆくえ: 中西友子, 300.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 302.
- 解 説 活断層と地震の科学; 活断層の長期評価と今後の課題: 重松紀生, 307.  
福島原子力発電所の事故対応および廃炉のための遠隔操作・ロボット技術: 浅間 一, 313.  
「原子カムラ」の境界を超えるためのコミュニケーション(2); 「フォーラム」という取り組み: 木村 浩, 318.
- 解説シリーズ レジリエンスエンジニアリングの動向; 第 2 回 組織安全とレジリエンス: 小松原明哲, 323.
- 解 説 出力が変動する再生可能エネルギー発電の大量導入と電力システムの進化(3) 最終回; 運用ルール, 市場設計と最適な設備形成: 荻本和彦, 328.
- 解説シリーズ 核燃料サイクルフロンティア: 第 3 回 海外ウラン資源開発株式会社によるウラン資源開発と最近の

開発動向：浜井富生, 334.

From Editors, 339.

解説シリーズ 世界の原子力事情；第6回内外に積極的に原子力展開するロシア：小林雅治, 340.

報告 CPD ノススメ；信頼される原子力技術者・研究者を目指して 第3回(最終回)日本原子力学会 CPD 制度のめざす姿—検討状況と課題：伊藤晴夫, 345.

新刊紹介 放射線計測ハンドブック第4版：小野寺 徹, 348.

短 信 熱流動部会が若手研究者で交流フォーラム：江原真司, 348.

会 報 学術的会合の予定, 主催行事, 人事公募, 学会情報メールサービスご案内, 意見受付公告, 英文論文誌 (Vol.51, No.5) 目次, 4月主要会務, 349.

会 告 平成26年度新役員候補者投票のご通知

### No.6 (6月号)

巻 頭 言 エネルギー基本計画と原子力の研究開発：上田隆之, 353.

時 論 国際廃炉研究開発機構(IRID)の活動と今後：鈴木一弘, 354.

バックフィットの国民的議論が必要：諸葛宗男, 356.

「原子力の神話」化と戦後日本のナショナリズム：小菅信子, 358.

N E W S 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 360.

解 説 粘土鉱物へのセシウム吸着機構解明(1)；原子・分子レベル構造解析から新しく何がみえるか？：矢板 毅, 池田 隆司, 松村大樹, 366.

粘土鉱物へのセシウム吸着機構解明(2)；第一原理計算による原子・分子レベルの吸着挙動解析：奥村雅彦, 中村博樹, 町田昌彦, 372.

新刊紹介 エネルギー問題の誤解；いまそれをとく：川久保陽子, 377.

解 説 ABWRにおけるMOX燃料の全炉心利用技術；フルMOXの技術的バックグラウンドは何か？：小林哲朗, 378.

福井県の原子力研究教育の取り組み；福井県の原子力はどうか：竹田敏一, 宇埜正美, 384.

報 告 福島復興への「地域力」づくり；コミュニケーション強化に向けて「相談員」システム化に期待する：崎田裕子, 388.

解 説 わかりやすい放射線の解説；一般の方に誤解を与える放射線量の数値等について：石田健二, 丸末安美, 392.

解説シリーズ 世界の原子力事情；第7回(最終回)福島事故後の世界の原子力発電開発動向：小林雅治, 397.

レジリエンスエンジニアリングの動向；第3回 レジリエンス評価における技術社会的問題：古田一雄, 403.

核燃料サイクル—フロントエンド；第4回(最終回)ウラン濃縮における技術開発と事業の動向：本多直人, 407.

談 話 室 原子力英語よもやま話：工藤文夫, 414.

会 告 一般社団法人日本原子力学会「第4回総会」のご通知, 416.

会 報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 人事公募, フェロー基金への寄付のお願い, 平成25年度フェロー基金寄付者芳名一覧, 編集委員会からのお知らせ「英文論文誌(JNST)電子版個人会員向け無料アクセス方法のご案内」, 訃報, 2014年度会費のご納入について, 平成26年度放射線取扱主任者試験施行要領, 誤記訂正, 日本原子力学会発行 一般書籍販売のご案内, 英文論文誌 (Vol.51, No.6) 目次, 和文論文誌 (Vol.13, No.2) 目次, 5月主要会務, 417.

### No.7 (7月号)

巻 頭 言 3つの仕組み：岡 芳明, 423.

時 論 エネルギー基本計画について；変化の兆し：鈴木達治郎, 424.

六ヶ所村から発信する～ガラス固化体とその言語空間～：荒谷美智, 426.

当事者意識をもって見守る福島原発：細川珠生, 428.

N E W S 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 430.

解 説 制御システムセキュリティの重要性と現状；第1回 情報機器化する制御装置とセキュリティ対策：新 誠一, 435.



制御システムセキュリティの重要性と現状；第2回 原子力分野における制御システムセキュリティ：村瀬一郎，440.

制御システムセキュリティの重要性と現状；第3回 制御システムのセキュリティテストベッド：澤部直太，444.

核セキュリティにおける核物質の非破壊測定技術：早川岳人，藤原 守，448.

原子力発電所における水素爆発安全の課題と対策；システム安全の考えに基づく防爆：門脇 敏，453.

From Editors, 457.

解説シリーズ レジリエンスエンジニアリングの動向；第4回(最終回) ポジティブ面を強調するレジリエンス：高橋 信，458.

報 告 原子力・放射線業界の裾野を広げる具体的な活動：男女共同参画委員会，462.

2013年度世界原子力大学夏季研修(WNU-SI)留学記：アンドリュー篠原きこんぼ，橋口 緑，伴 雄一郎，吉井敏浩，464.

談 話 室 紙芝居での啓発活動～放射性廃棄物の地層処分について学ぶ～：政野澄子，466.

新刊紹介 放射能とナショナリズム：齋藤 隆，468.

ジャーナリストの視点 より大胆で力強い原子力規制行政を：小林 史，469.

会 報 学術的会合の予定，共催行事，人事公募，寄贈本一覧，日本原子力学会事務局長公募，新入会一覧，英文論文誌(Vol.51, No.7-8)暫定目次，6月主要会務，470.

一般社団法人日本原子力学会「第4回総会」議事原案(後付)

## No.8(8月号)

巻 頭 言 『広野』からのメッセージ～“幸せな帰町・復興”に向けて～：遠藤 智，475.

時 論 双葉地域に「希望のまち」を一福島復興と原発，福迫昌之，476.

出でよ「優しい天才」—メガサイエンス・プロジェクト構築の要諦—：村田貴司，478.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，480.

特 集 国際廃炉研究開発機構(IRID)の活動と学会連携：山名 元，486.

廃炉に関する基礎基盤研究の推進と人材育成：笠島宗憲，490.

線量低減・除染に関する研究の現状と課題：行則 茂，木下博文，姉川弘明，491.

燃料デブリ取り出しに関する研究の現状と課題：鈴木俊一，495.

放射性廃棄物処理・処分に関する研究の現状と課題：宮本泰明，石川真澄，500.

解 説 日米原子力協定(1988年)の歴史と今後の課題；第1回 協定交渉の背景：遠藤哲也，506.

カナダにおける放射性廃棄物管理：長崎晋也，512.

発電技検における40年の確性試験を顧みて；実用原子力発電所における補修技術への確性試験の役割：佐藤長光，亀山雅司，515.

新刊紹介 いちえふ：福島第一原子力発電所労働記(1)：三谷信次，520.

サイエンスよみもの 遅発中性子から原子炉ニュートリノへ；ベータ崩壊と弱い力の物語：吉田 正，521.

光周波数コムが拓く長寿命核分裂生成物の精密同位体分離技術；量子ウォークの数理から放射性廃棄物低減技術へ：横山啓一，松岡雷士，525.

報 告 福島第一原子力発電所事故に関する国際専門家会議；IAEAはどのような教訓を学んできたか？：山田勝己，529.

From Editros, 532.

私の主張 福島第一原発従事者を守る仕組みの構築を：吉川彰浩，533.

談 話 室 英国で感じた原子力施設の息づかい：福井由紀子，535.

意見交換の広場 本学会の裁判判決に対する見解表明への私見：木村逸郎，537.

理事会だより 会員の皆様とのよりよいコミュニケーションのために—学会誌「理事会だより」ページの試行—，538.

会 報 学術的会合の予定，人事公募，平成26年度役員紹介，第47回(平成26年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集，新入会一覧，「2014年秋の大会」見学会，英文論文誌(Vol.51, No.7-8)目次，7月主要会務，539.

## No.9(9月号)

新会長あいさつ 学会が本来あるべき姿を取り戻すために：藤田玲子，前付.

- 巻頭言 快適な日々をありがとう：金美齡, 545.
- 時論 IPCCの2度シナリオは実現できるのか?：杉山大志, 546.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 548.
- 座談会 「もんじゅの過去・今・これから」：向和夫, 荒井真伸, 伊藤和寛, 大川内靖, 澤田哲生, 554.
- 解説 日米原子力協定(1988年)の歴史と今後の課題；第2回 交渉の開始と交渉上の主要な論点—協定の実質合意から発効まで—：遠藤哲也, 561.  
原子力黎明期における国産原子炉開発構想と湯川秀樹らの関与：澤田哲生, 568.  
From Editors, 573.
- 解説 地震PRA実施基準の改定—3.11の教訓の反映；第1回 地震PRAの全体概要と改定の要点：平野光将, 高田毅士, 成宮祥介, 574.  
軽水炉のシビアアクシデントに関する核燃料研究の状況と課題：核燃料部会 溶融燃料サブワーキンググループ, 579.  
保障措置のための使用済燃料中の核物質質量評価；燃焼計算コード検証委員会の活動：名内泰志, 笹原昭博, 585.
- 解説シリーズ 地球温暖化防止のための長期エネルギービジョン；第1回 長期ビジョンに基づくエネルギーシステム構成：氏田博士, 段烽軍, 湯原哲夫, 588.
- 連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策；第1回 放射性廃棄物対策の概要：長尾誠也, 山本正史, 593.
- サイエンスよみもの 原子炉ニュートリノの研究から地球内部の観測へ；ニュートリノ科学を推進するカムランド実験：白井淳平, 598.
- 報告 アジアの将来の環を繋ぐ原子力人材；東南アジアの学生と交流して得たこと：林亮太, 東修平, 大橋明生, 岩崎佳介, 米岡修一郎, 松井秀平, 603.  
フランスとわが国の放射性廃棄物の処理処分について；フランス原子力学会との合同セッションより：塚本政樹, 605.
- ジャーナリストの視点 今も自問自答の日々：根元良弘, 608.
- 理事会だより 平成26年度理事会新執行部が活動開始, 609.
- 会報 学術的会合の予定, 人事公募, 意見受付公告について, 英文論文誌(Vol.51, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.13, No.3)目次, 8月主要会務, 610.

#### No.10(10月号)

- 巻頭言 国家の責任・人類の責任と原子力発電：細田博之, 615.
- 時論 福島事故の衝撃を受け, 台湾「核四」の運命は?：謝牧謙, 616.  
上関町の現状, 町民の思い～活力あるまちづくりを上関原電とともに～：古泉直紀, 618.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 620.
- 解説 東電福島第一原発の今；巨大負担を続けられるのか：石井孝明, 626.  
地震PRA実施基準の改定—3.11の教訓の反映；第2回 地震ハザード評価改定の要点：蛭沢勝三, 釜江克宏, 安中正, 631.  
敦賀発電所D-1破砕帯調査の現況；原子力規制委員会有識者会合との論点：星野知彦, 637.  
日米原子力協定(1988年)の歴史と今後の課題；第3回(最終回)協定交渉の評価と今後の課題：遠藤哲也, 642.  
研究開発段階発電用原子炉に対する規制基準に関する論点；もんじゅの安全確保のための考え方の提案：日本原子力学会 新型炉部会 研究開発段階発電用原子炉安全設計方針検討会, 648.
- 解説シリーズ 地球温暖化防止のための長期エネルギービジョン；第2回 途上国の課題と原子力・炭素回収隔離の役割：氏田博士, 段烽軍, 湯原哲夫, 652.
- 連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策；第2回 放射性廃棄物の管理：秋山和樹, 高橋正則, 塚本政樹, 宮内善浩, 和田弘, 656.
- 解説 より実効性の高い原子力防災対策の構築に向けて(1)；緊急事態への備えと対応—国際基準と福島教訓—：本間俊充, 661.  
より実効性の高い原子力防災対策の構築に向けて(2)；国と地方自治体における取組みと今後への提言：新田隆司, 669.

From Editors, 674.

- ジャーナリストの視点 研究者と一般人の意識差を忘れずに：山本佳世子, 675.  
意見交換の広場 大飯原発を差し止めた人々：澤田哲生, 676.  
理事会だより 部会, 連絡会, 専門委員会等で専門的な学術活動を積極的に展開しよう, 677.  
日本原子力学会「2015年春の年会」研究発表募集・参加事前登録のご案内, 678.  
会報 学術的会合の予定, 人事公募, 寄贈本一覧, 編集委員会からのお知らせ, 誤記訂正, 英文論文誌 (Vol.51, No.10) 目次, 9月主要会務, 679.

#### No.11 (11月号)

- 巻頭言 必要なのは危険管理ではなく危機統治：西部 邁, 683.  
時論 東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓；日本学術会議の報告：成合英樹, 684.  
再エネ大量導入を進める欧州の電力システム改革：伊勢公人, 686.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 688.  
座談会 炉心はどのように溶融したのか 事故時の炉心燃料のふるまいを検証する；フィルター式ベントも避難も必要  
ない？：石川迪夫, 秋元正幸, 牧 英夫, 田中治邦, 694.  
解説 LNT再考 放射線の生体影響を考える：真鍋勇一郎, 中村一成, 中島裕夫, 角山雄一, 坂東昌子, 705.  
地震PRA実施基準の改定—3.11の教訓の反映；第3回 フラジリティ評価改訂の要点：山口 彰, 中村 晋,  
美原義徳, 709.  
原子力発電所安全対策の可視化；国民の不安解消に総力を挙げて取り組むべし：諸葛宗男, 715.  
米国科学アカデミーの福島原子力事故報告書；米国原子力プラントの安全性向上のための福島原子力事故から  
の教訓：成合英樹, 721.  
核セキュリティに関する国際動向と日本の貢献；ハーグ核セキュリティ・サミットでの議論と今後の取組みに  
ついて：須田一則, 726.  
解説シリーズ シミュレーションのV&Vの現状と課題；第1回 格納容器内挙動のV&V データベース：笠原文雄, 731.  
報告 内部脅威対策に係るトレーニングコース：松澤礼奈, 737.  
連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策；第3回 原子力施設の廃止  
措置とクリアランス：田中忠夫, 島田太郎, 田中健一, 740.  
ジャーナリストの視点 原発の賛否を超えて：山田理恵, 745.  
理事会だより 「総合工学としての原子力」への取組み：746.  
会報 学術的会合の予定, 人事公募, 意見受付公告について, 英文論文誌 (Vol.51, No.11-12) 暫定目次, 10月主要会務,  
747.

#### No.12 (12月号)

- 巻頭言 「9・11」が問うものは何か：門田隆将, 751.  
時論 拡大している中国原発及び海外進出：郭 四 志, 752.  
初等中等教育における放射線教育の現状と課題：清原洋一, 754.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 756.  
解説シリーズ 地震PRA実施基準の改定—3.11の教訓の反映；第4回 (最終回) 事故シーケンス評価改定の要点：村松  
健, 小倉克規, 岩谷泰広, 762.  
解説 気候を改変する技術と地球温暖化問題；気候工学(ジオエンジニアリング)研究の最新動向：杉山昌広, 767.  
電気の品質を守る電力系統；電力品質低下の影響と対策：下村公彦, 板羽正浩, 772.  
正力大臣車中談(案)と湯川秀樹；原子力ムラと御用学者のルーツ：澤田哲生, 776.  
再生可能エネルギー検証；ドイツの行き詰まりが示唆するもの：小野章昌, 780.  
電力自由化と原子力発電所建設への影響；欧米に学ぶ自由化の教訓：山本隆三, 786.  
解説シリーズ UNSCEAR2013レポートの概要；第1回 福島報告：放射性核種の放出, 拡散, 沈着：永井晴康, 栗原  
治, 791.  
UNSCEAR2013レポートの概要；第2回 福島報告：公衆及び作業員の線量評価：栗原 治, 谷 幸太郎,  
796.  
連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策；第4回 放射性廃棄物の処

理：三倉通孝, 金子昌章, 雪田 篤, 野下健司, 802.

報 告 ハーグ核セキュリティ・サミットに併せて開催された原子力産業サミットの概要：原子力事業者の取組：岩本友則, 808.

会議報告 原子力分野のリーダー育成をめざして：山口美佳, 812.

若手の国際的なプレゼンス強化を！：International Youth Nuclear Congress 2014：佐藤真一郎, 813.

理事会だより 学会活動の透明性の向上と経営改革の進捗, 814.

会 告 平成 27・28 年度代議員候補者推薦のお願い, 815.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 意見受付公告について, 英文論文誌 (Vol.51, No.11-12) 目次, 11 月主要会務, 816.

総目次・著者名索引 (Vol.56, Nos.1 ~ 12) (後付)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.57, Nos. 1~12(2015)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

## No.1 (1月号)

- 巻頭言 エネルギー総合戦略本部の設置を：田原総一郎, 1.
- 時論 今こそリスクガバナンス構築に向けた産業界のイニシアチブを：香山弘文, 2.  
原子力バックエンドを研究のフロンティアに！：大井川宏之, 4.  
立地地域として、いま出来ること— Ene Cafe を通して：武内貴年, 6.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 8.
- 報告 平成23年東北地方太平洋沖地震後の東海再処理施設の健全性に係る点検・評価の結果について：中野貴文, 佐藤史紀, 福田一仁 ほか, 14.
- 解説シリーズ UNSCEAR2013 レポートの概要 第3回 福島報告：ヒト及びヒト以外の生物種への影響：酒井一夫, 栗原治, 21.  
UNSCEAR2013 レポートの概要 第4回(最終回) 子どもへの放射線影響：島田義也, 26.  
From Editors, 31.
- 解説 欧州諸国民の自然界からの年間被ばくの実態：河田東海夫, 32.
- 解説シリーズ シミュレーションのV&Vの現状と課題  
第2回 確率論的リスク評価のV&V：村松健, 36.
- 連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転及び廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策：第5回 放射性廃棄物の処分：見付樹大, 後藤考裕, 42.
- 会議報告 何が合理的な伝え方か—福島第一発電所事故の教訓から「第47回原産年次大会」：木下雅仁, 47.
- From Abroad Fukushima - The Response was Worse than the Event : Malcolm Grimston, 48.
- サイエンスよみもの 軽水炉被覆管の化学；もっと知りたいジルカロイ—水反応：木戸俊哉, 51.
- 報告 今後の我が国における核燃料サイクル・プルトニウム利用をどのように考えればよいか 主にプルトニウムに係る核不拡散の観点から：久野祐輔, 56.  
AESJ-Collaboration Task Force(CTF)の設立と活動  
フォーラム 21「イオンビームの物理と応用」と共催：上坂 充, 61.
- 理事会だより 学会の福島復興へ貢献する活動について, 63.
- 会報 学術的会合の予定, 人事公募, 寄贈本一覧, 日本原子力学会 基金寄付者芳名一覧, 学会事務局長就任のお知らせ, 英文論文誌(Vol.52, No.1)目次, 12月主要会務, 64.

## No.2 (2月号)

- 巻頭言 福島第一の廃炉に向けて：増田尚宏, 67.
- 時論 日本学術会議におけるHLW処分問題の検討：山地憲治, 68.  
「国民との科学・技術対話」とは？：白井哲哉, 70.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 72.
- 特集 原子力・航空機・鉄道の保守におけるヒューマンファクター  
浜岡原子力発電所における安全文化醸成活動とヒューマンエラー防止への取り組み：釘本三男, 79.  
ANAグループ整備部門(e.TEAM ANA)におけるヒューマンエラー防止とコミュニケーション  
活性化への取り組み：尾曲靖之, 82.  
「2015年春の年会」見学会のご案内, 86  
鉄道車両の保守とヒューマンファクター：田伸文郎, 87.
- 解説 福島第一原子力発電所の燃料デブリの計量管理手法の検討状況：堀啓一郎, 91.  
水底の放射性物質濃度分布測定技術：福島県内の農業用ため池への適用：眞田幸尚, 鳥居建男, 94.
- 解説シリーズ シミュレーションのV&Vの現状と課題 第3回(最終回)V&Vに関わる技術標準の動向  
—「モデルV&Vと品質V&V」：中村均, 99.

- 解説 火山現象に対する原子力発電所の安全確保 JEAG4625-2014 の背景とその技術的根拠：中村隆夫, 岩田吉左, 104.  
 リスクコミュニケーション再考 原子力リスクの再構築：山野直樹, 109.
- 連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策：第6回 わが国の地質環境：新孝一 ほか, 114.
- 報告 大飯判決が問いかけるもの：佐田務, 119.  
 Japan-IAEA Joint 原子力エネルギーマネジメントスクール Human Network セッション開催  
 世界の原子力の若手をつなぐ人的ネットワーク構築をめざして：西山潤ほか, 123.
- 会議報告 第22回原子力工学国際会議：高瀬和之, 126.
- 理事会だより 会員サービス向上への取り組み, 127.
- 会告 代議員選挙投票のお願い, 128.
- 会報 学術的会合の予定, 共催行事, 寄贈本一覧, 新入会一覧(第26-4理事会承認分), 次年度会費請求のお知らせ, 英文論文誌(Vol.52, No.2)目次, 1月主要会務, 130.

### No.3 (3月号)

- 特別寄稿 知の統合：吉川弘之, 133.  
 国会事故調は何を提示したのか？：黒川清, 135.  
 知の統合～事故後4年が経過して考えること～：畑村洋太郎, 138.
- 特集 原発事故から4年-いま問われる「知の統合」：福島原発事故に対する各学会の取り組み  
 日本学術会議における原子力問題への取り組み：日本学術会議 大西隆, 141.  
 福島原発事故に対する日本海洋学会の取組：日本海洋学会 花輪公雄, 津田敦, 149.  
 日本のエネルギーの現状と今後の電気学会の果たすべき役割：電気学会 生駒昌夫, 153.  
 東日本大震災・原子炉事故への日本物理学会の取り組み：日本物理学会 兵頭俊夫, 158.  
 建築の原点に立ち返る-暮らしの場の再生と革新-：日本建築学会 土方吉雄, 162.  
 東北地方太平洋沖地震と日本地震学会の取り組み：日本地震学会 加藤照之, 166.  
 日本保健物理学会の福島事故対応活動の概要：日本保健物理学会, 170.  
 東日本大震災における土木学会の取組：土木学会 丸山久一, 173.  
 東日本大震災に対する日本地質学会の取り組み：日本地質学会 井龍康文, 176.  
 計測自動制御学会の取組：計測自動制御学会 仲田隆一, 179.  
 福島第一原子力発電所事故関連の学会活動：日本気象学会 岩崎俊樹, 鶴田治雄, 中島映至, 近藤裕昭, 三上正男, 藤部文昭, 182.  
 福島原発事故に対する大気環境学会の取組：大気環境学会 大原利貞, 185.  
 福島原発事故をめぐる科学社会学会の取り組み：科学社会学会 松本三和夫, 188.  
 日本原子力学会の皆様へ：地盤工学会 東畑郁生, 191.  
 保全活動を通じて地球環境保全に貢献する日本保全学会：日本保全学会 奈良林直, 193.  
 火山噴火予知と原子力施設への火山活動影響評価：日本火山学会 石原和弘, 195.  
 3.11を振り返ってエネルギーの基本知識の再認識：日本エネルギー学会 寶田恭之, 197.  
 東日本大震災への化学工学会の活動概要：化学工学会 前一廣, 199.  
 東日本大震災等に係る日本応用地質学会の取組：日本応用地質学会 長谷川修一, 201.  
 福島原発事故に対する日本コンクリート工学会の取り組み：日本コンクリート工学会 橋高義典, 203.  
 日本分析化学会の東日本大震災に対する取り組み：日本分析化学会, 205.  
 水産業の東日本大震災災害の復興を支援する：日本水産学会 渡部終五, 207.  
 日本技術士会 原子力・放射線部会の活動：日本技術士会 桑江良明, 209.  
 日本物理教育学会の取組：日本物理教育学会 高橋憲明, 211.  
 安全・環境保全のエネルギー体系に向けて：日本環境学会 西川榮一, 213.  
 日本リスク研究学会の活動紹介：日本リスク研究学会 新山陽子, 215.  
 東日本大震災と原発事故への社会学の取り組み：日本社会学会 岩井紀子, 217.  
 東日本大震災被災地3県の中学校・高校で理科教育を支援：日本農芸化学会 東原和成, 219.  
 安全・安心のための社会技術を目指して：日本品質管理学会 中條武志, 伊藤誠, 220.

大震災に対する航空宇宙技術の役割と課題：日本航空宇宙学会 上野誠也, 221.  
日本海水学会の取り組み：日本海水学会 井川学, 222.  
レーザー学会と原子力：レーザー学会 井澤靖和, 223.  
イオン交換学会の取り組み：日本イオン交換学会 井川学, 224.  
一般社団法人 日本ロボット学会の取り組み：日本ロボット学会 大道武生, 大須賀公一, 225.  
東日本大震災に対する電子情報通信学会の取り組み：電子情報通信学会 酒井善則, 226.  
社会政策学会の取り組み：社会政策学会 布川日佐史, 227.  
公益社団法人日本心理学会の取り組み：日本心理学会 安藤清志, 228.  
福島原発事故後の失敗学会活動：失敗学会 飯野謙次, 229.  
東日本大震災と日本保険学会のとりくみ：日本保険学会 福田弥夫, 230.  
福島原発事故放射線測定データのアーカイビング：日本アーカイブズ学会 石原一則, 231.

From Editors, 232.

- 会 告 平成 27 年度新役員候補者募集のお知らせ, 233.  
「2015 年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 234.  
会 報 学術的会合の予定, 共催行事, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 英文誌 (Vol.52, No.3) 目次, 和文誌 (Vol.14, No.1) 目次,  
2 月主要会務, 235.

#### No.4 (4 月号)

- 巻 頭 言 原子力は重力エネルギーの缶詰：佐藤文隆, 239.  
時 論 文部科学省における原子力政策：田中正朗, 240.  
学会の「知」を社会で活かすために：八木絵香, 242.  
エネルギー教育の「レディネス」を考える：星野敦子, 244.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 246.  
座 談 会 LNT は成立しない!?: 低線量では細胞レベルで修復メカニズムが働く：坂東昌子, 真鍋勇一郎, 澤田哲生, 252.  
解 説 使用済燃料貯蔵技術の現状：長期貯蔵に対処する国際的動向：三枝利有, 亘真澄, 259.  
日本学術会議 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ委員会暫定保管に関する技術的検討分科  
会の報告について：暫定保管の技術的検討内容とシナリオ想定：田辺博三, 三枝利有, 265.  
連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策：第 7 回 地層処分システ  
ムの安全評価：柴田雅博, 亀井玄人, 271.  
From Editors, 275.  
報 告 初等・中等教育における放射線・原子力教育の状況(その 1)：中高生のための原子力・科学技術教育プログラムの  
開発 IAEA 専門家会議の動向：飯本武志, 276.  
初等・中等教育における放射線・原子力教育の状況(その 2)：科学的に探究する放射線教育及び研究機関等との  
連携：佐々木清, 278.  
初等・中等教育における放射線・原子力教育の状況(その 3)：近畿大学原子炉を用いた教員向け原子炉実験研修  
会：若林源一郎, 280.  
放射線防護における安全とは：神田玲子, 281.  
新刊紹介 原発とどう向き合うのか：科学者たちの対話 2011~'14：佐田務, 283.  
報 告 低線量放射線の生体への影響と食の重要性：宇野賀津子, 284.  
放射線と子どもの健康：市川陽子, 288.  
福島原子力発電事故への各学会の取組 日本地球惑星科学連合(JpGU)の取組：津田敏隆, 田中賢治, 松本淳, 294.  
会議報告 世界最高水準の安全性に向けて：安部田貞昭, 296.  
原子力発電プラントの水化学に関する国際会議 2014 札幌：石原伸夫, 297.  
連載・福島からの風 第 1 回 生と死の狭間で：20km 圏への帰還に向けて：半谷輝己, 298.  
理事会だより 平成 27 年度のスタートにあたり, 299.  
第 47 回(平成 26 年度)日本原子力学会賞受賞一覧, 300.  
会 報 学術的会合の予定, 共催行事, 人事公募, 寄贈本一覧, 日本原子力学会新規フェロー, 平成 26 年度(第 8 回)「日  
本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 平成 27 年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 2014 年度 Journal of  
Nuclear Science and Technology Article Awards 受賞一覧, 英文論文誌 (Vol.52, No.4) 目次, 3 月主要会務, 301.

## No.5 (5月号)

巻頭言 「審査と稼働の同時並行化」を原子力規制改革の柱に！：石川和男, 307.

時論 原子力の課題への挑戦：田口康, 308.

福島を理解自体の困難を乗り越えて：開沼博, 310.

IRED2014からのメッセージ：萩本和彦, 312.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 314.

解説シリーズ 宇宙線ミュオンを利用した地盤や大型建造物の内部可視化技術：鈴木敬一, 320.

地層処分概念の変遷；第1回 地層処分黎明期(1950年代～1980年代中頃)：増田純男, 佐久間秀樹, 梅木博之, 325.

解説 核燃料サイクル施設における対応を検討すべきシビアアクシデントの選定方法と課題：再処理・リサイクル部会, 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ, 331.

From Editors, 339.

原子力における水素安全の課題と対策；原子力における水素安全対策高度化ハンドブックの作成：小川徹, 中島清, 日野竜太郎, 340.

川内村における放射線健康リスクコミュニケーション；長崎大学・川内村復興推進拠点における活動を通して：折田真紀子, 346.

匠たちの足跡 一研究者の回想録；内部被ばく実験棟とプルトニウム内部被ばく研究：小木曾洋一, 350.

連載講座 放射性廃棄物概論 施設の運転および廃止措置により発生する放射性廃棄物の対策；第8回(最終回) 将来展望：大江俊昭, 新堀雄一, 356.

新刊紹介 生命科学の欲望と倫理；科学と社会の関係を問いなおす：木村逸郎, 361.

報告 ISCN-WINS 共催ワークショップ開催報告；核セキュリティと原子力安全のインターフェース：中村陽, 362.

会議報告 各国原子力分野の若手との議論で得た経験；2014年度世界原子力大学夏季研修に参加して：西内嗣浩, 365.

連載・福島からの風 第2回 民間ボランティアの使命：吉田憲一, 366.

新刊紹介 プラズマ物理の基礎：新谷吉郎, 367.

意見交換の広場 日本学術会議の「HLW 処分」について：豊田正敏, 367.

理事会だより 学会の経営健全化に向けた取り組み, 368.

会告 平成27年度新役員候補者投票のお願い, 369.

一般社団法人日本原子力学会平成27・28年度代議員の決定, 370.

会報 学術的会合の予定, 共催行事, 人事公募, 新入会一覧, 意見受付公告について, 英文論文誌(Vol.52, No.5)目次, 4月主要会務, 371.

第47回(平成26年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

## No.6 (6月号)

巻頭言 エネルギー産業と地域振興：戸田衛, 375.

時論 地獄への道は善意で舗装されている：長辻象平, 376.

リスクコミュニケーションの入口——“敷居を下げる”訓練を積もう：下村健一, 378.

我が国の原子力規制体制の在り方：諸葛宗男, 380.

連載・福島からの風 第3回 人と人をつなぎたいー里山で開花した私の夢：高野すみ子, 382.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 383.

解説シリーズ ミュオンを利用して高温工学試験研究炉(HTTR)の内部構造を可視化する；非接触・非破壊で原子炉の内部構造を検査する：高松邦吉, 389.

解説 もんじゅを利用した研究の構想；日本の高速炉開発の前進に向けて：稲田文夫, 他, 394.

除染の進捗状況について；ふるさと福島の再生に向けて：小沢晴司, 399.

教育－信頼回復へのコミュニケーション；高レベル廃棄物処理をめぐる中学生討論会：小出重幸, 403.

解説シリーズ 地層処分概念の変遷；第2回 地層処分概念の形成と分化(1980年代中頃～2000年頃)：増田純男, 佐久間秀樹, 梅木博之, 408.

福島原子力発電事故への各学会の取組 原子力安全に関する日本地震工学会の取り組み：亀田弘行, 414.

報告 奨励賞に輝く若手研究者7名の研究に寄せる思い：木藤啓子, 416.



- 国際原子力青年会議(IYNC2014)における特別セッション「福島」の開催：原子力青年ネットワーク連絡会, 418.
- 談話室 あぶくま三景-霊山・飯館・川俣；あれから4年、今なにが起こっているのか：澤田哲生, 420.
- 会議報告 放射線防護体系の進展に関する第7回アジア会議：嶋田和真, 422.  
18年ぶりの炉物理国際会議：岡嶋成晃, 中島健, 423.
- 新刊紹介 Nuclear Radiation Interactions；MIT 原子核理工学科の原子核物理の教科書：菅原彬, 424.  
理系のための就活ガイド：木藤啓子, 424.
- 意見交換の広場 本誌3月号の「知の統合」特集を感動して読み、今後に期待する：木村逸郎, 425.  
From Editors, 425.
- 理事会だより 専門家集団としての大会、部会活動の活性化, 426.
- 会告 一般社団法人日本原子力学会「第5回総会」のご通知, 427.
- 会報 学術的会合の予定、主催行事、共催行事、人事公募、平成27年度放射線取扱主任者試験実施要領、「2015春の年会」学生ポスターセッション受賞者一覧、「2015年秋の大会」展示会出展のお願い、英文誌(Vol.52, No.6)目次、和文誌(Vol.14, No.2)目次、5月主要会務, 428.

### No.7 (7月号)

- 巻頭言 悩めるドイツ-脱原発を「道徳的に」考える：竹内純子, 433.
- 時論 工学システムに対する社会の安全目標と原子力発電：松岡猛, 434.  
JESCOの中間貯蔵事業について：谷津龍太郎, 436.  
原子力バックエンド問題をめぐる科学コミュニケーションを考える：松本真由美, 438.
- 連載・福島からの風 第4回 帰りたいという心：藤川達之助, 440.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内、海外情報, 441.
- 座談会 「安全規制は不断の見直しを」：規制の哲学を説明しなければ、信頼を得られない：澤昭裕、諸葛宗男、澤田哲生, 447.
- 解説 東日本大震災合同調査報告原子力編と関連編；概要および原子力編にまとめられた外的事象対策に関する今後の課題：糸井達哉、宮野廣, 453.
- 報告 日本都市計画学会福島復興部会の報告と計画学の役割：相羽康郎, 457.
- 解説 見えてきた土木技術の役割；東日本大震災合同調査報告 土木編5 「原子力施設の被害とその影響」を踏まえて：大友敬三, 461.  
水稲栽培における放射性セシウムの挙動；南相馬市における現地試験の報告：クリーンアップ分科会、佐藤修彰, 466.  
原発事故の避難がもたらした健康被害；防ぎ得る2次災害を繰り返さぬために：越智小枝, 470.
- 解説シリーズ ミュオン科学への招待；日本に誕生した大強度ミュオン源：河村成肇, 475.  
地層処分概念の変遷；第3回(最終回) 地層処分計画の実施段階(2000年頃以降)：増田純男、佐久間秀樹、梅木博之, 480.
- 私の主張 安全規制が原発事故を長期化させていないか？；復興加速のため避難・食品安全・除染目標の見直しを求める：若杉和彦, 486.
- 談話室 RIC2015 米国原子力規制委員会「規制情報会議」にて思ったこと：松井一秋、竹次秀一, 488.
- ジャーナリストの視点 『安心』につながる対話を：齋藤有香, 490.
- 新刊紹介 Q & A 放射線物理：神野郁夫, 491.  
From Editors, 491.
- 理事会だより 平成27年度理事会新執行部が活動開始, 492.
- 会報 学術的会合の予定、共催行事、寄贈本一覧、新入会一覧、「原子力総合シンポジウム2015」開催のご案内、英文論文誌(Vol.52, No.7-8)目次、6月主要会務, 493.
- 一般社団法人 日本原子力学会「第5回総会」第1号議案(後付)

### No.8 (8月号)

- 巻頭言 原子力発電の社会的受容：藤沢久美, 497.
- 時論 自律化する科学技術；-統合知を凌駕する部分的な知：佐田務, 498.  
国際原子力学会協議会(INSC)と学会の関わり：二ノ方壽, 500.

大飯判決と高浜仮処分決定に異議を申し立てる：三橋貴明, 502.

連載・福島からの風 第5回 “ならぬものはならぬ”；～おれない生き方を胆に銘じて～：博多美保子, 504.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 505.

解説 六ヶ所再処理工場のガラス固化試験と新型炉開発；核燃料サイクル施設におけるガラス固化技術の確立への取組み：大久保哲朗, 兼平憲男, 511.

解説シリーズ 環境回復の取組の概要と遠隔放射線モニタリング；原子力機構による環境回復の取組(1)：米谷雅之, 眞田幸尚, 517.

解説 除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度の概要と被ばく線量状況：宮部賢次郎, 他, 523.

世界的な賠償責任制度の構築を目指して；「原子力損害の補完的な補償に関する条約(CSC)」の概要と締結の意義：富野克彦, 527.

石炭ガス化複合発電(IGCC)の最新事情と課題；エネルギーセキュリティー確保と地球温暖化対策の両立：石橋喜孝, 530.

解説シリーズ 地層処分のサイト選定の取組状況(その1)；地質学的基準によるサイト選定－ドイツ, スイス－：徳島秀幸, 山本啓太, 535.

報告 福島の市町村は除染についてどう考えているのか？：川崎興太, 540.

高レベル放射性廃棄物管理に関する最近の動向；2015IHLRWM 会議の概要と NUMO セーフティケースの構築：太田久仁雄, 藤山哲雄, 545.

本能的に怖いと感じるものに対して；－あなたはどのように説明しますか？－：久保稔, 548.

国際舞台で研鑽を積んだ, 若手原子力人材；IAEA インターンシップ体験記：坂井悠介, 弘津嵩大, 本間雅之, 553.

新刊紹介 ドイツの脱原発がよくわかる本；日本が見習ってはいけない理由：金子祥三, 555.

From Editors, 556.

理事会だより 学会 Web サイトの全面的リニューアル, 557.

会報 学術的会合の予定, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 平成 27 年度役員紹介, 第 48 回(平成 27 年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集, 「2015 年秋の大会」見学会, 英文論文誌(Vol.52, No.7-8)目次, 7 月主要会務, 558.

## No.9 (9月号)

新会長あいさつ 学会に期待される役割を果たすために：上塚寛, 563.

時論 放射性廃棄物の地層処分を考える：朽山修, 564.

地方自治と原子力防災計画；「今だけ」「金だけ」「自分だけ」の原発政策に引き裂かれた“被害地元”の知事として：嘉田由紀子, 566.

連載・福島からの風 第6回 福島を正の遺産へ：災後の歴史を編むために：越智小枝, 568.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 569.

座談会 「プルトニウム利用計画の明示を」；3年後に満期を迎える日米原子力協定：遠藤哲也, 田中伸男, 坂田東一, 澤田哲生, 575.

解説シリーズ 意思決定プロセスとしてのリスクコミュニケーション；－原子力の未来に向けて はじめに：古川宏, 582.  
意思決定プロセスとしてのリスクコミュニケーション；－原子力の未来に向けて 科学者自らが語ることの意義：西澤真理子, 583.

放射性物質の動きを調べる；原子力機構による環境回復の取組(2)：飯島和毅, 588.

地層処分のサイト選定の取組状況(その2)；公募方式によるサイト選定－カナダ, 英国－：佐原聡, 稲垣裕亮, 594.

解説 知の連携や協働へ向けて；学会誌3月特集号の論点整理：佐田務, 599.

可搬型高エネルギーライナック X 線源による産業・社会インフラ診断；原子力技術の新しい社会貢献：土橋克広, 上坂充, 藤原健, 604.

報告 福島県における中間貯蔵施設輸送計画の論点；～交通計画を専門とする立場から～：吉田樹, 608.

国立高専における原子力人材育成について：紀聖治, 612.

会議報告 数値計算学・原子核応用におけるスーパーコンピューティング及びモンテカルロ計算国際会議(M&C + SNA + MC 2015)：小川達彦, 616.

第2回トリウム燃料に関する国際セミナーの報告：伊藤邦博, 617.

Letters 「LNT 再考放射線の生体影響を考える」についてのコメント：馬場宏，618.

新刊紹介 データ検証序説：法令遵守数量化：宇根崎博信，619.

理事会だより 研究炉と人材育成，620.

From Editors，620.

会 報 学術的会合の予定，共催行事，共催行事，英文論文誌(Vol.52, No.9)目次，和文論文誌(Vol.14, No.3)目次，8月  
主要会務，621.

### No.10 (10月号)

巻 頭 言 情報量ゼロの発信にみるゼロリスク信仰：飯田泰之，625.

時 論 混迷の時代を湯川精神で突破せよ：真鍋勇一郎，626.

ドイツの2050年再エネ80~90%は可能か？：小野章昌，628.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，630.

解説シリーズ 原子力安全のための耐津波工学(その1)：地震・津波防御の総合技術体系を目指して：亀田弘行，636.

原子力安全のための耐津波工学(その2)：地震・津波工学に求められる原子力安全のリスク論に基づく体系化：宮野廣，高田毅士，糸井達哉，639.

原子力安全のための耐津波工学(その3)：原子力発電所の津波事故シナリオと津波安全への性能要求：成宮祥介，蛭澤勝三，中村隆夫，646.

意思決定プロセスとしてのリスクコミュニケーション－原子力の未来に向けて；第2回 福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた東京電力におけるリスクコミュニケーション活動：白井智規，山本高士，651.

From Editors，655.

解説シリーズ 除染活動支援と放射線に対する理解支援活動；原子力機構による環境回復の取組(3)：山下卓哉，板橋靖，656.

解 説 東日本大震災から学ばされたこと；東日本大震災合同調査報告『機械編』から：小泉安郎，662.

第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドラインの構築；安全アプローチ及び設計条件に関するガイドライン：第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン研究専門委員会 久保重信，667.

医療放射線防護と診断参考レベル：神田玲子，672.

サイエンスよみもの 光で鉄の原子核を一気に加速；光は天体現象や元素合成過程の解明に迫る新しい手段となるか？：

西内満美子，榊泰直，677.

報 告 地球温暖化への原子力専門家からの提言：藤田玲子，682.

会議報告 低炭素未来をめざす原子力の革新技術：日野哲士，683.

ジャーナリストの視点 「福島第一原発事故～あのとき，何が～」：岡本賢一郎，684.

理事会だより 原子力総合シンポジウムと福島関連活動，685.

会 報 学術的会合の予定，人事公募，寄贈本一覧，新入会一覧，英文論文誌(Vol.52, No.10)目次，9月主要会務，688.

### No.11 (11月号)

巻 頭 言 知る権利と説明責任，そして納得感：櫻井敬子，691.

時 論 原子力災害の被害を最小にとどめる対策；日本の科学者コミュニティの合意形成と社会への助言：長瀧重信，692.

新しい米韓原子力協定：遠藤哲也，694.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，696.

解 説 「研究用原子炉の歴史を顧みて(上)」；～第一歩を踏み出したJRR-1と本格的な多目的利用のJRR-2～：飯島勉，宮坂靖彦，白井英次，702.

新刊紹介 科学論文のミスコンダクト：秋江拓志，708.

解 説 原子力を取り巻く世論の状況と情報提供のあり方についての考察：木村浩，709.

解説シリーズ 転機を迎えるエネルギー市場；(その1)再生可能エネルギー普及に向けた課題：小宮山涼一，714.

原子力安全のための耐津波工学(その4)：津波の作用と津波防御に関する工学的的手法：今村文彦，越村俊一，720.

原子力安全のための耐津波工学(その5)：津波フラジリティ解析と耐津波工学関連の解析コード：香月智，松山昌史，725.

原子力安全のための耐津波工学(その6)；施設周辺地域における防災・減災対策の推進とリスクコミュニケーション：佐藤慎司，山田博幸，731.

From Editors, 735.

解説シリーズ 意思決定プロセスとしてのリスクコミュニケーション－原子力の未来に向けて；第3回 リスク・コミュニケーションの現場から：土屋智子，服部成雄，736.

サイエンスよみもの 103番元素が解く，周期表のパズル；－ローレンシウムのイオン化エネルギー測定に成功－：佐藤哲也，741.

談話室 地球温暖化解決に向けた日本の原子力専門家の役割；化学工学会のエネルギーロードマップ作成に参加して：関本博，745.

会議報告 第23回原子力工学国際会議(ICONE-23)報告：高瀬和之，747.

理事会だより 福島復興，748.

会報 学術的会合の予定，共催行事，寄贈本一覧，新入会一覧，「2015年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，英文論文誌(Vol.52, No.11)目次，10月主要会務，749.

## No.12 (12月号)

巻頭言 なぜ確率論的リスク評価(PRA)は有益なのか：ジョージ・アポストラキス，752.

時論 被爆70年の年に思う原子力平和利用：坂田東一，754.

いつか来た道!?：根井寿規，756.

福島の原子力事故の経験から：『牛ふんの汚染を例に基準値の課題を考える』：白井真，758.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，760.

解説 研究用原子炉の歴史を顧みて(下)；～国産技術育成に貢献したJRR-3と遮蔽研究等を目指したJRR-4～：飯島勉，宮坂靖彦，白井英次，766.

ドイツの電力事情は他山の石か？；－先人に学んで日本の将来を間違いないものに－：金子祥三，772.

いまこそ日本はインドとの原子力協力を推進せよ；～日本原子力学会会員のための原子力外交の基礎知識：金子熊夫，777.

核セキュリティのための核鑑識技術の動向と最近の成果：木村祥紀，篠原伸夫，大久保綾子，782.

国産安全解析コードの現状と課題；我が国の安全規制への貢献を目指して：須山賢也，平尾好弘，坂本浩紀，787.

原子力損害賠償制度再構築への視点；第1回 東京電力福島原発事故における緊急レジームの検討：遠藤典子，792.

解説シリーズ 意思決定プロセスとしてのリスクコミュニケーション－原子力の未来に向けて；第4回 エネルギー・原子力のリスク問題：内山洋司，797.

原子力安全のための耐津波工学(その7)最終回；耐津波工学の課題と展望：亀田弘行，他，802.

会議報告 第12回日韓PSAワークショップに参加して：成宮祥介，807.

Letters 「LNT再考 放射線の生体影響を考える」に大きな期待を寄せる：牧英夫，川上博人，808.

日米原子力協定に関する私見：豊田正敏，809.

From Editors, 809.

新刊紹介 災害対策全書 別冊「国難」となる巨大災害に備える－東日本大震災から得た教訓と知見：佐田務，810.

理事会だより 秋の大会 理事会セッションの報告811.

会報 学術的会合の予定，人事公募，寄贈本一覧，英文論文誌(Vol.52, No.12)目次，和文論文誌(Vol.14, No.4)目次，11月主要会務，812.

総目次・著者名索引(Vol.57, Nos.1～12)(後付)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.58, Nos. 1~12(2016)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

## No.1 (1月号)

- 巻頭言 長期的な視点に立ち、真正面から是々非々の議論を：津田大介, 1.
- 時論 福島第一原発事故の作業員が白血病で労災認定—海外専門家への説明：長瀧重信, 2.  
正しい情報による風評被害の払拭と福島浜通りの創生：西本由美子, 4.
- 特集 秋の学会 廃炉検討委セッションから  
福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策の状況について：平井裕秀, 7.  
From Editors, 9.  
福島第一原子力発電所の現状と課題：増田尚宏, 10.  
福島第一原子力発電所廃炉の技術戦略とリスク低減：福田俊彦, 13.  
IRIDの研究開発の概要：菅沼希一, 16.  
放射性廃棄物の処理処分：宮本泰明, 19.  
燃料デブリの性状把握：鷺谷忠博, 22.
- 特集 今後のエネルギー利用の長期視点(1)  
資源確保及び自然環境・社会環境との調和：藤家洋一, 24.  
軽水炉プルトニウムリサイクルの見通し：田中治邦, 27.  
プルトニウム利用の進展—高速炉における利用と国際協力：上出英樹, 30.  
持続可能な原子力を求めて—福島に統合型高速炉を：田中伸男, 33.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 36.
- 解説 世界の原子力発電利用・開発動向—エネルギー安全保障と原子力：村上朋子, 42.
- 解説シリーズ 転機を迎えるエネルギー市場(2)：日本のエネルギー需給の現状と展望：小宮山涼一, 47.
- 報告 原子力・放射線利用に関する安全強化—人間・組織・制度的視点から：下村和生, 53.  
AESJ-CTFの学生・若手活性化活動フォーラム 21「イオンビームの物理と応用」と共催：上坂充, 他, 56.
- ジャーナリストの視点 がれき受け入れ自治体のいま：鈴木誠之, 58.
- 会議報告 ウィリアム・マグウッド OECD/NEA 事務局長講演会の報告：楠見絃司, 古川冬馬, 59.  
核燃料国際会議 Top Fuel 2015：太田宏一, 60.
- 理事会だより 編集委員会担当から：岡嶋成晃, 61.
- 会報 学術的会合の予定, 新入会一覧(第27-5回理事会承認分), 平成28年度フェロー候補推薦募集, 日本原子力学会 基金寄付者芳名一覧, 英文論文誌(Vol.53, No.1)目次, 12月主要会務, 62.

## No.2 (2月号)

- 巻頭言 冷戦後の秩序構造は2014年初頭から急速に変化：森本敏, 66.
- 時論 気候変動問題を解決するのは原子力発電：山本隆三, 67.  
「高レベル放射性廃棄物処分政策法」制定16年に想う—地層処分技術の社会への定着に向けて—：坪谷隆夫, 69.  
日本の安全規制はどこまで安全になったか：諸葛宗男, 71.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 73.
- 座談会 「どうする? もんじゅ」—エネルギー面での自立は、国の存続の根幹に関わる：金子熊夫, 坂田東一, 田中伸男, 藤家洋一, 澤田哲生, 78.
- 特集 今後のエネルギー利用の長期視点(2)  
高い核拡散抵抗性を有するプルトニウム：齊藤正樹, 87.  
加速器駆動システム(ADS)導入による核燃料サイクルの展開—ADS階層型核変換システムについて：岡嶋成晃, 辻本和文, 90.  
ImPACTプログラム「核変換による高レベル放射性廃棄物の大幅な低減・資源化」を起点として：藤田玲子, 93.

- 解 説 2015 年 NPT 運用検討会議における核不拡散と原子力平和利用をめぐる議論：秋山信将, 96.  
 変動電源のシステムコスト—もうただ乗りは許されない：小野章昌, 102.  
 地層処分に適した安定な地質環境について—地層処分の安全性を担保する地質環境の安定性とは—：増田純男, 106.  
 地球科学の原子力安全への貢献 第 1 回 地球科学からみた地殻流体と地層処分技術への応用：梅田浩司, 浅森浩一, 110.
- 報 告 屋内退避か？避難か？災害対策における緊急時モニタリングの役割：山澤弘実, 木村秀樹, 小山吉弘, 岩崎俊樹, 115.  
 From Editors, 120.  
 原子力リスク研究センターシンポジウム 2015 開催報告：佐藤清, 121.
- 新刊紹介 アト秒科学：—1 京分の 1 秒スケールの超高速現象を光で観測・制御する：板倉隆二, 126.
- 会議報告 第 16 回原子炉熱流動国際会議 (NURETH-16) 報告：古谷正裕, 127.
- 理事会だより 学会組織運営と会員サービス, 128.
- 会 報 学術的会合の予定, 「2016 春の年会」見学会, 意見受付公告について, 次年度会費請求のお知らせ, 英文論文誌 (Vol.53, No.2) 目次, 1 月主要会務, 129.

### No.3 (3月号)

- 座 談 会 「どうする？もんじゅ」2—適切な規制とは何か, 日本の行く末をどう考えるか—：会川晴之, 伊藤隆哉, 岡本孝司, 高木直行, 滝順一, 田中治邦, 廣井博, 澤田哲生, 133.
- 時 論 原子力発電の事故リスクをどう考えるか：松尾雄司, 146.  
 感染症に対する平常時・アウトブレイク時のリスク管理—平常時からの情報収集と分析そして情報還元—：岡部信彦, 148.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 150.
- 解 説 CTBT に係わる放射性核種の監視：木島佑一, 山本洋一, 156.  
 熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップの改訂—軽水炉の継続的な安全性向上に向けて：熱流動部会 WG, 161.  
 地球科学の原子力安全への貢献 (その 2) 破碎物質の鉱物・化学分析と断層の活動性評価：丹羽正和, 石丸恒存, 島田耕史, 167.  
 原子力損害賠償制度再構築への視点 第 2 回 普遍的, 恒久的制度としての検討：遠藤典子, 172.  
 新時代における電力系統運用の挑戦—電力システム改革とエネルギーミックス達成のために：北島尚史, 177.
- 特 集 廃炉ロボットの開発：神徳徹雄, 182.
- 報 告 福島第一原子力発電所事故—IAEA 事務局長報告書の所見と教訓の概要：成合英樹, 184.
- 新刊紹介 Safety-I & Safety-II ; 安全マネジメントの過去と未来：糸井達哉, 189.  
 結晶転位論：鉄から窒化ガリウムまで：園田健, 192.
- 報 告 GLOBAL2015—低炭素未来に向けた核燃料サイクル会議の概要：菅原隆徳, 飯塚政利, 190.
- 談 話 室 帰還に向けて原発のある町の歴史を繋ぐ：半谷輝己, 193.
- 理事会だより 標準活動のさらなる改善に向けて, 195.  
 From Editors, 平成 28 年度派遣学生の募集, 196.
- 会 告 新役員候補者募集のお知らせ, 197.
- 会 報 学術的会合の予定, 新入会一覧 (第 27-6 回理事会承認分), 次年度会費請求のお知らせ, 英文論文誌 (Vol.53, No.3) 目次, 和文論文誌 (Vol.15, No.1) 目次, 2 月主要会務, 198.

### No.4 (4月号)

- 巻 頭 言 「もんじゅ」に対する勧告を受けての思い：馳浩, 202.
- 時 論 構造災—科学社会学者からのメッセージ：松本三和夫, 203.  
 ベストミックスにおける原子力の役割：柏木孝夫, 205.  
 世界の検査・規制の教訓から見た開発段階炉「もんじゅ」勧告：杉山憲一郎, 207.
- 連載・福島からの風 第 7 回 震災から「新生ならば」創造へ：松本幸英, 209.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 210.

座談会 「どうする?もんじゅ」3—原子力をめぐるグランドデザインの不在が根底に:竹内純子, 山本隆三, 澤田哲生, 216.

解説 福島原発事故由来の放射性物質が付着した海底堆積物の再懸濁と水平輸送過程:本多牧生, 乙坂重嘉, 225.

解説シリーズ 多様な誘因事象に対する原子力安全の確保(その1);リスク情報活用に係る現状と課題:糸井達哉, 林健太郎, 大和正明, 229.

解説 産総研における放射線線量標準の現状:黒澤忠弘, 齋藤則生, 235.

新刊紹介 「放射化学の事典」:渡邊雅之, 240.

解説シリーズ 転機を迎えるエネルギー市場(その3);電力自由化の国際動向:小宮山涼一, 241.

報告 臨界安全国際会議 ICNC2015:名内泰志, 竹澤宏樹, 外池幸太郎, 247.

From Editors, 252.

2015年世界原子力大学夏季研修に参加して—各国からの参加者との議論から学んだこと—:金澤聡子, 253.

会誌電子化の広がり—他学会の取り組みの紹介—:折原小夏, 256.

Short Report 奨励賞を受賞した若手研究者の研究に寄せる思い:上野克宜, 石井健治, 258.

談話室 OECD/NEA 報告書に見る「効果的な原子力規制機関の特性」とは:木下雅仁, 259.

活動報告 将来の人材を確保するためのツールとして—原子力・放射線分野ロールモデル集の作成と配布—:羽倉尚人, 261.

ジャーナリストの視点 とらわれない視点で:山本明彦, 262.

「2016年秋の大会」お知らせ, 263.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, 寄贈本一覧, 日本原子力学会新規フェロー, 平成27年度(第9回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 平成28年度「シルバー会員」・「永年会員」表彰, 第48回(平成27年度)日本原子力学会賞受賞一覧, 2015年度 JNST Article Awards 受賞一覧, 英文論文誌(Vol.53, No.4)目次, 3月主要会務, 264.

## No.5 (5月号)

特集 「復興に向けてこれから何をすべきか」

復興に向けて—原子力社会から水素社会へ—:復興副大臣 若松謙維, 273.

福島の未来を切り開くための挑戦:福島県知事 内堀雅雄, 275.

Growing TAMURA 東日本大震災と原発事故を越えてゆく:田村市長 富塚宥暉, 276.

復興から自立へ—子ども達から教わったこと—:川内村長 遠藤雄幸, 277.

自然災害と原発再稼働問題:阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 河田恵昭, 278.

環境創造センター活動開始:福島県環境創造センター 角山茂章, 280.

福島復興に向けてこれからはすべきこと:福島大学 清水修二, 282.

「復興」させない復興というあり方:福島大学 今井照, 284.

災害社会学の視角 1F 災害を経てあらためて復興を考える:専修大学 大矢根淳, 286.

属人的な復興政策への転換こそ重要—複数住民票や避難都市の実現を—:関西学院大学 山中茂樹, 288.

災害復興の検証とフォローアップ:兵庫県 杉本明文, 292.

福島の復興 日弁連の取り組みから:日本弁護士連合会 笠原一浩, 中村多美子, 294.

福島の復興のこれからを考える:日本自然災害学会 高橋和雄, 296.

福島の復興に向けて:日本学術会議 大西隆, 297.

From Editors, 300.

座談会 「どうする?もんじゅ」4—原型炉の保全や規制は, 経験を積むことで進化する:城隆久, 加藤優子, 相澤康介, 山野秀将, 菊池裕彦, 笠原直人, 澤田哲生, 301.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 312.

解説シリーズ 多様な誘因事象に対する原子力安全の確保(2);外的事象対策の原則と具体化:糸井達哉, 中村秀夫, 中西宣博, 318.

報告 進化を遂げる放射線監視の網—放射線量マッピングシステム研究会開催報告—:佐藤信浩, 谷垣実, 324.

談話室 中学生が高レベル放射性廃棄物処分を考えたら!?—科学のリスクコミュニケーション「中学生サミット2016 in 瑞浪・名古屋」を見て—:岡田小枝子, 326.

理事会だより 福島特別プロジェクトシンポジウムの開催, 328.

- 会 告 平成 28 年度新役員候補者投票のお願い, 329.  
会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧(第 27-7 回理事会承認分), 共催行事, 「2016 年春の年会」学生ポスターセッション受賞者一覧, 英文論文誌 (Vol.53, No.5) 目次, 4 月主要会務, 331.  
第 48 回(平成 27 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

#### No.6 (6 月号)

- 巻 頭 言 Meeting this Generation's Responsibilities to the Future : William D.Magwood, 334.  
時 論 防災学術連携体の設立—今こそ必要な学会の垣根を超えた議論と社会を含めた交流 : 和田章, 335.  
「オールハザードアプローチ」と「レギュラトリーサイエンス」: 岸本充生, 337.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 339.  
解 説 低炭素電力システムにおける原子力と再生可能エネルギーの共生を考える—系統安定性, 経済性及び自由化の観点から—: 尾本彰, 藤井康正, 345.  
解説シリーズ 転機を迎えるエネルギー市場(その 4); 原油価格の変動とその構造的要因 : 小宮山涼一, 350.  
解 説 原子力発電所が二度と過酷事故を起こさないために—防災までを共に考える原子力安全—: 宮野廣, 村松健, 356.  
From Editors, 361.  
30 年後の福島環境放射線レベル推定とその技術開発 : 本名瀬栄, 362.  
浜岡周辺地区での世論調査が語るもの—世代による原子力肯定比率の違い : 山本隆三, 367.  
中性子ビーム利用研究における研究用原子炉 JRR-3 の役割—これまでとこれから : 武田全康, 松林政仁, 371.  
サイエンスよみもの 加速器で生成したニュートリノを用いて粒子と反粒子の違いを探す—東海・神岡間長基線ニュートリノ振動実験 T2K : 中平武, 376.  
談 話 室 「ぼくたちはお婿に行けますか?」: 竜田一人, 382.  
理事会だより だれもが考え, だれもが悩む時代, 384.  
会 告 一般社団法人日本原子力学会 「第 6 回総会」のご通知, 385.  
会 報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 寄贈本一覧, 『放射線遮蔽ハンドブック—基礎編—』販売のご案内, 平成 28 年度放射線取扱主任者試験施行要領, 英文論文誌, 目次 (Vol.53, No.6), 和文論文誌 (Vol.15, No.2) 目次, 5 月主要会務, 386.

#### No.7 (7 月号)

- 特 集 東電福島第一事故から 5 年を経て—原子力学会活動の総括と課題  
はじめに : 日本原子力学会会長 上塚寛, 390.  
(1) 事故調最終報告書における提言とその後の対応 : 廃炉検討委員会・事故提言課題フォロー分科会主査 山本章夫, 391.  
(2) 福島復興に対する取り組み : クリーンアップ分科会の取り組み : 保健物理・環境科学部会の取り組み : 福島特別プロジェクト幹事 三倉通孝, 服部隆利, 392.  
(3) 福島第一原子力発電所の廃炉に対する取り組み : 廃炉に係わるリスク管理 : 事故廃棄物の現状と課題 : 廃炉検討委員会委員長 宮野廣, 394.  
(4) 安全性向上に対する取り組み : 原子力安全部会での取り組み : 原子力安全部会部会長 関村直人, 395.  
標準委員会での取り組み : 標準委員会委員長 関村直人, 396.  
ヒューマン・マシン・システム研究部会での取り組み : HMS 研究部会部会長 五福明夫, 397.  
小括 : 関村直人, 398.  
(5) その他の取り組み : 断層の活動性と工学的なリスク評価 : 断層の活動性と工学的なリスク評価 : 調査専門委員会主査 奈良林直, 398.  
福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会 : 日本原子力学会副会長 田中隆則, 398.  
From Editors, 399.  
時 論 リスク管理に「協調的な対話」の勧め : 谷和夫, 400.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 402.  
解 説 東京電力福島第一原子力発電所事故による福島県産水産物汚染の現状—福島県の魚は食べられないのか? : 森田貴己, 408.



保守管理「保全プログラム」の不備から見た研究開発段階炉「もんじゅ」勧告：杉山憲一郎， 413.  
福島復興の5年を振り返って—除染の進展と放射線リスクコミュニケーション—：川合將義， 418.  
原子力発電への賛否はどのように決まるのか—浜岡原発周辺の世論調査が語るもの(2)：山本隆三， 424.  
地下空洞型処分施設の建設技術の確証—地下環境下・実規模大の模擬処分施設の構築を例に—：秋山吉弘， 田中俊彦， 429.

中国初の原子力白書を読み解く—「原発強国」実現の目標を強調：小林雅治， 434.

報 告 米国「規制情報会議(RIC2016)」概要—揺れるNRCと深層防護について：松井一秋， 440.

「核の番人」での経験と今後の展望：嶋田廉， 浅原章， 西川将吾， 444.

談 話 室 原子力ファンタジー：総論投稿のすすめ：山野直樹， 446.

連載・福島からの風 第8回 自主避難の町をご存じですか：芥川一則， 448.

Short Report 学会誌アンケートの試行結果のサマリ：小林容子， 449.

『放射線遮蔽ハンドブック—基礎編—』販売のご案内， 450.

理事会だより 学会の理事って何をやっているの？：小原徹， 451.

会 報 学術的会合の予定， 主催・共催行事， 新入会一覧(第27-8回理事会承認分)， 英文論文誌(Vol.53, No.7)目次， 6月主要会務， 452.

一般社団法人 日本原子力学会「第6回総会」第6号議案(後付)

### No.8 (8月号)

巻 頭 言 ~原子力を支える人材・技術の確保に向けて~：三村申吾， 455.

インタビュー 「もんじゅ」は人類への貢献につながるように活用を—有明朗人氏に聞く：聞き手 澤田哲生， 456.

時 論 温室効果気体の増加と気候変動：中澤高清， 458.

東日本大震災時の女川原子力発電所—現場からの報告：渡部孝男， 460.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内， 海外情報， 462.

解 説 研究炉の長期停止で人材育成に懸念—学会分科会， 研究炉の役割明確化と戦略化を提言：上坂充， 峯尾英章， 468.

From Editors, 473.

原発をめぐる司法判断が分かれはじめた：佐田務， 474.

報 告 OECD/NEA 福島第一原子力発電所事故後の5年—原子力安全の改善と教訓：成合英樹， 479.

解 説 技術基盤としての核データと核計算コードシステム—日本における開発動向とその意義：吉田正， 484.

岩盤の力学挙動に対する数値解析モデルについて：京谷孝史， 489.

科学的な議論の場をデザインするには—PA から参加型 RC へ：西澤真理子， 494.

低線量の放射線健康影響リスクコミュニケーション—地域参画型リスクコミュニケーションの実践：山野直樹， 499.

談 話 室 福島原発事故から見てきたリスクコミュニケーションを巡る課題への—考察：佐藤映子， 504.

サイエンスよみもの 抗がん剤の作用メカニズムの「鍵」を原子レベルで解明—より効果の高い抗がん剤の開発に繋がると期待—：玉田太郎， 505.

報 告 福島事故に係る情報の保存とその利用の取り組み—アーカイブの構築・運用と今後の課題：早川美彩 ほか， 509.

私の主張 核変換が地層処分に果たすべき本来の役割：大山幸夫， 514.

連載・福島からの風 第9回 福島の未来に向けて：藤木亜唯花， 515.

理事会だより 福島復興への対応と学会活動への取り組み：佐藤修彰， 516.

会 報 学術的会合の予定， 人事公募， 寄贈本一覧， 新入会一覧(第28-1回理事会承認分)， 平成28年度役員紹介， 第49回(平成28年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集， 「2016年秋の大会」見学会のご案内， 英文論文誌(Vol.53, No.8)目次， 7月主要会務， 517.

### No.9 (9月号)

新会長あいさつ 学会の役割—学術と実働：上坂充， 522.

時 論 原子力発電に対する司法審査：森島昭夫， 523.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内， 海外情報， 525.

- 解説 40年運転期間規制の制度的課題について—科学的・合理的規制と、独立した判断を求む：西脇由弘, 531.  
IAEA 保障措置技術及び人材育成に対する JAEA の貢献：直井洋介, 小田哲三, 富川裕文, 536.  
From Editors, 541.
- 解説シリーズ 断層変位に対する工学的なリスク評価(その1)：断層変位に対する原子力安全の考え方：奈良林直, 542.  
断層変位に対する工学的なリスク評価(その2)：施設影響評価における裕度評価手法の適用：奈良林直, 岡本孝司, 百々隆, 神谷昌伸, 547.
- 解説 大型装置 CIGMA を用いた格納容器熱水力安全研究—重大事故の評価手法と安全対策の高度化を目指して：柴本泰照, 与能本泰介, 堀田亮年, 553.  
熱流動の可視化計測技術：染矢聡, 558.  
複雑な組成・形状の核燃料を計量管理する中性子共鳴濃度分析法の開発—粒子状熔融燃料中の核物質非破壊測定技術の開発：小泉光生, 原田秀郎, Peter Schillebeeckx, 563.
- サイエンスよみもの 地中空洞探査に向けたミュオグラフィ検出器開発：金政浩, 568.
- 会議報告 第14回国際放射線防護学会国際会議：佐々木道也, 573.
- 理事会だより 平成28年度新体制で活動を始めました：藤澤義隆, 574.
- 会報 学術的会合の予定, 主催行事, 人事公募, 新入会一覧(第28-2回理事会承認分), 第49回(平成28年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集, 寄贈本一覧, 英文論文誌(Vol.53, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.15, No.3)目次, 8月主要会務, 575.

#### No.10 (10月号)

- 巻頭言 「知の統合」は責任なくして語らえない：似田貝香門, 580.
- 時論 保守管理上の不備に対するもんじゅの取組：家田芳明, 581.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 583.
- 解説 福島の森林生態系における放射性セシウムの動態：大手信人, 589.  
核セキュリティに関する国際動向と日本の貢献—2016年ワシントン核セキュリティ・サミットの概要と今後の国際的な核セキュリティ強化に向けた課題：田崎真樹子, 須田一則, 594.
- Short Report 最後の原子力産業サミット(核セキュリティ強化を目指して)で採択された声明について：新津好伸, 599.
- 解説シリーズ 転機を迎えるエネルギー市場(5)：電力自由化と原子力：小宮山涼一, 601.
- サイエンスよみもの 放射線とノーベル賞：川合將義, 607.  
原子力分野への負ミュオンの応用 負ミュオンによる核変換・核融合・核分裂：松崎禎市郎, 612.
- 報告 Journal of Nuclear Science & Technology のインパクト—JNST をより良い論文誌とするために：日本原子力学会 編集委員会, 617.
- 会議報告 第9回混相流国際会議：古谷正裕, 621.  
シンポジウム「核燃料サイクル・バックエンドの科学—その研究教育の在り方」：長谷川秀一, 622.
- ジャーナリストの視点 キッチン, スーパーでの対話：野依英治, 623.
- 新刊紹介 ニュースが面白くなるエネルギーの読み方：佐田務, 624.
- 理事会だより みんなで考える福島除染・帰還・復興：布目礼子, 625.
- 会報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 『放射線遮蔽ハンドブック—基礎編—』販売のご案内, 英文論文誌(Vol.53, No.10)目次, 9月主要会務, 626.

#### No.11 (11月号)

- 巻頭言 生活と原発再稼働：山本隆三, 629.
- 時論 大学における非密封 RI の利用の現状と課題：柴田徳思, 630.  
放射線被ばくによる健康影響；組織反応と発がんリスク：佐々木康人, 飯本武志, 632.  
リスクオーナー視点による保全活動の最適化：野口和彦, 634.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 636.
- 解説  $^3\text{He}$  代替非破壊分析装置の開発—迫り来る $^3\text{He}$  クライシスの解決を目指して：小泉光生, 坂佐井馨, 呉田昌俊, 中村仁宣, 642.
- 報告 J-PARC の概要と中性子の産業利用の現状：林眞琴, 647.
- 解説シリーズ 転機を迎えるエネルギー市場(6)：原子力を巡るエネルギー情勢；「エネルギー白書2016」に見る内外の動

向：小宮山涼一， 653.

津波波圧・波力実験とその活用(1)：津波波力に関する基礎的実験：木原直人，甲斐田秀樹， 659.

サイエンスよみもの 核分裂の物理学；わかったこと， まだわからないこと：千葉敏， 664.

Short Report 低線量・低線量率放射線影響は解明できるか：福本学， 669.

From Editors, 672.

談話室 イチエフ訪問記：河田東海夫， 673.

人体の遺伝子保護・修復による放射線障害の防御：香川靖雄， 675.

会議報告 流れ加速型腐食に関する国際会議 FAC 2016：米田公俊， 677.

核軍縮をどう検証するか？：堀尾健太， 木村祥紀， 678.

理事会だより 財務状況の改善と財産の有効利用：大塚雅哉， 679.

日本原子力学会「2017年春の年会」発表および聴講者申込受付のご案内， 680.

会報 学術的会合の予定， 人事公募， 寄贈本一覧， 新入会一覧(第28-3理事会承認分)， 『放射線遮蔽ハンドブック—基礎編—』販売のご案内， 英文論文誌(Vol.53, No.11)目次， 10月主要会務， 681.

## No.12 (12月号)

巻頭言 敦賀と原子力：測上隆信， 684.

時論 ウランは十分あるか？石油文明の頂点を生きる現世代の責任：小野章昌， 685.

座談会 「もんじゅ」の今後は， 地元とも十分な共考を；地元軽視は， 国への不信感につながる：石黒順二， 武内貴年， 堤利市， 平山光子， 澤田哲生， 688.

座談会 「もんじゅ」存続こそが日本の選ぶ道：金子熊夫， 田中伸男， 藤家洋一， 澤田哲生， 694.

特集 「もんじゅ」高速炉， プルトニウム政策の再検討を：会川晴之， 699.

今後のもんじゅに関する要望：伊藤和元， 701.

日本型システムの崩壊：岡本孝司， 703.

高速炉開発意義の共有と巨大技術開発の覚悟：笠原直人， 705.

「人のふんどしですもうとるな」：河田東海夫， 707.

海外投資か， 国内投資か：齋藤伸三， 709.

原子力100年の計：齋藤正樹， 711.

高速炉サイクル， 学会で公正で客観的な検証を：鈴木達治郎， 713.

日本の高速炉開発：高木直行， 715.

もんじゅ廃炉は「共同謀議」か？：滝順一， 717.

「もんじゅ」を議論するのではなく， 核燃料サイクル政策全体の議論を：竹内純子， 719.

「もんじゅの抜本的見直し」を憂う：田中治邦， 721.

「もんじゅ」の活用， バスタブカーブで：早野陸彦， 723.

不適切な勧告と， 「もんじゅ」再生に向けて：播摩奈津子， 725.

負の部分的事実だけをみて進路を誤るな！：廣井博， 727.

もんじゅと高速炉開発は別問題：松浦祥次郎， 729.

もんじゅを考える—論点と課題—：宮野廣， 731.

「もんじゅ」運転で1兆円の無駄を避けることができる：向和夫， 733.

もんじゅ開発の原点の再確認：柳澤務， 735.

持続可能な社会を作る原子力と新技術：山本隆三， 737.

高速増殖炉もんじゅの博物館化は可能か：吉岡斉， 739.

高速増殖原型炉もんじゅの有効な活用について—原子力学会の見解：日本原子力学会， 741.

社会とのコミュニケーションのために：広報情報委員会， 742.

特集 テチャ川流域住民の放射線疫学調査研究

I. 汚染の発生概要とコホート設定の経緯：岩井敏， 熊澤蕃， 仙波毅， 石田健二， 高木俊治， 744.

II. 個人被ばく線量の再構築：岩井敏， 熊澤蕃， 仙波毅， 石田健二， 高木俊治， 748.

III. 放射線疫学調査結果：岩井敏， 熊澤蕃， 仙波毅， 石田健二， 高木俊治， 751.

From Editors, 755.

解説 研究開発段階階電用原子炉の保守管理の在り方：高屋茂， 756.

会議報告 原子力分野のリーダー育成をめざし Japan-IAEA Joint Nuclear Energy Management School：山口美佳, 759.  
ジャーナリストの視点 原子力学会「声明」「見解」に異議あり！：倉澤治雄, 760.

理事会だより 2016 年秋の大会 理事会セッション等の報告：駒野康男, 761.

会 告 「2017 年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 762.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 『分離変換技術総論』販売のご案内, 新入会一覧(第 28-4 回理事会承認分),  
「2016 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧, 平成 29・30 年度代議員候補者推薦について, 平成 29  
年度フェロー候補推薦募集, 英文論文誌 (Vol.54, No.12) 目次, 和文論文誌 (Vol.15, No.4) 目次, 11 月主要会務,  
763.

総目次・著者名索引 (Vol.58, Nos.1~12) (後 付)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.59, Nos. 1~12(2017)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No.1 (1月号)

- 巻頭言 原子燃料サイクル事業に未来を託す：戸田 衛, 1.
- 時 論 原子力利用の安全基盤としての放射線影響研究と人材育成：高橋千太郎, 2.  
協働知創造のレジリエンスの視点から—原子力防災政策・施策の隙間：清水美香, 4.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 6.
- 特 集 福島第一原子力発電所使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた取り組みについて—原子力学会秋の大会セッションから  
はじめに：高山拓治, 12.  
各号機 使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた全体計画：小林靖, 末永和也, 松岡一平, 13.  
3号機 オペフロ大型ガレキ撤去, 除染, 遮へい体設置：井上隆司, 林弘忠, 西岡信博, 15.  
3号機 有人作業エリアの線量率評価：白井啓介, 松下郁, 黒澤正彦, 向田直樹, 17.  
3号機 オペフロにおける $\gamma$ 線スペクトル評価及び線量測定結果：向田直樹, 林宏二, 金濱秀昭, 鈴木敏和, 21.  
3号機 カバーの設計および施工計画：松尾一平, 小川喜平, 岡田伸哉, 加藤和弘, 23.  
3号機 燃料取扱設備等の設計および施工計画：諏訪蘭司, 東倉一郎, 伊藤悠貴, 篠崎史人, 26.  
3号機 燃料取り出しに向けた準備状況：山口貫太, 工藤深也, 加賀見雄一, 28.  
1号機 建屋カバー解体における遠隔誘導システム, ガレキ吸引装置等の開発：黒澤到, 梶波信一, 木ノ下英雄, 山崎忍, 塚原裕一, 廣瀬豊, 30.
- 報 告 福島 の 環境回復活動の状況について：小沢晴司, 33.
- 解説シリーズ 津波波圧・波力実験とその活用(2)；実務に活用される津波波力実験：木原直人, 甲斐田秀樹, 37.  
転機を迎えるエネルギー市場(7/最終回)；気候変動問題と原子力の役割：小宮山涼一, 42.
- 報 告 平成28年度供給計画の概要と取りまとめについて：寺島一希, 47.  
熱流動シミュレーションのV&Vの現状；～国際会議CFD4NRS-6報告～：越塚誠一, 52.
- 新刊紹介 なぜ日本の大学には工学部が多いのか：木藤啓子, 55.  
From Editors, 56.
- 理事会だより 年会や大会での研究成果の発表について：木下泉, 57.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催行事, 寄贈本一覧, 新入会一覧(第28-5回理事会承認分), 書籍販売のご案内, 英文論文誌(Vol.54, No.1)目次, 12月主要会務, 58.

## No.2 (2月号)

- 巻頭言 原子力立地地域の想い：越善靖夫, 61.
- 時 論 この国の原子力の現場にて：佐々木雅人, 62.  
IAEA 総合規制評価サービス(IRRS)ミッション勧告から見た規制機関の在り方：杉山憲一郎, 64.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 66.
- 特 集 原発と司法—原子力界は何をなすべきか  
原発の安全性や日本の状況をていねいに説明する：升田純, 72.  
科学技術と社会との関係構築について原子力界の見識が問われている：寿楽浩太, 75.  
原発の運転差し止めをめぐる最近の仮処分決定のあらまし, 78.
- 解 説 福島第一原子力発電所事故海外報告書の総括—教訓と提言を中心に：成合英樹, 79.
- 講 演 AESJ 標準委員会「リスク情報活用のための実施基準改定構想」：成宮祥介, 85.  
リスクガバナンスと原子力リスク管理：山口彰, 89.
- 報 告 リスク情報の活用と継続的改善に関わる原子力安全部会における最近の活動：糸井達哉, 村上健太, 大貫晃, 94.  
原発事故に関する情報を住民がどのように理解し, 行動したのか。—福島在住者および自主避難者へのグループインタビューで分かったこと—：藤長愛一郎, 村山留美子, 岸川洋紀, 99.

- YGN 報告 第 1 回若手勉強会報告；もんじゅを見つめ直す：菅原慎悦, 103.
- 会議報告 科学と技術のための核データ国際会議 ND2016：国枝賢, 千葉豪, 105.  
核燃料国際会議 TOP FUEL 2016：垣内一雄, 松永純治, 106.  
From Editors, 107.
- ジャーナリストの視点 対話は「わかりあえない」ことから：長谷川聖治, 108.
- 理事会だより 理事会で議論されていること：榎田洋一, 109.
- 会 告 代議員選挙について(投票のお願い), 110.
- 会 報 学術的会合の予定, 日本原子力学会 基金寄付者芳名一覧, 次年度会費請求のお知らせ, 書籍販売のご案内, 英文論文誌 (Vol.54, No.2) 目次, 1 月主要会務, 112.

### No.3 (3月号)

- 巻 頭 言 7 年目に入った原子力政策の停滞からの脱却のために：細川珠生, 115.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 116.
- 特 集 LNT 仮説への挑戦—2016 秋の大会企画セッションから  
低線量放射線影響の歴史的経緯と現状：坂東昌子, 122.  
統計モデルとしての LNT 仮説の起源：田中司朗, 今井匠, 126.  
LNT 仮説への挑戦としての WAM モデル：真鍋勇一郎, 128.  
日本学術振興会 産学協力 放射線の生体影響の分野横断的研究委員会の発足：和田隆宏, 130.  
パネル討論会：坂東昌子, 田中司朗, 今井匠, 真鍋勇一郎, 和田隆宏, 澤田哲生, 下道國, 滝順一, 西本由美子, 132.
- サイエンススペシャル 現代加速器の歴史的進化：高山健, 135.
- サイエンスよみもの 放射性廃棄物処分施設の長期挙動評価に関する研究—人工バリアの性能評価試験：渡邊保貴, 横山信吾, 142.  
流れ加速型腐食に対する研究の現状：米田公俊, 藤原和俊, 歌野原陽一, 147.
- 報 告 福島 の 環 境 影 響 ・ 健 康 影 響 研 究 の 新 た な 展 開 ： 廣 内 淳 , 大 倉 毅 史 , 佐 藤 大 樹 , 152.  
From Editors, 155.  
幌延見聞記—大学生・大学院生が見た現場から：大谷崇人, 亀岡優輔, 酒井泰地, 中村建翔, 山川裕久, 渡辺人生, 早瀬佑一, 澤田哲生, 156.  
学会誌アンケート結果サマリ (2016 年 9~11 月号)：小林容子, 160.
- 会議報告 第 13 回遮蔽国際会議：奥野功一, 大石晃嗣, 162.  
第 18 回放射性物質輸送国際会議 PATRAM2016：伊藤大一郎, 163.  
原子力発電プラントの水化学に関する国際会議 2016：河村浩孝, 164.
- 新刊紹介 写真に見る 地質と災害：佐々木俊法, 165.
- 理事会だより 学会傘下の組織とは?(総務財務委員会とは?)：竹野正志, 166.
- 会 告 平成 29 年度新役員候補者募集のお知らせ, 167.
- 会 報 学術的会合の予定, 共催行事, 新入会一覧(第 28-6 回理事会承認分), 「原子力学生国際交流事業」派遣学生募集, 「2017 年春の年会」見学会, 英文論文誌 (Vol.54, No.3) 目次, 和文論文誌 (Vol.16, No.1) 目次, 2 月主要会務, 168.

### No.4 (4月号)

- 特 集 福島原発事故から 6 年—福島原発事故に対する各学会の取組み  
福島原発事故に対する化学工学会の取組み：長谷部伸治, 174.  
環境放射能除染学会の活動と今後の展望：森田昌敏, 176.  
計測自動制御学会—システムイングレーション部門の取組み：神田真司, 178.  
失敗学会による会議, 検討, 情報発信：畑村洋太郎, 飯野謙次, 181.  
「廃炉地盤工学」の創生と原子力工学との協働：小峯秀雄, 183.  
大気環境学会の取組み：大原利眞, 186.  
海洋放射能汚染についての日本海洋学会の取組み：神田稷太, 188.  
東日本大震災と日本学術会議：大西隆, 190.  
日本技術士会の福島復興支援活動：佐々木聡, 192.

日本気象学会の取り組み：近藤裕昭，194.  
安全・安心な社会の実現に向けた航空宇宙分野の取組み～無人航空機の研究開発～：澤田恵介，197.  
原子力災害に対する日本コンクリート工学会の取組：丸山久一，199.  
被害と苦悩の現場を直視し，政策提言を行う社会学：長谷川公一，201.  
東日本大震災を踏まえた日本地質学会の展開：渡部芳夫，203.  
福島原発事故に対する日本土壌肥料学会の取組み：木村武，205.

From Editors, 207.

日本品質管理学会の取組：伊藤誠，208.  
日本物理学会の取組み：藤井保彦，210.  
日本放射化学会と東京電力福島第一原発事故：中西友子，212.  
福島原発事故に対する日本放射線影響学会の取組み：藤堂剛，215.  
日本保健物理学会の取組み：甲斐倫明，217.  
日本リスク研究学会の取組み：前田恭伸，219.  
日本ロボット学会の取組み：吉見卓，細田祐司，221.  
福島第一原子力廃炉への腐食防食学会の取り組み：原信義，223.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，225.

ジャーナリストの視点 福島原発事故から6年の現実：佐久間順，230.

理事会だより 「知の統合」に向けて，できるところから始めよう：宮原要，231.

会報 学術的会合の予定，人事公募，共催行事，寄贈本一覧，日本原子力学会新規フェロー(11名)，平成28年度(第10回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧，平成29年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰，第49回(平成28年度)日本原子力学会賞受賞一覧，2016年度 Journal of Nuclear Science and Technology Article Awards 受賞一覧，英文論文誌(Vol.54, No.4)目次，4月主要会務，232.

#### No.5 (5月号)

巻頭言 量子科学技術による調和ある多様性の創造：平野俊夫，239.

時論 「バックエンド対策はそれほど高くない」ことを数値で示せ！：石川和男，241.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，243.

特集 フランス原子力学会との日仏合同セッション報告

(1)地球温暖化防止への貢献と我が国の原子力再稼働：奈良林直，249.

(2)フランス原子力学会における COP21 への取組み：ヴァレリー フォードン，スニル フェリックス，エムリック タンギ，254.

From Editors, 259.

(3)COP21 に向けた火力発電の役割と欧州の電力事情：黒石卓司，260.

解説 核のごみ処分をめぐる—「高レベル放射性廃棄物の処分をテーマとした Web 上の討論型世論調査」のシンポジウムから(1)：今田高俊，263.

討論型世論調査をめぐる—「高レベル放射性廃棄物の処分をテーマとした Web 上の討論型世論調査」のシンポジウムから(2)：坂野達郎，268.

福島後の原発裁判と司法の役割：吉田克己，273.

SCOPE 量子科学技術を一体的・総合的に推進する QST. : 量子科学技術研究開発機構，278.

連載講座 福島 の 環境回復に向けた取組み(1)；環境回復に関する取組みの進展：宮原要，大原利真，282.

報告 「核のごみ」にまつわる中学生の対話：井内千穂，287.

学会誌アンケート結果サマリー(2016年12～2017年2月号)：小林容子，292.

談話室 負荷追従：再生可能エネルギーとの共存で原子力に要求される課題—高速炉への期待：関本博，Georgy I. Toshinsky，294.

会議報告 アジアの原子力展望に関する国際会議 ANUP2016：津幡靖宏，山村朝雄，295.

理事会だより 原子力学会が強化すべきことは：中田耕太郎，296.

会告 平成29年度新役員候補者投票のお願い，297.

平成29・30年度代議員選挙結果の報告，299.

日本原子力学会「2017年秋の大会」発表・参加申込受付のご案内，300.

会報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 人事公募, メール配信サービス(AESJ-NEWS)会員限定配信のご案内, 書籍販売のご案内, 2017年度会費請求のお知らせ, 英文論文誌(Vol.54, No.5)目次, 5月主要会務, 301.  
第49回(平成28年度)日本原子力学会賞 受賞概要(後付)

### No.6 (6月号)

巻頭言 21世紀最大のイノベーションは原子力にある: 池田信夫, 305.  
時論 高速炉研究開発を見直すチャンス 足が地に着いた戦略を: 井上正, 306.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 308.  
解説 将来の高速炉サイクルオプションとしての統合型高速炉(IFR)の技術的可能性—小型金属燃料高速炉と乾式サイクル施設を併設したIFR: 田中伸男, 314.  
From Abroad Scientific Wanderlust Across The Ocean—海への向こうの研究放浪記, アメリカ国立研究所編—: 河野俊彦, 325.  
解説 日本の原子力における人材育成の現状と課題: フランスの原子力人材育成に学ぶ: 藤原健太郎, 330.  
人工知能技術による異常検知システムとその産業応用: 村川正宏, 335.  
「じわじわ」被ばくの発がん影響を動物実験で明らかに: モデルマウスを用いて低線量率被ばくに起因する発がんリスクを直接的に評価: 鶴岡千鶴, 柿沼志津子, 340.  
連載講座 福島環境回復に向けた取り組み(2): 事故進展と放射性物質の放出・沈着分布の特徴: 斎藤公明, 永井晴康, 木名瀬栄, 武宮博, 344.  
談話室 情報技術全盛時代の新たなワークモデル: 中村天江, 349.  
『対話の場を創る』: 杉田恵子, 櫻木正彦, 351.  
会議報告 ICGR2016(地層処分国際会議): 石田圭輔, 352.  
新刊紹介 高速スペクトル原子炉: 千葉豪, 353.  
From Editors, 353.  
理事会だより 大学における教育・研究環境の危機的状況—2017年春の年会 理事会セッションの背景について—: 中島健, 354.  
会告 一般社団法人日本原子力学会「第7回総会」のご通知, 355.  
会報 学術的会合の予定, 共催行事, 新入会一覧(第28-7回理事会承認分), 平成29年度放射線取扱主任者試験施行要領, 2017年度会費請求のお知らせ, 書籍販売のご案内, 英文論文誌(Vol.54, No.6)目次, 和文論文誌(Vol.16, No.2)目次, 5月主要会務, 356.

### No.7 (7月号)

巻頭言 知識社会における技術: 武田徹, 361.  
時論 「都市」「郷土」の中のドイツ・シュタットベルケ: 高松平藏, 362.  
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 364.  
座談会 廃炉関連の人材育成には戦略的な連携を—若手指導者, 学会の情報共有と発信に期待: 阿部博志, 兼子信吾, 川崎大介, 鈴木茂和, 塚原剛彦, 渡邊保貴, 木藤啓子, 370.  
特集1 原子力関連施設の作業員の放射線疫学調査研究  
INWORKS 疫学調査研究, 377.  
IARC15 カ国合同コホート疫学調査研究(15カ国研究), 385.  
15カ国研究からINWORKSまでの放射線疫学研究の流れ: 岩井敏, 仙波毅, 石田健二, 高木俊治, 猪狩貴史, 388.  
特集2 地球温暖化対策におけるイノベーション—どのような期待があるのか, 如何なる技術が想定されているか: 杉山大志, 391.  
解説 廃止措置に挑むJAEA 楢葉遠隔技術開発センター: 山田大地, 399.  
火山現象に対する原子力発電所の安全確保について—JEAG4625改定版の背景とその技術的根拠(その2): 中村隆夫, 岩田吉左, 404.  
解説シリーズ 世界の原子力事情(1): 原子力推進姿勢を堅持する英仏: 内山軍蔵, 409.  
地政学的リスクとエネルギー(1): シェール革命と変貌する石油地政学: 小宮山涼一, 413.  
連載講座 福島環境回復に向けた取り組み(3): 環境放射線モニタリング調査・評価技術の開発: 眞田幸尚, 418.  
理事会だより 監事の立場から: 水田仁, 423.



会 報 学術的会合の予定, 共催行事, 新入会一覧(第 28-9 回理事会承認分), 英文論文誌(Vol.54, No.7)目次, 6 月主要会務, 424.

一般社団法人 日本原子力学会「第 7 回総会」第 1 号議案 平成 28 年度(2016 年度)事業報告(後付)

### No.8 (8 月号)

巻 頭 言 ドイツ電力自由化「核電気」100%のメニューあります! : 川口マーン恵美, 427.

時 論 ドイツのエネルギー転換 その現状と文化的背景: 三好範英, 428.

危機に立つ日本の科学技術: 永田好生, 430.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 432.

特 集 1F 事故による環境回復に伴う廃棄物の管理と除去土壌の減容・再生利用の取り組み

はじめに 30 年後の絵姿を描くための技術開発を: 除去土壌は 2 千分の 1 まで減容化濃縮: 大迫政浩, 438.

(1) 環境中における事故由来の放射性物質汚染廃棄物の総合的な管理: 遠藤和人, 439.

(2) 再生利用を目指した粘土鉱物への Cs 吸脱着機構解明: 矢板毅, 441.

(3) 中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略の概要: 金子悟, 神谷洋一, 山田浩司, 永野喜代彦, 合田均, 443.

(4) 除去土壌の再生利用の安全評価: 澤口拓磨, 高井静霞, 梅澤克洋, 武田聖司, 岡田尚, 445.

(5) 低レベル放射性廃棄物の処分費用の積算: 仲田久和, 坂井章浩, 天澤弘也, 坂本義昭, 447.

From Abroad Scientific Wanderlust Across The Ocean 一海の向こうの研究放浪記, オーストリア編一: 大塚直彦, 450.

解 説 IoT を巡る国内外の動向—スマートマニュファクチャリングへ向けたドイツ, アメリカ, 日本の活動: 澤田浩之, 455.

アブダクションによるデータ解析—計算予測結果を読み解く力—: 中島憲宏, 460.

解説シリーズ 断層変位に対するリスク評価と工学的な対応策

(3) 断層変位のハザード評価: 鈴木義和, 高尾誠, 谷和夫, 山崎晴雄, 奥村晃史, 小長井一男, 465.

(4) 建物・構築物及び土木構造物に対する影響評価: 辻弘一, 美原義徳, 松村和雄, 谷和夫, 蛭沢勝三, 高田毅士, 470.

長寿命核種の分離変換技術の現状(1): 分離変換の意義と分離変換システム: 湊和生, 辻本和文, 田辺博三, 藤村幸治, 475.

世界の原子力事情(2): 原子力の開発利用をめぐる米国の動向: 内藤明礼, 480.

連載講座 福島環境回復に向けた取り組み(4): 汚染土壌の除染, 減容化および再生利用を目指した物理処理及び新しい熱処理法開発への試み: 矢板毅, 伊藤健一, 万福裕造, 本田充紀, 下山巖, 辻卓也, 松村大樹, 483.

理事会だより 新たな Web リニューアルに向けて: 高橋信, 488.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 共催行事, 新入会一覧(第 29-1 回理事会承認分), 平成 29 年度役員紹介, 第 50 回(平成 29 年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集, 「2017 年秋の大会」見学会, 英文論文誌(Vol.54, No.8)目次, 7 月主要会務, 489.

### No.9 (9 月号)

会長あいさつ 学会の役割—学術と実働—: 上坂充, 495.

時 論 「フクシマの教訓」と早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターの挑戦: 松岡俊二, 496.

福島県の環境を回復し, 新たに創造する—福島県環境創造センターがめざすもの: 角山茂章, 498.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 500.

解 説 今, 大学における研究・教育現場から訴える—春の年会セッションから: 上坂充, 中島健, 佐藤修彰, 宇埜正美, 506.

次世代リチウム資源循環型社会の実現へ—核融合研究の新たなイノベーション: 星野毅, 510.

解説シリーズ 地政学的リスクとエネルギー(2): 米国新政権のエネルギー・環境政策: 小宮山涼一, 515.

長寿命核種の分離変換技術の現状(2): マイナーアクチノイドの分離技術: 鈴木達也, 竹内正行, 渡部創, 松村達郎, 飯塚政利, 佐藤匠, 520.

断層変位に対するリスク評価と工学的な対応策(5): 機器・配管系に対する影響評価: 佐藤邦彦, 羽田野琢磨, 今岡哲男, 平川知司, 岡本孝司, 奈良林直, 525.

断層変位に対するリスク評価と工学的な対応策(6): 事故シナリオ・リスク評価: 黒岩克也, 四十田俊裕,

飯田晋, 奈良林直, 蛭澤勝三, 神谷昌伸, 530.

連載講座 福島環境回復に向けた取り組み(5);放射性物質を含む廃棄物等の総合的管理:大迫政浩, 倉持秀敏, 遠藤和人, 535.

報告 10万年間の安全とは~社会環境との接点を考える—使用済燃料直接処分も含めた高レベル放射性廃棄物地層処分に関わる諸課題と提言:「使用済燃料直接処分に関わる社会環境等」研究専門委員会, 540.

学会誌アンケート結果サマリ(2017年3~5月号):小林容子, 佐田務, 544.

理事会だより 会員の維持と原子力への理解活動の取り組み:田中治邦, 547.

From Editors, 550.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧(第29-2回理事会承認分), 英文論文誌(Vol.54, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.16, No.3)目次, 8月主要会務, 551.

### No.10 (10月号)

巻頭言 福島第一原発事故の科学的検証が日本の原子力の科学力・技術力を向上させる:米山隆一, 555.

時論 不可知の説明責任:越智小枝, 556.

福島甲状腺検査は誰のためのものか:服部美咲, 558.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 560.

インタビュー 3.11後, 社会から最も信頼されたサイエンティストが解き明かした福島の実情—早野龍五氏に聞く:澤田哲生, 566.

解説 福島事故の背後にあるもの—科学技術ガバナンスでも世界に誇れる国か否か:藤垣裕子, 573.

ドイツにおける放射性廃棄物管理の実施責任・分担変更と基金の設置:徳島秀幸, 578.

From Abroad Scientific Wanderlust Across The Ocean—海の向こうの研究放浪記, アメリカ大学編—:三品裕司, 583.

解説シリーズ 長寿命核種の分離変換技術の現状(3):発電用高速炉を用いた核変換システム:池田一三, 北野彰洋, 田中康介, 中村勤也, 588.

世界の原子力事情(3):福島第一原子力発電所事故に対する国際原子力機関(IAEA)の活動記録:堀啓一郎, 山路斉, 593.

連載講座 核データ研究の最前線~たゆまざる真値の追及, そして新たなニーズへ応える為に~(1):多様化する原子核工学と核データのニーズ:須山賢也, 国枝賢, 深堀智生, 千葉豪, 598.

福島環境回復に向けた取り組み(6):安全性の確保を大前提とした除去土壌等の再生利用:岡田尚, 武田聖司, 仲田久和, 603.

談話室 前向きに進む英国廃止措置事業~視察ツアーに参加して~:東哲史, 608.

理事会だより 規則類一読のススメ:岡嶋成晃, 610.

会報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 書籍販売のご案内, 英文論文誌(Vol.54, No.10)目次, 9月主要会務, 611.

会告 日本原子力学会 倫理規程改定案についての意見募集, 612.

### No.11 (11月号)

巻頭言 エネルギー政策決定の要諦とは:野瀬豊, 615.

時論 削減か存続かで悩む原発大国フランス:山口昌子, 616.

「あり合わせでどう切り抜けるか」; ONE PIECE のリクルーティングから原子力界のレジリエンスを考える:渡辺凜, 618.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 620.

報告 福島第一原子力発電所の津波による非常用交流電源喪失についての追加検討:山内大典, 伊達健次, 遠藤亮平, 溝上暢人, 本多剛, 野崎謙一郎, 溝上伸也, 626.

解説シリーズ 地政学的リスクとエネルギー(3):中国のエネルギー需給と地政学的影響:小宮山涼一, 633.

世界の原子力事情(4):世界の原子力を牽引する新興4カ国(中露印韓):小林雅治, 638.

長寿命核種の分離変換技術の現状(4)(最終回):加速器駆動システムを用いた核変換—システムと分離変換技術の成熟度:辻本和文, 荒井康夫, 湊和生, 644.

連載講座 材料挙動と計算機シミュレーションの接点(1):原子力材料挙動のカイネティックス計算と実験への期待:森下和功, 649.

核データ研究の最前線～たゆまざる真値の追及，そして新たなニーズへ応える為に～(2)；共鳴領域における核データ測定と理論解析：木村敦，原田秀郎，国枝賢，片渕竜也，654.

福島環境回復に向けた取り組み(7)；福島沿岸域における放射性セシウムの動きと存在量：乙坂重嘉，小林卓也，町田昌彦，659.

部会トピックス 核燃料のリサイクルに関する研究課題・技術課題の提示と若手研究者・技術者の育成に向けて；再処理・リサイクル部会の最近の活動：森田泰治，吉田善行，池田泰久，鈴木達也，大西貴士，三倉通孝，中村裕行，664.

From Editors, 668.

Short Report FR17 国際会議の概要と高速炉開発の情勢：上出英樹，669.

会議報告 原子力分野のリーダー育成をめざして：河野裕子，671.

理事会だより CP-1 から 75 年：原子力の平和利用のために：西野由高，672.

日本原子力学会「2018 年春の年会」発表・参加申込受付のご案内，673.

会 報 学術的会合の予定，人事公募，誤記訂正，「2017 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，書籍販売のご案内，英文論文誌(Vol.54, No.11)目次，10 月主要会務，675.

## No.12 (12月号)

巻 頭 言 放射性廃棄物の地層処分を実現するために：近藤駿介，679.

時 論 安全の確保はリスクの管理から：山口彰，680.

「エネルギー・デモクラシー」の挑戦——新潟県原発検証委員会について：佐々木寛，682.

スロバキアの日本人医学生から原発を見て：妹尾優希，684.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，686.

解 説 組織文化に根差す原子力安全の課題：久郷明秀，692.

原子力研究(核燃および RI)に関わる法規制の動向；秋の大会での理事会セッションから：佐田務，697.

廃棄物ドラム缶のウラン量を短時間で精度良く定量できる革新的アクティブ中性子非破壊測定技術：大図章，米田政夫，呉田昌俊，中塚嘉明，中島伸一，700.

解説シリーズ 世界の原子力事情(5)(最終回)；途上国は原子力に傾斜—新規導入国時代へ：小林雅治，705.

連載講座 材料挙動と計算機シミュレーションの接点(2)；原子力材料の分子シミュレーション，現状と展望：沖田泰良，板倉充洋，712.

From Editors, 716.

核データ研究の最前線～たゆまざる真値の追及，そして新たなニーズへ応える為に～(3)；核分裂データの最前線：実験と理論：西尾勝久，千葉敏，717.

福島環境回復に向けた取り組み(8)；森林・流域圏内のセシウムの動態：飯島和毅，林誠二，鶴田忠彦，722.

日本原子力学会誌「ATOMOS」アンケートのご案内，726.

報 告 福島県における東日本大震災に伴う関連死に関する検討：久保稔，土田昭司，静間健人，727.

会議報告 原子力施設の廃止措置ワークショップ報告：田中健一，732.

理事会だより 大学での原子力教育を考えて：深田智，733.

会 報 学術的会合の予定，人事公募，新入会一覧(第 29-4 回理事会承認分)，メール配信サービス(AESJ-NEWS)会員限定配信のご案内，平成 30 年度フェロー候補推薦募集，書籍販売のご案内，英文論文誌(Vol.54, No.12)目次，和文論文誌(Vol.16, No.4)目次，11 月主要会務，734.

総目次・著者名索引(Vol.59, Nos.1~12)(後付)

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.60, Nos. 1~12(2018)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No.1 (1月号)

- INTERVIEW グランドデザインをもとに科学技術の推進を：有馬朗人, 1.
- 時 論 科学コミュニケーションとコミュニティ形成：岸田一隆, 5.  
福島高校の放射線の教育：原尚志, 7.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 9.
- 解 説 福島第一原発事故は従前の津波対策で予防できたか—事故以前の想定津波高さ評価と東電の対応の考察—：吉田至孝, 宮野廣, 15.
- 解説シリーズ 地政学的リスクとエネルギー(4)；中東産油国の情勢と地政学的リスク：小宮山涼一, 20.
- 解 説 IAEA 低濃縮ウランバンク～国際管理構想の実現に向けて～：玉井広史, 田崎真樹子, 須田一則, 25.
- 連載講座 材料挙動と計算機シミュレーションの接点(3)；粒界破壊における破壊力学試験と第一原理計算：山口正剛, 30.  
核データ研究の最前線～たゆまざる真値の追求, そして新たなニーズへ応える為に～(4)；核図表～壮大なる原子核の地形図～：小浦寛之, 湊太志, 飯村秀紀, 35.  
福島環境回復に向けた取り組み(9)；農畜産物の放射性物質対策：鈴木芳成, 佐藤守, 矢内清恭, 41.
- 部会トピックス 福島第一原発事故の大気・海洋環境科学的研究の現状 事故の何が分かったか, 事故から何が分かったか：青山道夫, 山澤弘実, 永井晴康, 46.
- 報 告 グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成  
：(1)全体概要と成果：齊藤正樹, 51.  
：(2)国内外インターンシップ：川合康太, 55.  
：(3)東工大教育改革等への展開：井頭政之, 57.
- 理事会だより 10万年後問題：千葉敏, 59.
- 部会便り 夏期セミナー報告—真夏の日立で熱い議論と久慈浜の海軟風—：柴山環樹, 60.
- 会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧(第29-3回理事会承認分), 新入会一覧(第29-5回理事会承認分), 誤記訂正, メール配信サービス(AESJ-NEWS)会員限定配信のご案内, 日本原子力学会基金寄付者芳名一覧, 次年度会費請求のお知らせ, 英文論文誌(Vol.55, No.1)目次, 12月主要会務, 61.

## No.2 (2月号)

- 巻 頭 言 なぜ原子力は面白いのか：山根一眞, 65.
- SHORT INTERVIEW 原発のリスクとメリットを十分見極めよう：品田宏夫, 66.
- 時 論 太陽光発電の電気を揚水発電で貯蔵しなければならない愚(問題提起)：小野章昌, 67.  
いま改めて湯浅年子を語る：千野境子, 69.
- コ ラ ム 嵐の中の軍艦島：川口マーン恵美, 71.  
「良い加減」の安全対策とは：竹内純子, 71.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 72.
- 特 集 新規制基準と運転延長への対応  
(1)：福島事故の教訓と新規制基準を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全性向上について：川村慎一, 78.  
(2)：原子力発電所の長期運転(運転期間延長)への対応について：南安彦, 82.  
(3)：川内原子力発電所の安全性向上評価について：江藤和敏, 85.
- 社会との対話と専門知  
(1)：再稼働する原子力発電所の安全性—新規制基準と安全目標の関係—：諸葛宗男, 89.  
(2)：市民との対話—我が国における活動事例—：山野直樹, 93.  
(3)：ステークホルダーとの対話—海外の事例と日本への展開—：村上朋子, 97.
- 連載講座 核データ研究の最前線～たゆまざる真値の追及, そして新たなニーズへ応える為に～(5)；IAEAの核データ事業：大塚直彦, 河野俊彦, 国枝賢, 大澤孝明, 101.

材料挙動と計算機シミュレーションの接点(4)；第一原理計算によるタングステン中の水素の研究：大澤一人，106.

福島環境回復に向けた取り組み(10)(最終回)；線量評価とリスクコミュニケーション：斎藤公明，高原省五，植頭康裕，111.

部会トピックス 水化学部会の将来構想に係る取り組み：寺地巧，渡邊豊，久宗健志，116.

Short Report 原子力学会からの情報発信～広報情報委員会を通じた情報発信の課題と今後～：布目礼子，120.

理事会だより 誕生日の問題と稀有事象：山口彰，122.

会報 学術的会合の予定，誤記訂正，次年度会費請求のお知らせ，書籍販売のご案内，「2018年春の年会」見学会，英文論文誌(Vol.55, No.2)目次，1月主要会務，123.

### No.3 (3月号)

巻頭言 異分野からの挑戦：坂東昌子，127.

時論 原子力施設を町が支援する意味：小谷隆亮，128.

コラム 暗いドイツで考えたこと：川口マーン恵美，130.

東欧の国スロバキアから：妹尾優希，130.

リスク対策のコストと効率性：竹内純子，131.

信頼のメタメッセージの伝え方：渡辺凜，131.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，132.

特集 「原子力利用に関する基本的考え方」(閣議決定)と「平成28年版原子力白書」今後の原子力利用に向けて：川淵英雄，飯塚倫子，望月豊，辻政俊，曾佐豊，138.

解説 原子力と核燃料サイクルの将来に向けて：田中治邦，152.

解説シリーズ 地政学的リスクとエネルギー(5)；ロシアのエネルギー資源開発情勢：小宮山涼一，157.

連載講座 第4世代原子炉の開発動向(1)；全体概要：佐賀山豊，安藤将人，162.

核データ研究の最前線～たゆまざる真値の追及，そして新たなニーズへ応える為に～(6)；核データの利用のために—ミクロからマクロへの橋渡し—：多田健一，横山賢治，今野力，小迫和明，168.

部会トピックス シミュレーションの信頼性確保に関する取り組みの現状と課題：中田耕太郎，工藤義朗，越塚誠一，田中正暁，173.

談話室 幌延探訪記—原子力専攻の学生が見た核のごみの行方は？—：澤田哲生，178.

会議報告 国際会議 Actinides2017 2017年7月9～14日(仙台市，日本)：芳賀芳範，山村朝雄，181.

理事会だより 大学における原子力研究教育と研究施設：佐藤修彰，182.

会告 平成30年度新役員候補者募集のお知らせ，183.

会報 学術的会合の予定，新入会一覧(第29-6回理事会承認分)，次年度会費請求のお知らせ，寄贈本一覧，「原子力学生国際交流事業」派遣学生募集，英文論文誌(Vol.55, No.3)目次，和文論文誌(Vol.17, No.1)目次，2月主要会務，184.

### No.4 (4月号)

巻頭言 日本の核軍縮・不拡散及び原子力の平和的利用についての外交：河野太郎，189.

時論 「心の壁」を超えて～卒業ソング「群青」のこと～：佐藤清，190.

不確実性とリスク—原発推進論に見られる「カテゴリー・ミス」：松原隆一郎，192.

福島第一原子力発電所事故を通じて学んだこと：小野寺悠，194.

コラム エネルギーをめぐるフェイクニュース？：川口マーン恵美，196.

スロバキアとエネルギー：妹尾優希，196.

原子力の特殊性を考える：竹内純子，197.

コラム執筆への抱負：渡辺凜，197.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，198.

座談会 事故から7年，何が変わったのか どうすれば「信頼」を得ることができるのか：上坂充，北村正晴，小出重幸，滝順一，村上朋子，佐田務，澤田哲生，204.

OPINION 低炭素電力システムにおける原子力と再生可能エネルギーの共生：尾本彰，218.

解説 熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ2017 軽水炉の継続的な安全性向上に向けたアプローチ：糸井達哉，

岩城智香子, 大貫晃, 木藤和明, 中村秀夫, 西田明美, 西義久, 221.

火山噴石に対する構造部材の損傷評価法と課題：別府万寿博, 226.

連載講座 原子力材料評価のための最新ナノミクロ分析技術の新展開(1)：3D-AP/ウィーク・ビーム STEM によるナノ組織解析：外山健, 吉田健太, 231.

第4世代原子炉の開発動向(2)：高温ガス炉：國富一彦, 西原哲夫, Xing L. Yan, 橘幸男, 柴田大受, 236.

報告 原子炉物理分野の研究開発ロードマップ2017—一次世代が考える炉物理の未来—：山本章夫, 千葉豪, 桐村一生, 三木陽介, 横山賢治, 241.

学会誌アンケート結果サマリ(2017年6~12月号)：小林容子, 246.

理事会だより 総務担当理事のお仕事とは？：藤澤義隆, 248.

会報 学術的会合の予定, 主催行事, 寄贈本一覧, 次年度会費請求のお知らせ, 誤記訂正, 日本原子力学会新規フェロー, 平成29年度(第11回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 平成30年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 第50回(平成29年度)日本原子力学会賞受賞一覧, 2017年度 Journal of Nuclear Science and Technology Article Awards 受賞一覧, 英文論文誌(Vol.55, No.4)目次, 3月主要会務, 249.

### No.5 (5月号)

巻頭言 福島からの教訓—安全文化はボードルームでこそ生きていなくてはならない：Lady Barbara Judge, 257.

時論 東京電力は原発を大政奉還せよ！：田中伸男, 259.

コラム レッテル貼りの不毛：井内千穂, 261.

トランプ大統領の晩餐会：川口マーン恵美, 261.

もし, 生まれ変わるなら…：北岡哲子, 262.

スロバキアと国際送電：妹尾優希, 262.

「仮置き」の安全目標を考える：竹内純子, 263.

現代の野蛮な国：渡辺凜, 263.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 264.

解説 原子力区画火災における火災評価モデルの現状：白井孝治, 田坂光司, 270.

長期気候変動の再現と予測 歴史的観測データと地球システムモデル：石井正好, 275.

解説シリーズ 地政学的リスクとエネルギー(6)(最終回)：世界秩序の行方と原子力の役割：小宮山涼一, 279.

連載講座 第4世代原子炉の開発動向(3)：超臨界圧軽水冷却炉：山路哲史, 284.

原子力材料評価のための最新ナノミクロ分析技術の新展開(2)：中性子回折法による材料強度研究：諸岡聡, 鈴木裕士, 289.

核データ研究の最前線—たゆまざる真値の追及, そして新たなニーズへ応える為に—(7)：高エネルギー領域への挑戦：執行信寛, 岩瀬広, 岩元洋介, 佐藤達彦, 294.

報告 GLOBAL2017 国際会議の概要報告：高木直行, 飯塚政利, 山田基幸, 松村達雄, 藤田玲子, 川島正俊, 299.  
ダイバーシティってなに？ダイバーシティ推進委員会が行ったアンケート調査結果から：吉田浩子, 吉橋幸子, 303.

理事会だより 理事としての活動を通して：布目礼子, 307.

会告 平成30年度新役員候補者投票のお願い, 309.

日本原子力学会「2018年秋の大会」発表・参加申込受付のご案内, 311.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, 主催行事, 共催行事, 新入会一覧(第29-7回理事会承認分), 2018年度会費請求のお知らせ, メール配信サービス(AESJ-NEWS)会員限定配信のご案内, 英文論文誌(Vol.55, No.5)目次, 4月主要会務, 313.

第50回(平成29年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

### No.6 (6月号)

巻頭言 エネルギー基本計画と水素戦略：柏木孝夫, 317.

時論 核のごみマップをめぐって：今田高俊, 318.

コラム 「核のごみ」をどうするのがベターか？：井内千穂, 320.

なぜドイツで時計が遅れたか？：川口マーン恵美, 320.

「シーベルト」次の単位は…：北岡哲子, 321.

- スロバキアで福島の話をして：妹尾優希, 321.  
 他人の経験に学ぶ難しさ：竹内純子, 322.  
 日本語で原子力を議論する意義：渡辺凜, 322.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 323.
- 解 説 国と東京電力を被告とする集団訴訟に関する考察：遠藤典子, 329.  
 広島高裁の伊方再稼働停止判断を考える 春の年会で学会が特別セッション：佐田務, 335.
- From Abroad Scientific Wanderlust Across The Ocean 一海の向こうからの研究放浪記, オランダから日本へー：Willem Van Rooijen, 338.
- 解説シリーズ プラントへのIoT活用と安全・セキュリティ対策；IoTとCPSの応用可能性とCPS応用例：五福明夫, 仲矢実, 342.
- 連載講座 原子力材料評価のための最新ナノマイクロ分析技術の新展開(3)；イオンビームを用いた照射劣化のin-situ TEM観察：村上健太, 346.  
 第4世代原子炉の開発動向(4)；鉛冷却高速炉：高橋実, 351.  
 核データ研究の最前線～たゆまざる真値の追及, そして新たなニーズへ応える為に～(8)(最終回)；核データライブラリJENDLの進化：岩本修, 柴田恵一, 岩本信之, 千葉豪, 357.
- Short Report リスク評価とマネジメントに関するアジアシンポジウム開催報告：山口彰, 山本章夫, 成宮祥介, 362.  
 YGN若手勉強会報告：「安全神話」を議論：後藤弘行, 364.
- 会議報告 HOTLAB2017；第54回ホットラボ・遠隔操作会議 HOTLAB2017; 54th Annual Meeting on Hot Laboratories and Remote Handling 2017年9月17～22日(茨城県, 水戸市)；湊和生, 365.
- 理事会だより 2018年年会理事会セッション等の報告：駒野康男, 366.
- 会 告 一般社団法人日本原子力学会「第8回総会」のご通知, 367.
- 会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 共催行事, 2018年度会費請求のお知らせ, 英文論文誌(Vol.55, No.6)目次, 和文論文誌(Vol.17, No.2)目次, 5月主要会務, 368.

## No.7 (7月号)

- 巻 頭 言 今, 本当に求められているもの—科学的知識の必要性：高嶋哲夫, 373.
- 時 論 福島イメージのアップデートに向けて：開沼博, 374.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 376.
- 解 説 小型モジュール炉(SMR)を巡る国際動向とそのインパクト：田中隆則, 382.  
 原子力発電所用電力・制御ケーブルの火災時燃焼特性の実験的評価：松田昭博, 椛島一, 石橋隆, 笠原文雄, 387.
- 解説シリーズ プラントへのIoT活用と安全・セキュリティ対策；セキュリティ・安全技術：福澤寧子, 392.
- コ ラ ム 核融合で遊んだ少年はきっと生き残る：井内千穂, 395.  
 「原発遊園地」の悲しい物語：川口マーン恵美, 395.  
 みえるもの・みえないもの：北岡哲子, 396.  
 日本語と英語サイトの放射線の伝え方の違い：妹尾優希, 396.  
 「若手の原子力離れ」は本当か：竹内純子, 397.  
 HLW処分政策を再考する：渡辺凜, 397.
- サイエンスよみもの 短時間&高エネルギー分解能計測装置の小型化を目指して；多画素超伝導検出器のための多重読出回路：神代暁, 398.
- Science Communication 原子力の科学コミュニケーション：岸田一隆, 403.
- 連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(1)：核融合炉の安全性とトリチウム：林巧, 404.  
 原子力材料評価のための最新ナノマイクロ分析技術の新展開(4)(最終回)；ナノインデンテーション法による強度特性評価：笠田竜太, 409.  
 第4世代原子炉の開発動向(5)；ガス冷却高速炉(GFR)：佐藤浩司, 414.
- 報 告 高レベル放射性廃棄物の「地層処分事業に関する学習」から考える：浅野智恵美, 419.
- Short Report 新たな選択肢「放射性廃棄物の資源化」を考える—アンケート結果から見えてきた内容—：藤井恵美, 川島正俊, 藤田玲子, 424.  
 アジアの若者が見る原子力—タイ及びマレーシアの大学生との討論を通じて—：大島拓洋, 村本武司, 浅原

章, 427.

談話室 原子炉主任技術者の在り方—現状と課題：木村逸郎, 429.

理事会だより 理事の仕事について：木下泉, 430.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧(第29-8回理事会承認分), 2018年度会費請求のお知らせ, 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート University of Maryland 滞在記, 編集委員会からのお知らせ, 英文論文誌(Vol.55, No.7)目次, 6月主要会務, 432.

一般社団法人日本原子力学会 第8回総会議事原案(後付)

### No.8 (8月号)

巻頭言 危機回避に絶対はない：大竹文雄, 437.

時論 女性科学者ネットワーク形成の意義と課題：坂東昌子, 438.

学校での放射線教育を手伝う中で：坪倉正治, 440.

BER2018「大阪春の陣」高校生たちに未来をみた：角山雄一, 442.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 444.

特集 甲状腺がん発症のメカニズム

1. 多段階発がん説, 450.

2. チェルノブイリ事故から導かれた甲状腺発がん説, 455.

3. 芽細胞発がん説：石田健二, 岩井敏, 仙波毅, 福地命, 當麻秀樹, 460.

解説シリーズ WEO2017と内外エネルギー情勢への示唆(1)；持続可能な開発と長期エネルギーシナリオ：小宮山涼一, 465.

コラム 福島の今を訪ねるバスツアー：井内千穂, 470.

花が美しい理由：北岡哲子, 470.

原爆の東欧への影響：妹尾優希, 471.

飯館村の山菜が教えてくれること：服部美咲, 471.

「地元」：渡辺真由, 472.

現状の「受容」では済まされない：渡辺凜, 472.

From Abroad Scientific Wanderlust Across The Ocean—海の向こうの研究放浪記, ノルウェー編一：築城諒, 473.

解説シリーズ プラントへのIoT活用と安全・セキュリティ対策；セキュリティ心理学からの考察：内田勝也, 479.

マイクロ～マクロレベル現象の粒子ベースシミュレーション～課題と展望～(1)；粒子法による大規模津波解析と鉄道を対象とした解析への取り組み：室谷浩平, 483.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(2)；原型炉に向けたトリチウムバランスの考え方：日渡良爾, 488.

第4世代原子炉の開発動向(6)；熔融塩炉・トリウム炉：高木直行, 493.

Short Report 茨城大学—フランス放射線防護原子力安全研究所(IRSN)国際ワークショップ開催報告「大気放射性セシウムとバイオエアロゾルの放出」：北和之, 五十嵐康人, 499.

Science Communication ひと昔前の科学コミュニケーション：岸田一隆, 501.

理事会だより 「見る前に跳べ」か「見ながら跳べ」か：榎田洋一, 502.

会報 学術的会合の予定, 平成30年度役員紹介, 新入会一覧第30-1回理事会承認, 第51回(2018年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集, 英文論文誌(Vol.55, No.8)目次, 7月主要会務, 503.

### No.9 (9月号)

新会長あいさつ 60周年を迎えるにあたって：駒野康男, 507.

巻頭言 風評被害とトリチウム：関谷直也, 508.

時論 食品基準見直しの提言 福島の今を訪ねるバスツアー 2018に参加して想うこと：早野睦彦, 509.

福島の風評に「水を差す」ということ：服部美咲, 511.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 513.

座談会 安全なのに、価格が戻らない—風評被害はなぜ起こるのか, どうすればよいのか—：井内千穂, 小島正美, 関谷直也, 滝順一, 西本由美子, 佐田務, 澤田哲生, 518.

INTERVIEW 原発事故後の福島の米農家に学ぶ「ありのまま」の光：服部美咲, 529.



- 解説 福島の風評被害の現状と課題 流通対策から生産認証制度へ：小山良太, 533.  
トリチウムの環境動態及び測定技術：柿内秀樹, 537.  
福島復興に向けた「風評被害」への対応 春の年会での理事会セッション：寿楽浩太, 土田昭司, 下道國, 神里達博, 542.
- コラム 風評被害への懺悔：井内千穂, 549.  
マイストーリーのために…：北岡哲子, 549.  
原爆の東欧への影響：妹尾優希, 550.  
原子力政策大綱復活論：竹内純子, 550.  
八年前と四十年後：渡辺真由, 551.  
複雑なシステムを「より安全」にできるのか：渡辺凜, 551.
- 解説シリーズ ミクロ～マクロレベル現象の粒子ベースシミュレーション～課題と展望～(2)；第一原理原子・分子シミュレーションの現状と原子力分野での研究進展：町田昌彦, 奥村雅彦, 中村博樹, 山口正剛, 552.  
WEO2017 と内外エネルギー情勢への示唆(2)；石油情勢の長期展望と不確実性：小宮山涼一, 557.
- 連載講座 第4世代原子炉の開発動向(7)；ナトリウム冷却高速炉(SFR)：上出英樹, 伊藤隆哉, 小竹庄司, 562.  
核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(3)；トリチウムの調達方法：松浦秀明, 片山一成, 日渡良爾, 567.
- 談話室 福島の風評被害のもとを断つために—チーム E(エネルギー問題に発言する会の組織)からの政策提言—：川合將義, 574.  
IF 沖釣魚紀行—『うみラボ』に参加して—：澤田哲生, 577.
- Science Communication 二つのコミュニケーション：岸田一隆, 580.
- 理事会だより 平成30年度新体制で活動を始めました：藤澤義隆, 581.
- 会報 学術的会合の予定, 主催行事, 共催行事, 新入会一覧(第30-2回理事会承認分), 英文論文誌(Vol.55, No.9)目次, 8月主要会務, 582.

## No.10 (10月号)

- 巻頭言 原子力とマスコミの現場：竹内薫, 585.
- 時論 福島イノベーション・コースト構想が目指すもの：小沢喜仁, 586.  
2020年に向けて検討すべきセキュリティ対策：名和利男, 588.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 590.
- 解説 事故時の核分裂生成物挙動解明への挑戦「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会の活動状況：勝村庸介, 唐沢英年, 中村康一, 高木純一, 逢坂正彦, 内田俊介, 596.  
米国における原子炉監督プロセス(ROP)開始と定着に学ぶ 日本の検査制度改革を成功させるために：近藤寛子, 山口彰, 601.
- コラム プルトニウムをどうしよう?：井内千穂, 606.  
「よーい・どん」と「オレンジフラッグ」：北岡哲子, 606.  
モロッコのエネルギー事情：妹尾優希, 607.  
原発の新設・建替えとエネルギー基本計画：竹内純子, 607.  
表裏一体：渡辺真由, 608.  
ケアと日本社会：渡辺凜, 608.
- 解説シリーズ ミクロ～マクロレベル現象の粒子ベースシミュレーション～課題と展望～(3)；最先端粉体シミュレーション技術：酒井幹夫, 609.  
WEO2017 と内外エネルギー情勢への示唆(3)；天然ガス・LNG 需給の長期展望：小宮山涼一, 614.
- サイエンスよみもの 放射性核種の短寿命半減期測定 エキゾチックな不安定核の崩壊と元素合成：西村俊二, 619.  
超微量分析より見えた超新星爆発からの飛来物：木下哲一, 624.
- 連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(4)；固体増殖材開発の最前線：星野毅, 629.
- 部会トピックス バックエンド分野における人材育成・知識継承にかかわる取り組み 技術分野間の交流・世代間の交流への試み：小畑政道, 山岡功, 634.  
核融合原型炉開発の動向 アクションプランと核融合工学研究の進展：岡野邦彦, 飛田健次, 637.
- Short Report 首都圏の学生が見た原子力発電所の今！—文系学生が浜岡原子力発電所で見えたもの, 感じたこと—：若杉

和彦, 松永一郎, 三島理愛, 642.

会議報告 Physics of Reactors (PHYSOR2018) 報告 2018 年 4 月 22~26 日 (カンクン, メキシコ): 山中正朗, 和田怜志, 645.

原子力分野の若手・女性と一緒に会する IYNCWiN18 (IYNC2018/26th WiN Global Annual Conference) 2018 年 3 月 11~16 日 (バリローチェ, アルゼンチン): 堀尾健太, 小林容子, 646.

Science Communication 共感・共有の手法: 岸田一隆, 647.

新刊紹介 湿式プロセス—溶液・溶媒・廃水処理: 塚田毅志, 648.

理事会だより ゴッホと未熟な葡萄, 熟れた葡萄と干し葡萄: 千葉敏, 649.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, 主催行事, 共催行事, 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポートカリフォルニア大学ロサンゼルス校滞任記, 英文論文誌 (Vol.55, No.10) 目次, 9 月主要会務, 650.

### No.11 (11月号)

巻頭言 最終ゴールは化石資源枯渇後の代替エネルギーの確保: 坂根正弘, 655.

時論 田中角栄が挑んだ資源立国: 前野雅弥, 656.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 658.

特集 福島第一発電所事故後の福島県における小児・青年期の甲状腺がん疫学調査研究について

1. 過去の甲状腺がん疫学研究情報, 664.

2. 福島県県民健康調査における甲状腺検査結果, 669.

3. 甲状腺検査結果に対する見解: 岩井敏, 石田健二, 仙波毅, 高木俊治, 猪狩貴史, 福地命, BAATARKHUU・Undarmaa, 673.

解説 地層処分概念における人の関与に関する議論の系譜: 原田亜紀, 増田純男, 梅木博之, 679.

マルチユニット PRA に関する国際動向について: 三浦弘道, 猪股亮, 神田憲一, 687.

コラム 映画『日本と原発 4 年後』を観て: 井内千穂, 692.

表情は嘘をつかない: 北岡哲子, 692.

モロッコの原子力発電事情(上): 妹尾優希, 693.

脱・プラスチックストローを考える: 竹内純子, 693.

県民の日: 渡辺真由, 694.

原子力事故は許されているのか: 渡辺凜, 694.

解説シリーズ WEO2017 と内外エネルギー情勢への示唆(4): 低炭素化に向う世界の電力需給: 小宮山涼一, 695.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(5): 液体増殖材開発の最前線: 近藤正聡, 田中照也, 700.

報告 福島の風評被害払拭への新たな鍵—海イベントを通じて—: 吉川彰浩, 705.

談話室 双葉の海を喰らう—常磐ものの豊穰—: 澤田哲生, 710.

国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告: 科学秘書官補佐の経験から学んだこと: 荻野晴之, 712.

リケジョの思い(1): 記号以前の「私」: 口町和香, 714.

Science Communication 共同体の形成: 岸田一隆, 715.

理事会だより 学会としての情報発信: 布目礼子, 716.

From Editors, 717.

会告 日本原子力学会「2019 年春の年会」発表・参加申込受付のご案内, 718.

会報 学術的会合の予定, 新入会一覧(第 30-3 回理事会承認分), 共催行事, 「2018 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧, 日本原子力学会「教育会員」の新設と募集のご案内, エディターズチョイス, 英文論文誌 (Vol.55, No.11) 目次, 10 月主要会務, 720.

### No.12 (12月号)

巻頭言 離陸した QST: 量子科学技術の研究開発拠点として: 平野俊夫, 725.

時論 原子力政策の最低防御ライン: 山地憲治, 726.

福島第一原子力発電所事故後の半年間における, 放射線に関するツイッター解析からみえてきたもの: 宇野賀津子, 728.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 730.

- コ ラ ム ブラックアウト：井内千穂， 736.  
 汝， 驕ることなかれ：北岡哲子， 736.  
 モロッコの原子力発電事情(下)：妹尾優希， 737.  
 安全目標再考：竹内純子， 737.  
 アインシュタイン：渡辺真由， 738.  
 英語の作文：渡辺凜， 738.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構：(1)量子メスの研究開発：白井敏之， 739.  
 WEO2017 と内外エネルギー情勢への示唆(5)；世界をリードする中国のエネルギー市場：小宮山涼一，  
 744.
- サイエンスよみもの 航空宇宙分野で開発された浮遊法を用いて溶融物の物性を測定する 静電浮遊法とガス浮遊法：大  
 石佑治， 749.  
 宇宙の大イベント超新星爆発とその鍵を握るニュートリノ—ニュートリノ輸送計算が明かす物質創  
 生の筋道—：住吉光介， 千葉敏， 754.
- 連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(6)；トリチウム透過研究と透過低減技術開発：近田拓  
 未， 759.
- 解 説 第4世代ナトリウム冷却高速炉の系統別安全設計ガイドラインの構築：「第4世代ナトリウム冷却高速炉の安  
 全設計ガイドライン」研究専門委員会， 764.
- 報 告 断層リスクに向き合う原子力安全のアプローチ 日本原子力学会特別国際シンポジウム開催概要：高田毅士， 糸  
 井達哉， 770.  
 1F 汚染水処理二次廃棄物ガラス固化体の浅地中処分の安全性評価：原啓二， 雨宮清， 安部田貞昭， 776.
- 談 話 室 福島第一原発を視察して：野間美智子， 781.  
 リケジョの思い(2)；ラボコーヒー：口町和香， 784.
- Science Communication 未来の選択：岸田一隆， 785.
- 理事会だより 企画委員会：2018 年秋の大会 理事会セッションから：西野由高， 786.
- 会 報 学術的会合の予定， 人事公募， 新入会一覧(第 30-4 回理事会承認分)， 共催行事， 2019・2020 年代議員候補者推  
 薦について， 2019 年フェロー候補推薦募集， 書籍販売のご案内， 英文論文誌(Vol.55, No.12)目次， 和文論文誌  
 (Vol.17, No.3/4)目次暫定版， 11 月主要会務， 787.  
 総目次・著者名索引(Vol.60, Nos.1~12)(後 付)